

# 慶應義塾大学

## 保健管理センター一年報

Annual Report of Keio University Health Center



2016



慶應義塾大学保健管理センター年報  
Annual Report of Keio University Health Center

2016

目 次

巻頭言.....河邊 博史

I 本編

第1. 大学保健管理業務 .....	3
第2. 一貫校保健管理業務 .....	6
第3. 感染症対策 .....	8
第4. 環境衛生業務 .....	10
第5. 産業保健活動 .....	12
第6. 教育 .....	13
第7. 研究 .....	14
(第8. 会議, 第9. 関連資料は資料編のみ).....	15
第10. 慶應義塾診療所 .....	15

II 資料編

第1. 大学保健管理業務	
1. 年間主要業務 .....	19
(1) 日吉本部	
(2) 三田分室	
(3) 湘南藤沢分室 (看護医療学部を含む, 大学担当)	
(4) 信濃町分室	
(5) 矢上分室	
(6) 芝共立分室	
2. 学生定期健康診断 .....	29
(1) 学生定期健康診断実施項目一覧	
(2) 学生定期健康診断受診状況	
(3) 学生定期健康診断の流れ	
(4) 学生定期健康診断集計	
(5) 学生定期健康診断要管理者フォローアップ件数	
(6) 学生定期健康診断結果報告書配布数・Web 閲覧件数	
(7) 参考資料	
(8) ライフスタイル調査結果	
3. 教職員定期生活習慣病健康診断 .....	38
(1) 教職員定期生活習慣病健康診断実施項目一覧	

(2) 教職員定期生活習慣病健康診断受診状況	
(3) 教職員定期生活習慣病健康診断の流れ	
(4) 教職員定期生活習慣病健康診断集計（40歳未満）	
(5) 教職員定期生活習慣病健康診断集計（40歳以上）	
(6) 特定健康診査	
(7) 特定健康診査有所見者数	
(8) 教職員定期生活習慣病健康診断 管理の状況	
(9) 教職員生活習慣病健康診断 骨密度検査集計	
(10) メンタルヘルス	
(11) 教職員定期生活習慣病健康診断 消化器系検査集計	
(12) 教職員定期生活習慣病健康診断 女性教職員検診集計	
(13) 参考資料	
4. その他の健康診断	55
(1) 特定業務従事者の健康診断	
(2) 特殊健康診断	
5. 各種行事等救護状況	56
6. 特定保健指導	57
7. 教職員カウンセリング利用者数	57
8. その他の活動	57

## 第2. 一貫教育校保健管理業務

1. 年間主要業務	61
(1) 幼稚舎分室	
(2) 横浜初等部分室	
(3) 普通部分室	
(4) 中等部分室	
(5) 湘南藤沢中等部分室	
(6) 湘南藤沢高等部分室	
(7) 高等学校分室	
(8) 志木高等学校分室	
(9) 女子高等学校分室	
2. 保健室利用状況	70
(1) 幼稚舎分室	
(2) 横浜初等部分室	
(3) 普通部分室	
(4) 中等部分室	
(5) 湘南藤沢中等部・高等部分室	
(6) 医療機関に依頼した外傷内訳 (幼稚舎・横浜初等部・普通部・中等部・湘南藤沢中等部)	
(7) 精神保健相談 (幼稚舎・横浜初等部・普通部・中等部・湘南藤沢中等部・高等部)	
(8) 高等学校分室	
(9) 志木高等学校分室	
(10) 女子高等学校分室	
(11) 精神保健相談 (高等学校・志木高等学校・女子高等学校・湘南藤沢高等部)	

(12) 保健室利用一覧	
3. 児童・生徒定期健康診断	83
(1) 小学校（幼稚舎・横浜初等部）・中学校（普通部・中等部・湘南藤沢中等部）	
(2) 高校（高等学校・志木高等学校・女子高等学校・湘南藤沢高等部）	
第3. 感染症対策	
1. 結核接触者健康診断	91
2. 結核スクリーニング	92
(1) 対象および地区別受検者数	
(2) IGRA（インターフェロン $\gamma$ 遊離試験）検査結果	
(3) IGRA 検査後措置件数	
3. ウイルス性疾患抗体価検査（麻疹・流行性耳下腺炎・風疹・水痘）	93
(1) 大学	
(2) 一貫教育校	
(3) 教職員	
4. 予防接種	96
(1) B型肝炎ワクチン	
(2) インフルエンザワクチン	
5. 血液曝露対応 年間対応数および事後措置	97
6. 学外施設実習前便培養検査	97
第4. 環境衛生業務	
1. 教室等の調査	101
2. 食堂の調査	103
第5. 産業保健活動	
1. 労働衛生管理体制	107
2. 衛生委員会	107
3. 職場巡視	107
4. 就業判定	108
5. 産業医面接	108
6. 労働安全衛生教育	109
7. 労働者の心の健康保持	109
第6. 教育	
1. 大学講義	113
2. 予防医療センター	116
3. 集団保健衛生教育	117
第7. 研究	
1. 保健管理センター教職員研究業績	123
2. 保健管理センター研究会	129
3. 保健管理センター研修会	130
4. 部門ブロック別研修	130

第 8. 会議	
1. 保健管理センター運営委員会	133
2. 業務連絡会	133
3. 幹事会	134
4. 人事委員会	134
5. 看護職総会	134
6. 対外的活動	134
7. ワーキンググループ	134
第 9. 関連資料	
1. 慶應義塾組織図	137
2. 慶應義塾大学保健管理センター規程	138
3. 大学保健管理センター人事委員会内規	141
4. 保健管理センター教職員一覧	142
5. 保健管理センター人事	143
6. 保健管理センター配置図	144
第 10. 慶應義塾診療所	
1. 診療所について	147
2. 慶應義塾診療所規程	148
3. 診療所等受診者数	150
4. 精神科受診者数	151
5. 外部医療機関依頼数	151
6. 診断書発行数	151
7. 慶應義塾診療所管理委員会記録	152
編集後記	清 奈帆美

# 巻 頭 言

慶應義塾大学保健管理センター  
所長・教授 河 邊 博 史

2016年度は人事面でいくつかの報告事項がありました。まず医師では、2010年7月から内科医として主に志木高等学校校医責任者として活躍いただいた神田武志専任講師が、2017年3月31日付で退職され、大学病院内科（腎臓内分泌代謝科）に異動することになりました。2016年4月1日付で、小児科には糸川麻莉先生の後任として有馬ふじ代先生が就任され、保健師では武藤志保保健師が専任として新たに採用されることになりました。一方、対外的には、2018年度の第56回全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会を6年ぶりに開催することが、2016年7月7日開催の地方部会総会で正式に決定しました。

2016年度をまず教育面から振り返ると、設置講座の履修者数はほぼ安定してきましたが、人数的にすべての講義を大教室で行っています。また、Web上での「健康情報シリーズ」では、本年度も「ストレスチェック検査の課題と今後」や「2016年7月以降の麻疹（はしか）の感染拡大について」などのアップデートな話題を掲載しました。なお、学生総合センターが中心となり2016年度から開始されたE-learning形式の講座「大学生活における責任と危機管理」では、全7コマの講義のうち、センター医師が3コマ（薬物乱用関連、飲酒事故関連、生活習慣病関連）を担当しています。初年度でまだ受講者は少ないようですが、今後確実に履修者数が増えるよう協力していきたいと思っています。

研究面では、包括同意に基づく新たな研究をホームページ上に追加しました。また、システムデザイン・マネジメント研究科との共同研究は継続中で、新たに大学病院精神神経科や体育研究所との共同研究も開始されました。現在、眼科学教室との共同研究も検討中です。今後とも関連する部署とは積極的に共同研究を進めていきたいと思っています。

健康診断に関しては、2016年度の大学学部学生の受診率は86.3%で、前年度よりわずかに低下しました。しかし、医療系3学部（医学部・看護医療学部・薬学部）のうち、医学部では昨年度同様100%の受診率が達成されました。一方、教職員では、受診率の低かった大学教員の受診率が、2011年度からの積極的な受診勧奨によりその後毎年確実にアップし、2016年度には学部教員が97.0%まで改善されました。義塾全体（一貫教育校等も含む）の受診率も年々上がり、本年度は98.4%になりました。また、学生定期健康診断結果報告書のWeb閲覧は、スマートフォンからもアクセスできるようにしてから確実に増え、2016年度は約3.6万件（のべ数）で、前年度に比べて1.1万件増えました。今後も最終的には受診した全員が必ず1回は確認するよう、さらに有効な方法を考えていきたいと思っています。

感染症管理では、2016年度は暖冬だった前年度と比べてインフルエンザの流行が早く、9月下旬から合宿所やサークルで単発の流行が見られました。その後大流行はなく推移しましたが、年が明け、2017年1月上旬から一貫教育校で流行りだし、中旬からは学級閉鎖が相次ぎ、例年通りのピークを迎えました。一方、国際的には2016年初めに中南米での流行が報告されたジカ熱は、わが国での流行は確認されませんでした。ただし、米国や欧州では性的接触でも感染が成立したとの報告

もあり、今後しばらくは注意していく必要があります。デング熱に関しても、蚊への対策が功を奏したのか、2016年度も流行は見られませんでした。引き続き警戒は必要です。近年、各大学ともグローバルな活動を積極的に進める方針を打ち出しており、今後はより積極的な予防策を講じることが必要になると思います。なお、2016年度中には、鳥インフルエンザが青森県、新潟県など日本各地で確認されましたので、引き続き警戒が必要です。2017年2月には都内でも足立区で高病原性鳥インフルエンザウイルスが確認されました。

環境衛生管理では、喫煙、特に受動喫煙に関し、1つの大きな動きがありました。2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、2016年10月12日に厚生労働省が検討を開始しました。一貫教育校では敷地内全面禁煙、大学キャンパスでは室内全面禁煙および喫煙場所の設置を求め、罰則規定も考えているようです。最近では喫煙エリア以外の喫煙者はほとんど見られなくなりましたが、最終的には大学キャンパス敷地内全面禁煙化に向けさらに努力が必要と思われます。

メンタルヘルス対策として、大学生に関しては各地区学生相談室との連携をとりながら進めています。また、教職員に関しては、2013年度から日吉・三田でカウンセラーによる相談を開始しましたが、2016年度からは人事部主導で開始されたストレスチェック検査の影響もあり、精神科医師が対応するケースが増えつつあります。そのストレスチェック検査ですが、皆さま方のご協力もあり、第1回目を無事終了することができました。しかし、実際行ってみるといくつかの課題や問題点も明らかとなり、今後は皆さまの利便性等も考慮し、WEBでの回答方式も人事部と検討中です。

業務内容の整理は大方終了しました。今後はそれらをさらに精度を上げる方向へ持っていきたいと思っています。実務者自らが問題点を探り出し、それをスタッフ全員で共有して考えていく体制もかなり浸透してきたと思います。これからもわが国の大学全体で起こっている大きな流れの中で、保健管理センターの役割はますます大きくなることが予想されますが、スタッフ全員の力を結集し対応していきたいと思っています。

最後になりますが、私は2018年3月末で定年退職を迎える予定で、所長の任期は2017年9月までとなっています。10月からは新たな所長の下、伝統ある保健管理センターがさらに発展していくことを願っています。関連部署、関連各位の皆様には、今後ともご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

なお、今回の年報につきましても、何かご意見等ありましたら遠慮なくお寄せください。



# I 本編

第1. 大学保健管理業務

第2. 一貫教育校保健管理業務

第3. 感染症対策

第4. 環境衛生業務

第5. 産業保健活動

第6. 教育

第7. 研究

(第8. 会議, 第9. 関連資料は資料編のみ)

第10. 慶應義塾診療所



# 第 1. 大学保健管理業務

## 1. 学生定期健康診断

### （1）健康診断の実施項目について

資料編第 1.大学保健管理業務 2.学生定期健康診断(1)学生定期健康診断実施項目一覧に、2016 年の学生定期健康診断で施行した検査項目の一覧を示した。ここ数年の間、項目に変化は無い。尚、2017 年度から内科診察において脊柱および胸郭の項目が省略される予定である。

### （2）学生定期健康診断の受診率について

資料編同(2)アの「学生定期健康診断受診状況」に、学生定期健康診断の受診状況を学部、学年、男女別に記した。学部生全体では在籍者 28,814 人のうち 24,872 人 (86.3%) が受診した。受診率は 2011～13 年度に 89% 台であったのをピークに徐々に減少し、2016 年度は 2015 年度の 88.9% よりさらに減少した。同(2)イにある大学院修士課程全体の受診率は 83.6%、同(2)ウにある博士課程全体の受診率は 59.9%、同(2)エにある専門職学位課程全体の受診率は 78.3%であった。2015 年度のこの 3 群の受診率はそれぞれ 87.5, 76.9, 82.1%で、それに比べ、本年の受診率はすべての群で低下していた。同(2)オの (ア)(イ)(ウ)にある 9 月入学生の学部生、大学院修士課程、大学院博士課程の受診率はそれぞれ、98.9, 94.3, 50.0% であった。この 3 群の受診率は 2015 年度にはそれぞれ 98.6, 92.6, 43.8%であり、この 3 群においては 2016 年度の受診率は微増していた。最近減少傾向にある学生健診の受診率を引き上げることが今後の課題である。

### （3）学生定期健康診断の流れ

学生定期健康診断の目的は異常が見つかった場合その診断を行い、必要であれば各人を治療に結び付け、最終的には学生が大学生活を送るにあたり各学生に対して学校側の配慮が必要かどうか見極めることである。資料編同(3)に実施から事後措置までの学生定期健康診断の流れを示した。例年とくらべ大きな変更点はない。

### （4）要管理者のフォローアップについて

資料編同(4)の「学生定期健康診断集計」には各健診項目で異常値を示した者（要管理者）の割合を示した。その異常値の基準も同表の中に記した。尚、同表にあるように、2016 年度の在籍者数は 33,996 人でうち 29,334 人が健診を受け、学生全体での受診率は 86.3% であった。BMI, 血圧, 検尿(蛋白), 検尿(潜血), 検尿(糖), 視力, 胸部 X 線検査, 内診察科, 心電図での要管理者の割合を示したが、2015 年度と大差はなかった。

### （5）学生健診フォローアップ件数

学生定期健康診断で異常が見つかった場合、すべてを外部医療機関に紹介するわけではなく、一部は保健管理センターでフォローアップをする。同(5)に示すように血圧, 検尿, 胸部 X 線, 心電図の各検査で異常があった場合諸検査が行われる。

### （6）健康診断結果返却

健康診断の結果は遅滞なく受診者に返却されるべきであるが、過去には結果を保健管理センター窓

口で発行しており、受診者は結果を受け取るために保健管理センターへ来る必要があり、健康診断結果の返却率は非常に悪かった。しかし、2007年度より健康診断結果を Web で閲覧できるサービスを開始し、そのアクセス数が飛躍的に増加した。Web アクセス数は年々増加し、2016年度は大学全体で36,094件のアクセスがあった。Web アクセス数は2015年度は21,714名であり、本年の Web アクセス数は飛躍的に増えた。しかし、個人が複数回アクセスした場合その都度に1回のアクセスとカウントされるので、実際の返却率はこの数字からは割り出せない。

(横山裕一)

## 2. 教職員定期生活習慣病健康診断

### (1) 受診状況

慶應義塾全体の受診率は年々上昇しており、2015年度は98.2%、2016年度も98.4%と高い受診率であった。職種別受診率は職員が99.9%、教員が96.7%であった。地区別受診率は信濃町地区が100%、三田地区が97.6%、日吉地区が95.6%、湘南藤沢地区が94.8%であった。所属学部・研究科別受診率は、医学部(100%)、薬学部(100%)、看護医療学部(97.9%)と、昨年度と同様に医療系学部で高かった。また、一貫教育校所属教職員の受診率は100%であった。

### (2) 生活習慣病健康診断集計

身長・体重、視力、聴力、胸部 X 線、血圧、検尿、心電図の有所見者の割合は昨年度と大きな変化はなかったが、腹囲に関しては、B 判定(男性 85cm 以上 100cm 未満、女性 90cm 以上 100cm 未満)の割合が 40 歳未満で 11.3%、40 歳以上で 30.9%と前年度(40 歳未満 9.3%、40 歳以上 27.7%)に比べ上昇を認めた。

血液検査の有所見者の割合は、40 歳未満で 12.9%、40 歳以上で 35.8%であり、前年度(40 歳未満 14.1%、40 歳以上 36.2%)に比べ低下した。血液検査で異常値が認められる割合が高い検査は LDL コレステロールであった。40 歳以上で LDL コレステロール値が C 判定(160.0mg/dl 以上)は男性で 15.9%、女性で 11.9%であり、前年度(男性 16.9%、女性 13.7%)に比べ低下した。

### (3) 特定健康診査

40 歳以上 65 歳未満の対象者 3,215 人(男性 1,877 人、女性 1,338 人)の内、受診者は 3,056 人(95.1%)で、男性 1,777 人(94.7%)、女性 1,279 人(95.6%)であった。詳細健診が必要な人(腹囲 85cm 以上(男性)、90cm 以上(女性)かつ追加リスク(血糖、脂質、血圧)すべてに該当する人)は男性 137 人(8.0%)、女性 22 人(1.8%)で、前年度(男性 97 人、女性 21 人)に比べ、特に男性での増加を認めた。

40 歳以上 65 歳未満のメタボリックシンドロームと診断された人は、検査人数 3,029 人(男性 1,755 人、女性 1,274 人)の内、377 人(12.4%)で、男性 331 人(18.9%)、女性 46 人(3.6%)であった。昨年度(316 人(10.7%)男性 277 人(16.1%)、女性 39 人(3.2%))に比べ、特に男性での増加を認めた。

### (4) その他

健康診断後の管理状況は、面接指示者 1,269 人に対し、呼出応答があった人が 793 人(面接 520 人、他医療機関受診 133 人、自己管理 140 人)であった。メンタルヘルスでは、メンタルヘルス調査票の回答者数が 4,610 人、その内、うつ傾向(3 点以上)が 64 人であった。

消化器系検査は、上部消化管検査の該当者数が 3,303 人、受検者数は 1,397 人(42.3%)であった。その内、有所見者数は 1,012 人(72.4%)であった。腹部超音波検査の該当者数が 3,302 人、受検者数は 1,586 人(48.0%)であった。その内、有所見者数は 1,375 人(86.7%)であった。

(西村知泰)

## 第2. 一貫校保健管理業務

### 1. 小・中学校

#### (1) 2016年定期健康診断のまとめ(小・中学校)

##### ア 保健統計調査

##### (ア) 身長

幼稚舎4・5年生女子を除いて、一貫教育小中学校の他のすべての学年において男女ともに全国平均値に比べて高かった。

##### (イ) 体重

男子は幼稚舎5年生を除いて、小学校の他のすべての学年において全国平均値に比べて少なかった。女子は小中学校のすべての学年において全国平均値以下であった。

一貫教育校の児童・生徒は、全国平均値と比較して男女ともに身長が高く、特に女子では体重が少ない例年通りの傾向が認められた。

##### (ウ) 栄養

肥満傾向(医師の視診および肥満度+20%以上)の頻度は、幼稚舎(男1.7%、女0.0%)、横浜初等部1・2・3・4年(男0.4%、女0.0%)、普通部(男5.7%)、中等部(男4.3%、女1.4%)、湘南藤沢中等部(男6.1%、女0.0%)のいずれも、全国平均値(小学生：男7.9%、女6.6%、中学生：男8.9%、女7.9%)に比べて少なかった。

栄養不良(やせ傾向)(医師の視診および肥満度-20%以下)の頻度は、幼稚舎(男1.7%、女3.1%)、横浜初等部1・2・3・4年(男1.5%、女0.0%)、普通部(男1.6%)、中等部(男2.1%、女6.9%)、湘南藤沢中等部(男1.9%、女5.5%)において、女子では横浜初等部を除いて全国平均値(小学生：男1.5%、女1.7%、中学生：男2.2%、女3.5%)に比べて多かった。

##### (エ) 視力

裸眼視力1.0未満の頻度は、幼稚舎(男29.1%、女33.0%)、横浜初等部1・2・3・4年(男36.6%、女40.4%)、普通部(男70.1%)、中等部(男72.9%、女66.7%)、湘南藤沢中等部(男65.6%、女78.4%)において、幼稚舎女子を除いて一貫教育小中学校では全国平均値(小学生：男28.3%、女34.8%、中学生：男49.5%、女60.1%)より多かった。

##### (オ) 歯科

未処置歯の保有率は、幼稚舎(男7.6%、女6.3%)、横浜初等部1・2・3・4年(男8.8%、女6.0%)、普通部(男11.0%)、中等部(男5.1%、女3.5%)、湘南藤沢中等部(男6.5%、女13.6%)のいずれも、全国平均値(小学生：男25.2%、女23.0%、中学生：男16.4%、女16.6%)に比べて少ないが、昨年度に比べて一貫教育中学校では増加を認めた。歯列矯正者は中等部女子(22.9%)に多かった。

##### イ 結核健診

計24人を対象に精密検査(胸部X線撮影)を実施した。受検理由は、BCG未接種(11人)、海外結核高蔓延国での居住歴(10人)が多かった。最終結果は全員異常なしであった。

##### ウ 血液検査結果

ウイルス抗体価検査では、流行性耳下腺炎抗体陰性者(小学1年38.0~40.2%、中学1年33.2~47.6%)および水痘ウイルス抗体陰性者(小学1年44.9~53.5%、中学1年9.4~15.0%)が多く、抗体陰性者に対してワクチン接種の推奨をおこなった。

(徳村光昭)

## 2. 高校

### （1）2016 年定期健康診断のまとめ

#### ア. 保健統計調査

身長は全国平均値と比較して男子は平均 1.3cm，女子は平均 1.6cm 高かった。

体重は全国平均値と比較して男子はほぼ同等であったが，女子では平均 1.3kg 少なかった。平均 BMI は各校例年通りであり，男子平均 20.2～21.1kg/m<sup>2</sup>，女子平均 19.8～20.5kg/m<sup>2</sup>であった。また，肥満傾向の生徒は男子で 4%～7%，女子で 1～2%に認め，昨年と同様であった。女子のやせ傾向の生徒の割合は昨年と同様に 20%以下を維持した。

未処置う歯の保有率が，高等学校と志木高等学校で増加した（高等学校：昨年 11.0%→本年 19.2%，志木高等学校：昨年 4.4%→本年 10.8%）。

鼻および副鼻腔疾患・異常の保有率が，志木高等学校において昨年 12.6%から本年 43.4%に増加した。

#### イ. 生徒定期健康診断受診・管理状況

受診率は全校ともほぼ 100%であった。

#### ウ. 血液検査結果

志木高等学校、女子高等学校において LDL コレステロール高値の生徒が昨年に比べて増加した。高等学校と志木高等学校においては引き続き尿酸高値の生徒が多かった。その他の異常値の割合は例年並みであった。

（武田彩乃）

## 第 3. 感染症対策

近年、保健管理センターが行う感染症対策は多岐にわたっている。その概要は昨年の年報の本ページで示したが、まだ年報記録にまとめるまでに至っておらず、本年度は記録編に掲載されている記録の概要の説明に留める。

### 1. 結核接触者健診（資料編第 3.感染症対策 1.結核接触者定期健康診断）

結核接触者健康診断では、不慮の結核患者への接触があった者を対象に、結核菌に対する Interferon-Gamma release assay (IGRA) 検査を行う。主に医療従事者が対象となる。2016 年度は 3 事例で計 11 人の検査を行ったが、すべて大学病院の事例であった。陽性者は結核症重点観察（6 カ月おきの胸部レントゲン写真）、潜在性結核感染症治療、または医療機関紹介となるが、本年度は陽性者がいなかった。本年度の対象者は 2015 年の 201 人に比べ大幅に減少していたが、その理由は不明である。

### 2. 結核スクリーニング（資料編同 2.結核スクリーニング(1)対象および地区別受検者(2)IGRA 検査結果 (3)IGRA 検査後措置件数）

近年 IGRA 検査の導入で、直近の結核感染の有無の判定が可能になった。本センターではその検査を資料編同 2(2)に示す対象者に行っている。2016 年度の対象者は 1,199 人で、陽性者 9 人 (0.8%)、判定保留者 32 人 (2.7%) で、判定不可の者 5 人であった。事後措置として、24 人に再検査が行われ、6 人が重点観察、3 人が潜在性結核感染症治療、7 人が医療機関紹介となった。2016 年度の陽性率は 2015 年度（対象者は 1,180 人、陽性者は 4 人; 0.3%）に比べ高かった。

### 3. ウイルス性疾患（麻疹・流行性耳下腺炎・風疹・水痘）抗体価検査

本センターは麻疹・流行性耳下腺炎・風疹・水痘の抗体検査を資料編同 3.(1)～(3)の冒頭に示す対象者に行っている。検査は EIA 法（一部 HI 法）で行う。2016 年度は陽性率は 33.0% ～ 100.0% で全般的に流行性耳下腺炎の抗体陽性率が低い傾向にあった。抗体陰性者に対してはワクチン接種を勧奨している。医療系学部生、大学病院勤務者に対しては日本環境感染学会の指針 [https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsei/29/supplement\\_III/29\\_S1/\\_pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsei/29/supplement_III/29_S1/_pdf) に従い、ワクチン接種が必要な基準値を高く設定する一方、これらのワクチンは 2 回接種した場合それ以上の接種は不要としている。ワクチン推奨者が必ずしもワクチン接種を行っていないのはそのためである。

### 4. 予防接種

#### (1) B 型肝炎ワクチン

本センターは B 型肝炎ウイルス (HBV) 感染予防の目的で資料同 4(1)アに示す対象に B 型肝炎ウイルスワクチンを施行している。事前に HBs 抗原抗体を測定し、どちらも陰性の場合、ワクチン基礎接種の対象となり、約 6 カ月かけて 3 回のワクチン接種を行い、最終接種の約 1 月後の HBs 抗体価が 10mIU/ml を超えた場合、陽転とする。陽転しなかった場合は、追加接種を行う。尚、過去に本ワクチンを接種したものの時間が経過で抗体が陰性化している場合がある。そこで、本センターでは、HBV ワクチン歴が確認できれば、免疫の記憶の存在を考慮し、1 回の追加接種を行い、陽転した場合、ワクチン接種を終了こととしている。この取組でワクチン接種回数が削減されている。2016 年度は本塾全体



で 510 人の申込みがあり、1275 本のワクチン接種を行った（昨年度は 461 人、1257 本）。報告された副作用は 13 件（1.0%）で、昨年より低かった。

## （2）インフルエンザワクチン

大学病院では資料編同 4（2）に書かれた対象に有料でインフルエンザワクチン接種を行っている。現在、大学病院感染制御センターが中心となり、本センターも準備、実施に携わっている。2016 年度の接種者は 3,681 人であった（2015 年度は 3,613 人）。

## 5. 血液曝露対応

本センターは大学病院に勤務する教職員、実習生の血液曝露事故の際には、B 型肝炎（HBV）、C 型肝炎（HCV）、梅毒、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）の感染予防措置を行っている。

曝露源が特定できて、その者から許可を得た場合、その者および曝露者の 4 種感染症の状態を検査し、曝露状況のアセスメントを加え、どの対策を行うか、どの感染症のフォローアップを行うかを決定する。曝露源が特定できない場合は、曝露者の免疫状態と曝露状況から方針を決定する。HBV 対策はヘブスブリン 1000 単位静注およびワクチン接種、梅毒対策はサワシリン（250mg）3 錠/日 7 日間服用、HIV 対策はツルバダ 1 錠+アイセントレス 2 錠/日の 28 日間服用、である。HCV に対しての特定の対策はない。フォローアップは、HBV 抗原抗体、HCV 抗体、HIV 抗体、梅毒反応の中から必要なものを選び、1 月の間隔で 6 月まで、加えて 12 月後に採血を行う。尚梅毒検査は曝露後 2 月で終了する。

2016 年度は 135 件の報告があり、HBV 対策（ヘブスブリン投与のみ）を行った者 2 人、HIV 対策を行った者 2 人、梅毒対策を行ったもの 3 人、血液のフォローアップを行った者は 35 人であった。

2015 年度には 104 件の報告があり、それぞれの対策を受けた者は、2, 1, 3 人で採血によるフォローアップは 32 人に行われた。

## 6. 学外施設実習前便培養検査

医学部、看護学部の学生が学外実習を行うにあたり、施設によっては赤痢菌、腸管出血性大腸菌（O-157）、コレラ菌、サルモネラ菌などの保菌者でないことの確認を要求する。よって、本センターではその検査も行う。2016 年度は対象者が 245 人で陽性者はいなかった。2015 年度は 213 人が受検し 5 人が陽性であった。

（横山裕一）

## 第4. 環境衛生業務

学校における環境衛生管理については、学校保健法の規定に基づき、「学校 環境衛生基準」が定められ、平成21年4月1日から施行されている。キャンパス衛生管理者、保健管理センター医師および保健師が、校内巡視および環境測定を行った。

### 1. 実施項目

#### (1) 換気及び保温等および空気清浄度

- |          |                           |
|----------|---------------------------|
| ア. 換気    | キ. 二酸化炭素                  |
| イ. 湿度    | ク. 揮発性有機化合物 <sup>※1</sup> |
| ウ. 相対湿度  | ホルムアルデヒド, トルエン, キシレン,     |
| エ. 浮遊粉じん | パラジクロロベンゼン, エチルベンゼン,      |
| オ. 気流    | スチレン                      |
| カ. 一酸化炭素 | ケ. ダニ・アレルゲン <sup>※2</sup> |

#### (2) 採光

- |       |         |
|-------|---------|
| ア. 照度 | イ. まぶしさ |
|-------|---------|

#### (3) 騒音

- |          |
|----------|
| ア. 騒音レベル |
|----------|

#### (4) 校内巡視

※1 2006年度より管財部から業務移行された。

※2 2010年度より実施

### 2. 実施日程（大学・一貫教育校の各「年間主要業務」の頁を参照）

前期6～9月，後期10～1月に実施（年2回）

### 3. 結果・事後措置概要

#### (1) 温熱環境

前期（6～9月）は湿度の高い教室が散見された。教室使用時には換気扇の稼働，換気空調の電源を入れる等教室内の環境を保つよう指導した。

#### (2) 換気・空気清浄度

二酸化炭素濃度が基準値を上回る教室があり，換気扇を適切に使用するよう指導した。換気扇設備のない教室や，教室の広さに対して在室人数が多い場合は，窓を開けて換気するよう指導を行った。

#### (3) 照度・まぶしさ

節電のため蛍光灯が間引かれている教室があったが，おおむね問題はなかった。

#### (4) 騒音

工事のため基準値を超える教室があった。工事の時は窓を閉めるよう指導した。

#### (5) ダニまたはダニアレルゲン

おおむね問題はなかった。

(6)揮発性有機化合物

おおむね問題はなかった。

(7)その他

ゴミや私物の散乱が認められる教室があるため、教室環境の美化および整理整頓、指導、緊急時避難路確保を行うよう指導した。

## 食堂の調査

学校保健安全法に基づいて、食堂環境衛生検査ならびに食堂微生物学検査を行った。

### 1. 厨房巡視・聞き取り調査

キャンパス衛生管理者、保健管理センター医師および保健師が、担当地区の食堂を巡視し、食堂施設の状況、設備およびその取扱い状況、食品の取り扱いを含む調理場内の衛生状況、従事者の衛生管理状況、検食の状況等を調査した。

調理場、配管、換気扇等にほこりやカビなどの汚れ、排水不良や壁タイルの剥がれが認められた地区があり、定期的な清掃と修繕を指導した。

### 2. 微生物検査

冷蔵庫、まな板、作業者手指、台ふきん、直接喫食食品、飲料水、空中浮遊菌等

（一般細菌、大腸菌、黄色ブドウ球菌、サルモネラ、腸炎ビブリオの培養検査）の検査を行った。

- (1) ふき取り検査で多くの食堂施設から一般細菌が検出され、施設によっては大腸菌、黄色ブドウ球菌も検出された。汚染された手指から食材への二次汚染の危険がある為、手洗い方法・手洗いの回数を見直して、手指の清潔保持の徹底に努めるよう指導した。
- (2) 台ふきんでは多くの食堂施設で大腸菌群および一般細菌が検出された。台ふきんの頻回の交換と消毒、またふきんの用途の明確な区別を徹底する必要について指導した。
- (3) 複数の施設で加熱した食品から一般細菌や大腸菌が検出された。加熱によりほとんどの一般細菌は死滅するはずであり、調理後に一般細菌が付着したものと思われる為、手洗いが不十分な手、または細菌が繁殖した台ふきんに触れた手で菜箸などの器具やポリ手袋等を用いて皿への盛り付けを行ったなどの可能性が考えられる。清潔保持の徹底を指導した。
- (4) 2施設でウォータークーラーの水から一般細菌が多数検出されたため、装置の清掃および管理の徹底を指導した。
- (5) 複数の施設で空中浮遊菌の数が基準値を超えており、空調設備や換気扇の清掃・点検を適宜行い、空気環境の管理を行うよう指導した。

（武田彩乃）

## 第5. 産業保健活動

労働安全衛生法及び労働安全衛生規則に基づき、次の活動を行っている。カッコ内は該当法令。

### 1. 労働衛生管理体制（労働安全衛生法第12条及び第13条）

慶應義塾では、事業場として7地区(日吉, 三田, 芝共立, 湘南藤沢, 矢上, 信濃町, 志木)に分け、各地区に統括安全衛生管理者, 産業医, 衛生管理者を置き、教職員の健康管理等を実施している。

### 2. 衛生委員会（労働安全衛生法第18条）

7地区に衛生委員会が設置され、教職員の健康障害防止の基本対策などを調査・審議している。保健管理センターは各地区の登録産業医と衛生管理責任者等が産業保健の専門家として参加している。

### 3. 職場巡視（労働安全衛生規則第15条）

衛生委員会の活動の一環として7地区において、職場巡視を実施し、職場における安全確保状況、換気状況等を調査し、教職員の健康障害を防止するための必要な措置を講じるようにしている。保健管理センターのメンバーは施設管理を担当する管財部門のメンバーとともに職場巡視のメンバーとして参加している。

### 4. 就業判定（労働安全衛生法第66条第1, 2, 3項）

雇入れ時の健康診断, 定期健康診断を実施している。芝共立地区は三田地区と合同で、矢上地区は日吉地区と合同で実施している。信濃町地区は、雇入れ時の健康診断受診者数が499名, 定期健康診断受診者数が3,308名と最も多い。また、信濃町地区では、常時深夜業に従事する者等を対象とする特定業務従事者の健康診断も実施している。

電離放射線取扱いは、特定化学物質取扱いは、有機溶剤取扱いは、鉛取扱いは、遺伝子組み換え実験教務従事者に対して、特殊健康診断を実施している。特殊健康診断受診者数は信濃町地区が一番多く、1,809件実施しており、受診者としては、電離放射線取扱いは、遺伝子組替え実験教務従事者が多い。次に矢上地区が多く、215件実施しており、有機溶剤取扱いは多い。

### 5. 産業医面接（労働安全衛生規則第14条）

職場の上長や本人からの申し出があった場合と、長時間労働を行った教職員に対して、産業医による面接を行っている。具体的には、内科疾患または精神科疾患による休職後復職者, 過重労働者, メンタル不調者等を対象に実施し、必要に応じて、総括安全衛生管理者に対して勧告し、又は衛生管理者に対して指導し、若しくは助言を行っている。

### 6. 労働安全衛生教育（労働安全衛生規則第59条）

教職員に対し、その従事する業務に関する安全又は衛生のための教育を実施している。具体的には、電離放射線使用の注意点, 有機溶剤使用の注意点についてのリーフレット配布等を行っている。

(西村知泰)

## 第6．教育

### 1. 大学講義

保健管理センター設置講座では、非医療系学部の学生を対象として生活習慣病、感染症、薬物・飲酒の問題、メンタルの問題等、現代社会における疾病について、保健管理センターの各専門医が通年で4時限から12時限を分担し、オムニバス形式で講義を行っている。現代社会と深く関わりのある代表的な疾病について幅広い知識を得ることを目的とする。将来、Health care 関連企業に就職する学生の入門講義になるばかりでなく、生活習慣病予防のための健康的な生活を理解し、実践するための保健教育を目的としている。

また、体育研究所設置講座、看護医療学部設置講座、健康マネジメント研究科講座、通信教育課程、総合政策学部・環境情報学部設置講座においても講義を行っている。

### 2. 予防医療センター

2012年8月1日より慶應義塾大学病院予防医療センターが開設され、保健管理センター専任医師は人間ドック受診者の当日結果説明および簡単な生活指導を原則毎日交代で担当している。

### 3. 集団保健衛生教育

#### (1) 衛生講習会

一貫教育校及び大学における文化祭、イベント等で、食品を扱う模擬店を出店するときは、保健管理センターが細菌性食中毒予防のため、①食中毒について②食材の取り扱い方③手洗いの方法④ウェルパスの使用方法等について指導を行っている。また、大学生に対しては飲酒についての注意喚起も行っている。

#### (2) BLS（一次救命処置；Basic Life Support）講習会、AED（自動対外式除細動器；Automated External Defibrillator）講習会

慶應義塾に所属している学生、教職員および委託職員に対して救急蘇生法とAEDの使用法についての説明、指導を行っている。集団指導を含めて2016年度の受講者数は約1,600名である。

#### (3) 小児・若年者の生活習慣

小児・若年者の肥満、高血圧などの生活習慣病はトラッキング現象により高率に成人の生活習慣病に移行することが知られている。そのため小児・若年者の生活習慣の修正は重要であり、一貫教育校では生活習慣是正のためのセミナーを行っている。また、生徒・保護者・教員を対象にインフルエンザ等の感染症・心の問題・スポーツ障害等に関する講演会を行っている。

（武田彩乃）

## 第7. 研究

保健管理センターは、慶應義塾の研究所附属機関に位置づけられ、大学・大学院生、小中高一貫教育校児童・生徒、教職員の健康管理および感染症等の管理業務に加えて、健康の保持増進のための教育や研究活動を担当している。

### 1. 保健管理センター教職員研究業績

#### (1) 受賞

河邊博史所長が、「若年高血圧に関する縦断的検討および家庭血圧の測定条件に関する業績」について、2016年度義塾賞を受賞した（2016年11月11日）。

#### (2) 著書・論文・学会発表

2016年度に保健管理センター教職員が執筆した著書は13編、筆頭著者で発表した論文は和文誌26編、英文誌4編であった。保健管理センターの機関誌である「慶應保健研究 第34巻第1号」（2016年8月31日発行）には、学校保健や健康管理等に関する原著論文9編、解説8編が掲載された。

2016年度に保健管理センター教職員が筆頭演者となった学会発表は、国内学会48題、国際学会5題であった。主な学会として、第54回全国大学保健管理研究集会（2016年10月、大阪）では健康管理や健康診断に関する一般演題5題、第63回日本学校保健学会（2016年11月、つくば）では一般演題3題が発表された。

#### (3) その他

南里清一郎名誉教授が、「これまでの教育研究活動および海外在留邦人への福祉活動」について、2016年度秋の叙勲において瑞宝小綬章を受章した（2016年11月8日）。

### 2. 保健管理センター研究会

2016年度は8回開催し、保健管理センター教職員による研究発表、第54回全国大学保健管理研究集会予演会、第63回日本学校保健学会予演会などを行った。

### 3. 保健管理センター研修会

学校保健安全法施行規則の改正にともない2016年度から運動器検診が学校健康診断の必須項目になったことから、「学校健康診断における運動器検診：整形外科を専門としない学校医による実施方法」に関する研修会を開催した（講師：徳村光昭）（2017年3月24日）。

### 4. 部門ブロック別研修

外部講師として有田りな氏（元日本航空株式会社国際線客室乗務員、JAMOI認定講師）を招聘して、外国人への接遇マナーと英会話のコツに関する「心を伝える英会話接遇講座」を開催した（2016年9月2日）。

（徳村光昭）

## （第8．会議，第9．関連資料は資料編のみ）

### 第10．慶應義塾診療所

診療所受診者数は，4診療所の合計で，学生1,608件，教職員他2,233件であった。このうち，精神科は，矢上診療所を除く3診療所で診療を行っており，その内訳は，学生474件，教職員他114件であった。

（清水憲吾）





## Ⅱ 資料編 第1. 大学保健管理業務

1. 年間主要業務
2. 学生定期健康診断
3. 教職員定期生活習慣病健康診断
4. その他の健康診断
5. 各種行事等救護状況
6. 特定保健指導
7. 教職員カウンセリング利用者数
8. その他の活動



# 1. 年間主要業務

## (1) 日吉本部

月	日	対象	業務
4	1	入学生・塾員	学部入学式救護・卒後50年塾員招待会救護
	4	医学部1年生	医学部実習前血液検査
	4	入学生	大学院入学式救護
	5	薬学部1年生	薬学部実習前血液検査
	5～8	医学部1年生	医学部実習前便培養検査
	8～9, 11～13, 16, 18～19, 21～23	学生	学生定期健康診断
5	25～28	学生	学生定期健康診断検尿再検査
	2～6, 9～12	学生	学生定期健康診断検尿再検査
	10	医学部1年生	医学部実習前血液検査結果返却
	13	薬学部1年生	薬学部実習前血液検査結果返却
	17～20	学生	学生定期健康診断血圧再検査
	21	塾員	卒業51年以上塾員招待会救護（パシフィコ横浜）
6	27	医学部1年生	医学部B型肝炎ワクチン基礎接種 1回目
	30	薬学部1年生	薬学部B型肝炎ワクチン基礎接種 1回目
	1～3, 6～10, 13～15	学生	学生定期健康診断血圧再検査
	6～3/30	学生	学生定期健康診断証明書発行
	6～3/30	学生	学生定期健康診断結果報告書発行
	13～17	教職員	特定保健指導6ヵ月後血液検査
	16, 23		食堂の調査（日吉キャンパス, 下田ハウス, 寄宿舎）
	24	医学部1年生	医学部B型肝炎ワクチン基礎接種2回目
	25	高校生・受験生	日吉キャンパスツアー
	26	来場者	学生健康診断受診率, 大学評議会で報告
7	27	薬学部1年生	薬学部B型肝炎ワクチン基礎接種2回目
	27	学生	学生定期健康診断結果WEB公開開始
	30	医学部1年生・薬学部1年生	医学部・薬学部B肝追加接種後採血
	1	医学部1年生・薬学部1年生	医学部・薬学部B肝追加接種後採血
	2	高校生・受験生	キャンパスツアー
8	14		教室等の環境調査
	11～15, 19～22	教職員	特定保健指導6ヵ月後面接
	22, 23, 25～29	学生	春学期末試験救護
	1, 2	学生	春学期末試験救護
	5～17	通信教員部学生	通信教育部スクーリング救護
9	18～19		子どもサマースクール2016救護
	19		講義入門救護
	6, 8, 15, 29		食堂管理責任者との面接
10	16	9月入学生	9月入学生入学式救護
	26	9月入学生	9月入学生定期健康診断
	3～4	9月入学生	9月入学生定期健康診断検尿再検査
	3～7	学生	学生定期健康診断検尿再検査（6ヵ月後）
	11～13	9月入学生	9月入学生定期健康診断血圧再検査
	16		連合三田会救護
11	19～21, 24～28	教職員	教職員定期・生活習慣病健康診断
	28	9月入学生	9月入学生健康診断証明書発行
	14	医学部1年生・薬学部1年生	医学部・薬学部B肝ワクチン基礎接種3回目
	15～24	教職員	教職員定期・生活習慣病健康診断結果発送
12	20	受験生	文学部推薦入学試験救護
	26		HRP(Hiyoshi Research Portfolio)救護
	2, 5～9	教職員	教職員定期健康診断検尿再検査
	3		塾長杯・体育会理事杯争奪蜷谷クロスカントリー大会救護
12	14	医学部1年生	医学部B肝抗体価検査
	19	薬学部1年生	薬学部B肝抗体価検査

月	日	対象	業務
1	6	医学部1年生	医学部B型肝炎ワクチン接種後抗体陰性者のみ結果返却・面接
	12		環境調査
	13, 16～20	教職員	特定保健指導面接
	26, 27	医学部1年生・薬学部1年生	医学部・薬学部B型肝炎ワクチン接種後抗体獲得確認検査結果郵送
	24～28, 30, 31	学生	秋学期期末試験救護
2	1～3	学生	秋学期期末試験救護
	12～19	受験生	学部入学試験救護
3	2	受験生	医学部2次入学試験救護
	23	卒業生	学部卒業式救護
	28	卒業生	学位授与式（大学院）救護

## 通年業務

雇入時健康診断 臨時健康診断 日吉キャンパス衛生委員会（年12回） 職場巡視（年4回） 退職者面接	就業・登校許可面接 B型肝炎ワクチン追加接種および抗体獲得確認検査 BLS（一次救命処置；Basic Life Support）講習会（年9回）
---	--

(2) 三田分室

月	日	対象	業務
4	6, 25~28, 30	学生	学生定期健康診断
	14, ~15, 18~19	一貫教育校生徒	一貫教育校健康診断
	18~22	学生	学生定期健康診断検尿再検査
	18~22	学生	学生定期健康診断血圧再検査
5	2, 6~7, 9	学生	学生定期健康診断
	16~20	学生	学生定期健康診断検尿再検査
	23~27	学生	学生定期健康診断血圧再検査
6	6		診療所管理委員会
	6~3/30	学生	学生定期健康診断証明書発行
	6~3/30	学生	学生定期健康診断結果報告書発行
	18	受験生	ニューヨーク学院AO入試救護
	21	各食堂	食堂の調査
	27	学生	学生定期健康診断結果WEB公開開始
7	27~30	教職員	特定保健指導6ヶ月後検査
	1, 4~8	教職員	特定保健指導6カ月後検査
	5		教室等の調査
	11~12, 15	食堂管理責任者	食堂管理責任者との面接
8	20~22, 25~29	教職員	特定保健指導評価面接
	20~22, 25~29	学生	春学期末試験救護
	1~2	学生	春学期末試験救護
	4~9	学生他	延世・復旦・立教・慶應リーダーシップフォーラム
	4~5, 25~26	高校生・受験生	大学説明会, オープンキャンパス救護
	15		特定化学物質検査
9	15		ダニ・アレルゲン検査
	19~24	学生	通信教育部スクーリング救護
	30~31	高校生他	模擬講義救護
	1	高校生他	模擬講義救護
	1	一貫教育校生徒	PEARL説明会
	3~4	受験生	法科大学院入学試験救護
	5, 7~8, 13	受験生	帰国生対象入学試験第2次選考試験救護
10	6		科学研究費助成事業公募要領等説明会
	8~9, 12~16	受験生	大学院入学試験救護（秋期）
	15	学生	9月学部・大学院卒業式救護
	16	学生	9月学部・大学院入学式救護
	17~18, 24	学生	週末通信スクーリング
	17	受験生	法学部FIT入試救護（A方式）
	18	受験生	法学部FIT入試救護（B方式）
11	1	学生	週末通信スクーリング
	3		保健管理センター運営委員会
	3~7, 11~13	教職員	教職員定期・生活習慣病健康診断
	27~11/4	教職員	教職員定期・生活習慣病健康診断結果発送
12	29	学生	秋期オリエンテーション救護
	9	学生	学生再検査呼出・面接開始
	14	教職員	消防訓練（応急処置講習）
	15	三田祭実行委員	三田祭衛生講習会
	15~20	学生・教職員他	三田祭救護
12	24, 25, 28~30	学生	学生定期健康診断検尿再検査
	28~30	学生	学生定期健康診断6ヶ月後血圧再検査
	2, 5~7	学生	学生定期健康診断検尿再検査
	2	学生	学生定期健康診断6ヶ月後血圧再検査
	3	受験生	ニューヨーク学院AO入試救護
	3	受験生	通信教育学部入学説明会
12	13		教室等の調査
	7~9, 12~16, 19~20	教職員	特定保健指導面接

月	日	対象	業務
1	10	教職員他	福澤先生誕生記念会並びに新年名刺交換会救護
	18～19	受験生	外国人留学生2次試験救護
	24～28, 30～31	学生	秋学期末試験救護
	27	教職員	教職員定期健康診断受診率, 大学評議会で報告
2	1～2	学生	秋学期末試験救護
	3	教職員他	特選塾員証授与式および祝賀会救護
	7	受験生	志木高等学校一次入学試験救護
	10～14	受験生	学部入学試験救護
	20	受験生	看護学部2次入試救護
	20, 24, 27	受験生	大学院入学試験 (1次) 救護 (春期)
	22, 27, 28	受験生	大学院入学試験 (2次) 救護 (春期)

## 通年業務

雇入時健康診断 臨時健康診断 基幹システム連絡会議 (年8回) 三田キャンパス衛生委員会 (年11回)	職場巡視 (年6回) 退職者面接 就業・登校許可面接 自動体外式除細動器 (AED; Automated External Defibrillator) 点検
--	--

(3) 湘南藤沢分室（看護医療学部を含む，大学担当）

月	日	対象	業務
4	4～8	学生	学生定期健康診断
	13～15, 18	学生	学生定期健康診断検尿再検査
	20, 27, 5/11	看護医療学部1年生・2年次編入の2年生, 健康マネジメント研究科	看護医療学部実習前血液検査
5	9～13	学生	学生定期健康診断血圧再検査
	13, 17, 20, 23～24, 27	看護医療学部1年生・2年次編入の2年生, 健康マネジメント研究科	看護医療学部実習前血液検査結果返却
	18	体育会所属の学生	体育会総会一次救命処置(BLS:Basic Life Support)講習
6	1～3, 6, 8～9, 16	七夕祭実行委員の学生	BLS講習会
	6～3/30	学生	学生定期健康診断証明書発行
	6～3/30	学生	学生定期健康診断結果報告書発行
	11	受験生	大学院入試 1次試験救護
	15	看護医療学部1年生・2年次編入の2年生, 健康マネジメント研究科（看護学専修）修 士課程1年生・博士課程1年生	看護医療学部B型肝炎ワクチン基礎接種1回目
	23	七夕祭模擬店参加団体	七夕祭衛生講習会
	25	来場者	SFCオープンキャンパス救護
	25	来場者	SFCオープンキャンパス救護（看護医療学部保健室）
	27	学生	学生定期健康診断結果WEB公開開始
	30		教室等の調査
7	1, 4～7	学生・教職員	BLS講習会
	2	学生・来場者	七夕祭救護
	7	各食堂	食堂調査
	9	受験生	大学院入試 2次試験救護
	11～14	教職員	特定保健指導6か月後検査
	13	看護医療学部1年生・2年次編入の2年生, 健康マネジメント研究科（看護学専修）修 士課程1年生・博士課程1年生	看護医療学部B型肝炎ワクチン基礎接種2回目
	16	受験生	A0入試 2次試験救護
	22, 25～28	学生	春学期末試験救護
	22, 25～28	学生	春学期末試験救護（看護医療学部保健室）
	29	看護医療学部2年生	ピンングセレモニー救護（看護医療学部保健室）
8	1, 24～25	高校生（受験生）と在校生のスタッフ	未来構想キャンパス救護
	2		特定化学物質検査
	2		ダニ・アレルゲン検査
	14～30, 9/1～14, 9/22～10/7	看護医療学部老年・小児実習グループ	看護医療学部実習前便培養検査
	27	一貫校生徒	SFC体験ツアー救護
	31	受験生	第2学年学士編入学試験救護
9	3	受験生	第2学年学士編入学試験救護（看護医療学部保健室）
	6	受験生	帰国生入試 2次試験救護
	12～14, 26～27	秋祭実行委員の学生	BLS講習会
	21	学生	9月入学生定期健康診断
	29, 10/6	食堂管理責任者	食堂管理責任者との面接
10	29	秋祭模擬店参加団体	秋祭衛生講習会
	1～2	受験者	A0入試 2次試験救護
	3～7	学生	9月入学生定期健康診断血圧再検査
	3～7	学生	9月入学生定期健康診断検尿再検査
	8～9	学生・来場者	秋祭救護
	11～14	学生	学生定期健康診断血圧再検査
	11～14	学生	学生定期健康診断検尿再検査
29	受験生	A0入試 2次試験救護（看護医療学部保健室）	
11	5	受験生	大学院入試 1次試験救護
	7～11	教職員	教職員定期・生活習慣病健康診断/雇入時健康診断
	16～18, 21～24	教職員	教職員定期健康診断検尿再検査
	26	受験生	大学院入試 2次試験救護
12	30	看護医療学部1年生・2年次編入の2年生, 健康マネジメント研究科（看護学専修）修 士課程1年生・博士課程1年生	看護医療学部B型肝炎ワクチン基礎接種3回目
	3	受験生	A0入試 2次試験救護
	6	教職員	教職員定期・生活習慣病健康診断結果発送
	22		教室等の調査

月	日	対象	業務
1	13, 16	看護医療学部1年生, 2年次編入の2年生 健康マネジメント研究科(看護学専修)修 士課程1年生, 博士課程1年生	看護医療学部B型肝炎ワクチン接種後抗体獲得確認検査
	23~25	教職員	特定保健指導面接
	24~27, 30	学生	秋学期末試験救護
	24~27, 30	学生	秋学期末試験救護(看護医療学部保健室)
	25	受験生	留学生入試 2次試験救護
2	3, 6~8	学生・教職員	BLS講習会
	27	学生	2学年編入試験 2次試験救護

## 通年業務

自動体外式除細動器(AED;Automated External Defibrillator)点検 心身ウェルネスセンター統括会議(年11回) 湘南藤沢キャンパス衛生委員会(年11回) 職場巡視(年6回)	就業・登校許可面接 退職者面接 臨時健康診断 B型肝炎ワクチン追加接種および抗体獲得確認検査
---	---



（4）信濃町分室

月	日	対象	業務
4	1	研修医	研修医オリエンテーション
	1	新任職員	新任職員オリエンテーション
	1	新任看護師	新任看護師免許申請健診
	12～14	新任教職員	雇入時健康診断
	12～15, 19	教職員	結核健康診断（接触者）IGRA
	12～15, 19～22, 5/10～13	接触者	結核健康診断（接触者）胸部X線検査
	13～15, 19	学生	学生定期健康診断
5	15, 19～22	特定業務従事者	教職員健康診断（特定業務）
	10～13	学生	定期健康診断血圧再検査
	10～13, 16～20	学生	定期健康診断検尿再検査
	16	新任教職員	雇入時健康診断結果発送
	17～20	教職員	結核健康診断（接触者）IGRA（インターフェロングamma遊離試験）
	17～20	教職員	B型肝炎ワクチン基礎接種前検査
6	23～6/3	教職員	教職員健康診断（特定業務）結果発送
	6～24	教職員	教職員健康診断（特定業務）検尿再検査
	6～3/30	学生	学生定期健康診断証明書発行
	6～3/30	学生	学生定期健康診断結果報告書発行
	21～24	教職員	B型肝炎ワクチン基礎接種1回目
	22		食堂の調査
7	27	学生	学生定期健康診断結果WEB公開開始
	6		教室等の調査
	26～29	教職員	B型肝炎ワクチン基礎接種2回目
8	15～19	教職員	特殊健康診断（有機・特化）
	15～19	教職員	特殊健康診断（電離・管理）
	24	学生	特定化学物質検査
	24	学生	ダニ・アレルゲン検査
	16, 27		食堂管理責任者との面接
	31～9/2, 6～9, 13～16	教職員	教職員定期・生活習慣病健康診断
10	31～9/2, 6～9, 13～16, 27～30	接触者	結核健康診断胸部X線検査
	7～28	教職員	教職員定期・生活習慣病健康診断結果発送
	18～11/18	教職員	教職員定期・生活習慣病健康診断検尿再検査
11	26～28, 31～11/2	学生, 教職員	インフルエンザ予防接種
	1	学生	四谷祭衛生講習会
	22	学生	医学部臨床実習のための健康管理に関わる書類発行
12	6～9	教職員	B型肝炎ワクチン基礎接種3回目
	7		教室等の調査
1	24～27	教職員	B型肝炎ワクチン基礎接種後抗体獲得確認検査
	24～27, 31～2/3, 6～10	教職員	ハイリスク部署所属者IGRA
	31	学生	共用試験（CBT）救護
2	7～10	教職員	特殊健康診断（電離・管理）
	28	学生	医学部臨床実習のための健康管理に関わる書類発行
3	7	教職員	共用試験（CBT）再試験救護
	7～10	教職員	特殊健康診断（指定実験室）
	7～10	教職員	特殊健康診断（有機・特化）

通年業務

雇入時健康診断	B型肝炎ワクチン追加接種および抗体獲得確認検査
臨時健康診断	地区間異動者感染症検査
特殊健康診断（電離：使用前）	麻薬施用者免許申請用診断書作成
血液曝露対応	信濃町キャンパス衛生委員会（年12回）
キャンパス内感染症発生時対応	退職者面接
非常勤教員の健診受診状況確認	就業・登校許可面接
看護師採用試験診断書確認	職場巡視（年2回）

## (5) 矢上分室

月	日	対象	業務
4	26~28	学生	学生定期健康診断
5	9~13, 16~20	学生	学生定期健康診断検尿再検査
	10	教職員・学生	特殊健康診断（電離・有機・特化・鉛・四アルキル鉛）
	12	生命情報学科学生	生命情報学科自動体外式除細動器（AED：Automated External Defibrillator）講習会
	23~27	学生	学生定期健康診断血圧再検査
6	26	応用化学科学生	応用化学科AED講習会
	5	受験生	修士課程6月入学試験救護
	6~3/30	学生	学生定期健康診断証明書発行
	6~3/30	学生	学生定期健康診断結果報告書発行
	20~24	学生	学生定期健康診断血圧再検査
7	27	学生	学生定期健康診断結果WEB公開開始
	1		食堂の調査
	4		教室等の調査
	11		食堂管理責任者との面接
	23	受験生	後期博士課程7月入学試験救護
8	25		食堂管理責任者との面接
	4		特定化学物質検査
	4		ダニ・アレルゲン検査
	6	来場者	オープンキャンパス救護
9	23, 26	受験生	修士課程8月入学試験救護
	9	受験生	帰国生入試第2次選考救護
	26	矢上祭模擬店出店団体	矢上祭衛生講習会, AED講習会
10	8~9	来場者・学生・教職員	矢上祭救護
	24~25	学生・教職員	特殊健康診断（電離・有機・特化・鉛・四アルキル鉛）
	4	受験生	A0入試第2次選考試験救護
12	9		教室等の調査
	12~16, 19~20	学生・教職員	特殊健康診断検尿再検査
	12~1/6	学生・教職員	特殊健康診断結果面接
1	21	受験生	留学生入試第2次選考救護
2	18	受験生	後期博士課程2月入学試験救護
	27	受験生	2学年編入試験・学士入学試験救護

## 通年業務

理工学部・理工学研究科安全衛生委員会（年2回）	職場巡視（夜間巡視を含む，年4回）
理工学部・理工学研究科安全衛生委員会衛生小委員会（年12回）	就業・登校許可面接
	AED点検

(6) 芝共立分室

月	日	対象	業務
4	5	薬4・5年生	薬学部ガイダンス
	6	薬5年生	学生（薬学部5年生）定期健康診断（三田）
	11～13, 20～21	学生	学生定期健康診断血圧再検査
	11～13, 20～21	学生	学生定期健康診断検尿再検査
	14	転学科学学生	薬学部実習前血液検査
	14	学生・教職員	特殊健康診断（電離使用前）
	20	学生・教職員	特殊健康診断（電離使用前）結果発送
5	25～28, 30	学生	学生定期健康診断（三田）
	27	転学科学学生	薬学部実習前血液検査結果返却
	2, 6～7, 9	学生	学生定期健康診断（三田）
	2	薬科学科4年生で研究で使用するもの	B型肝炎ワクチン基礎接種前検査
	9～11, 16～18	学生	学生定期健康診断検尿再検査
	10	薬科学科4年生で研究で使用するもの	B型肝炎ワクチン基礎接種前検査結果返却
	14	学生	浦和祭救護
6	19～20	転学科学学生、薬科学科4年生で研究で使用するもの	薬学部B型肝炎ワクチン基礎接種1回目
	19～20	学生	薬学部B型肝炎ワクチン追加接種
	23～25	学生	学生定期健康診断血圧再検査
	1～3	学生・教職員	特殊健康診断（電離管理、遺伝子組換え実験・病原体取扱い）
	6～3/30	学生	学生定期健康診断証明書発行
	6～3/30	学生	学生定期健康診断結果報告書発行
	7		教室等の調査
7	16～17	教職員	特定保健指導6ヵ月後検査
	16～17	学生・教職員	特殊健康診断（特化・有機）
	17	学生	薬学部B型肝炎ワクチン接種後抗体獲得確認検査
	20～21	学生	薬学部B型肝炎ワクチン基礎接種2回目
	23～24	学生	B型肝炎ワクチン接種後抗体獲得確認検査結果返却
	25	受験生	大学院推薦入試救護
	27	学生	学生定期健康診断結果WEB公開開始
8	4～5, 19	教職員	特定保健指導評価面接
	5		食堂の調査
	6	学生・教職員	特殊健康診断（特化・有機）結果発送
	11～12, 19	学生・教職員	特殊健康診断結果面接
	23	高校生他	オープンキャンパス救護
9	26～27	薬4年生	CBT体験受験救護
	2	受験生	大学院入試救護
	3～5, 9, 22, 24	高校生他	ファーマサイエンスショートコース救護
	15		特定化学物質検査
10	15	学生	ダニ・アレルゲン検査
	15		芝共薬祭衛生講習会
	1	高校生他	食堂管理責任者との面接
	1	教職員	塾内高等学校向け説明会救護
	3～7, 11～13	教職員	特殊健康診断（電離、遺伝子組換え実験・病原体取扱い）
	3～7, 11～13	教職員	教職員定期・生活習慣病健康診断（三田）
	17～19	教職員	特殊健康診断（特化・有機）（三田）
11	22～23	学生・教職員他	教職員検尿未了者検査
	24～25	転学科学学生、薬科学科4年生で研究で使用するもの	芝共薬祭救護
	27～11/2	教職員	薬学部B型肝炎ワクチン基礎接種3回目
	27～11/2	教職員	教職員定期・生活習慣病健康診断結果発送
	27～11/2	教職員	特殊健康診断（特化・有機）結果発送
12	1		教室等の調査
	5	学生の父兄	薬学部父母・アドバイザー懇談会救護
	7～9, 14～15	教職員	教職員検尿再検査
	21～22, 24, 28	学生	学生定期健康診断検尿再検査
	21～22, 24, 28	学生	学生定期健康診断血圧再検査
12	25, 29	学生	薬学部B型肝炎ワクチン接種後抗体獲得確認検査
	4	薬4年生	薬学共用試験OSCE救護
	6～7	学生	B型肝炎ワクチン接種後抗体獲得確認検査結果返却
	9	学生	特殊健康診断（電離管理）
	10	高校生他	薬学部指定校推薦合格者面談と施設内見学救護
14～16	教職員	特定保健指導面接	

月	日	対象	業務
1	14	受験生	薬学研究科二次入学試験救護
	17～18	薬4年生	共用試験（CBT）救護
	30	学生	特殊健康診断（電離使用前）
2	3	学生	特殊健康診断（電離使用前）結果発送
	7, 20	薬4年生	ウイルス感染症抗体検査再検査
	17～18	薬4年生	実務実習提出用健康記録作成
	17～18	薬5年生	アドバンスト実習提出用健康記録作成
	22	薬4年生	共用試験（OSCE）追再試験救護
3	21	薬4年生	ウイルス感染症抗体検査再検査

## 通年業務

芝共立キャンパス衛生委員会（年11回） 職場巡視（年2回） B型肝炎ワクチン追加接種および抗体獲得確認検査	就業・登校許可面接 自動対外式除細動器（AED:Automated External Defibrillator）点検 退職者面接
---	---

## 2. 学生定期健康診断（学校保健安全法第5～11条）

### （1）学生定期健康診断実施項目一覧

対象 項目	学部			修士		博士			専門職学位課程 <sup>※1</sup>	
	全学部		医・薬			全研究科		医・薬		
	1年	2～4年	5～6年	1年	2年	1年	2～3年	4年	1年	2～3年
身長・体重	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
血圧・脈拍	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
検尿	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
視力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
内科	○	◆	◆	○	◆	○	◆	◆	○	◆
胸部X線検査	○	▲	▲	○	▲	○	▲	▲	○	▲
心電図	○	★	★	★ <sup>※2</sup>	★	★ <sup>※2</sup>	★	★	★	★
ヘルスチェック	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

- ◆：a) 循環器（心臓）管理者  
b) ヘルスチェックで必要と指示されたもの
- ★：a) 循環器（心臓）管理者  
b) 最大血圧160mmHg以上または最小血圧100mmHg以上のもの  
c) 脈拍が140回/分以上または50回/分未満のもの  
d) ヘルスチェックまたは内科で指示されたもの  
e) 循環器系の自覚症状（動悸，胸痛，失神など）があるもの  
f) 胸部X線判定後循環器系の所見（心拡大など）を指摘されたもの  
g) 体育会所属者（理工・医学部体育会は除く）  
h) 応援指導部・ワンダーフォーゲル部に所属するもの（マネージャーは除く）

- ▲：希望者および指示されたもの  
ただし，医学部，薬学部，看護医療学部および同大学院についてはそれぞれの規定により別途実施

上記定期健康診断以外に医療系学部および研究科のみ，便培養検査，ウイルス感染症抗体検査，B型肝炎ウイルス抗原・抗体検査，IGRA（インターフェロン $\gamma$ 遊離試験）検査を実施している。詳細は[Ⅱ 第3. 感染症対策]を参照のこと

- ※1 法務研究科（法科大学院）
- ※2 医学研究科のみ全員実施

(2) 学生定期健康診断受診状況  
ア 大学学部学生

学部	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計		
文	在籍	340	547	887	871	304	584	888	290	585	875	—	—	1,241	2,280	3,521	
	受診	312	514	826	664	232	451	683	219	468	687	—	—	984	1,876	2,860	
	%	91.8	94.0	93.1	76.2	76.3	77.2	76.9	80.0	75.5	78.5	—	—	79.3	82.3	81.2	
経	在籍	902	280	1,182	307	1,308	1,027	1,305	1,011	290	1,301	—	—	3,941	1,155	5,096	
	受診	828	271	1,099	726	961	793	1,014	824	236	1,060	—	—	3,171	963	4,134	
	%	91.8	96.8	93.0	72.5	73.5	77.2	77.7	81.4	81.5	81.5	—	—	80.5	83.4	81.1	
法	在籍	766	544	1,310	779	499	812	1,375	806	494	1,300	—	—	3,163	2,100	5,263	
	受診	713	530	1,243	638	436	632	1,084	684	409	1,093	—	—	2,667	1,827	4,494	
	%	93.1	97.4	94.9	81.9	84.0	77.8	78.8	84.9	82.8	84.1	—	—	84.3	87.0	85.4	
商	在籍	825	306	1,131	763	302	1,065	1,046	820	324	1,144	—	—	3,145	1,241	4,386	
	受診	723	291	1,014	550	246	796	857	657	284	941	—	—	2,518	1,090	3,608	
	%	87.6	95.1	89.7	72.1	81.5	74.7	81.9	80.1	87.7	82.3	—	—	80.1	87.8	82.3	
医	在籍	90	27	117	84	32	116	109	84	29	113	91	23	110	162	679	
	受診	90	27	117	84	32	116	109	84	29	113	91	23	110	162	679	
	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
理工	在籍	820	187	1,007	855	189	1,044	1,049	878	197	1,075	—	—	3,426	749	4,175	
	受診	777	181	958	680	175	855	899	812	191	1,003	—	—	3,015	700	3,715	
	%	94.8	96.8	95.1	79.5	92.6	81.9	85.7	86.9	92.5	93.3	—	—	88.0	93.5	89.0	
総	在籍	322	225	547	300	203	503	451	335	200	535	—	—	1,234	802	2,036	
	受診	310	217	527	282	196	478	414	280	178	458	—	—	1,124	753	1,877	
	%	96.3	96.4	96.3	94.0	96.6	95.0	91.8	83.6	89.0	85.6	—	—	91.1	93.9	92.2	
環	在籍	345	207	552	344	197	541	431	313	204	517	—	—	1,292	749	2,041	
	受診	333	202	535	326	188	514	394	276	184	460	—	—	1,201	702	1,903	
	%	96.5	97.6	96.9	94.8	95.4	95.0	91.4	88.2	90.2	89.0	—	—	93.0	93.7	93.2	
看	在籍	7	95	102	3	112	115	119	3	88	91	—	—	17	410	427	
	受診	7	95	102	3	112	115	117	3	87	90	—	—	17	407	424	
	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	98.3	98.3	100.0	98.9	—	—	100.0	99.3	99.3	
薬	在籍	128	115	243	114	94	208	222	94	111	205	48	101	149	608	1,190	
	受診	127	113	240	111	93	204	218	94	110	204	48	101	149	603	1,178	
	%	99.2	98.3	98.8	97.4	98.9	98.1	97.6	99.0	98.2	99.1	100.0	100.0	100.0	98.8	99.2	
計	在籍	4,545	2,533	7,078	4,550	2,499	7,049	6,995	4,634	2,522	7,156	139	124	263	156	117	273
	受診	4,220	2,441	6,661	3,621	2,156	5,777	5,789	3,933	2,176	6,109	139	124	263	156	117	273
	%	92.8	96.4	94.1	79.6	86.3	82.0	82.8	84.9	86.3	85.4	100.0	100.0	100.0	85.1	88.6	86.3

※1 学部（文学部，経済学部，法学部，商学部，医学部，理工学部，総合政策学部，環境情報学部，看護医療学部，薬学部）  
 ※2 外部医療機関受診者を含む

ウ 大学院学生 (博士課程)

研究科	1年		2年		3年		4年		合計							
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
	計	%	計	%	計	%	計	%	計	%						
文	在籍	14	4	18	11	8	19	36	31	67	-	-	-	61	43	104
	受診	11	2	13	9	5	14	17	18	35	-	-	-	37	25	62
	%	78.5	50.0	72.2	81.8	62.5	73.7	47.2	58.1	52.2	-	-	-	60.7	58.1	59.6
経	在籍	7	1	8	10	2	12	9	4	13	-	-	-	26	7	33
	受診	6	1	7	7	1	8	5	2	7	-	-	-	18	4	22
	%	85.7	100.0	87.5	70.0	50.0	66.7	55.6	50.0	53.8	-	-	-	69.2	57.1	66.7
法	在籍	16	6	22	4	1	5	37	12	49	-	-	-	57	19	76
	受診	14	6	20	2	1	3	20	5	25	-	-	-	36	12	48
	%	87.5	100.0	90.9	50.0	100.0	60.0	54.1	41.7	51.0	-	-	-	63.2	63.2	63.2
社	在籍	7	4	11	3	4	7	14	9	23	-	-	-	24	17	41
	受診	4	3	7	2	3	5	9	5	14	-	-	-	15	11	26
	%	57.1	75.0	63.6	66.7	75.0	71.4	64.3	55.6	60.9	-	-	-	62.5	64.7	63.4
商	在籍	6	3	9	5	0	5	3	3	6	-	-	-	14	6	20
	受診	5	3	8	3	0	3	2	1	3	-	-	-	10	4	14
	%	83.3	100.0	88.9	60.0	0.0	60.0	66.7	33.3	50.0	-	-	-	71.4	66.7	70.0
医	在籍	81	26	107	68	33	101	58	32	90	70	25	95	277	116	393
	受診	70	24	94	33	17	50	25	19	44	25	11	36	153	71	224
	%	86.4	92.3	87.9	48.5	51.5	49.5	43.1	59.4	48.9	35.7	44.0	37.9	55.2	61.2	57.0
理工	在籍	82	13	95	73	16	89	94	14	108	-	-	-	249	43	292
	受診	63	9	72	54	12	66	67	12	79	-	-	-	184	33	217
	%	76.8	69.2	75.8	74.0	75.0	74.2	71.3	85.7	73.1	-	-	-	73.9	76.7	74.3
経営	在籍	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	2
	受診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0
政	在籍	28	8	36	13	7	20	55	24	79	-	-	-	96	39	135
	受診	17	3	20	6	6	12	23	13	36	-	-	-	46	22	68
	%	60.7	37.5	55.6	46.2	85.7	60.0	41.8	54.2	45.6	-	-	-	47.9	56.4	50.4
健	在籍	3	5	8	3	4	7	5	14	19	-	-	-	11	23	34
	受診	1	3	4	1	1	2	3	4	7	-	-	-	5	8	13
	%	33.3	60.0	50.0	33.3	25.0	28.6	60.0	28.6	36.8	-	-	-	45.5	34.8	38.2
SDM	在籍	10	3	13	8	5	13	19	7	26	-	-	-	37	15	52
	受診	3	2	5	2	4	6	3	0	3	-	-	-	8	6	14
	%	30.0	66.7	38.5	25.0	80.0	46.2	15.8	0.0	11.5	-	-	-	21.6	40.0	26.9
MD	在籍	8	8	16	12	6	18	18	7	25	-	-	-	38	21	59
	受診	4	2	6	4	4	8	2	4	6	-	-	-	10	10	20
	%	50.0	25.0	37.5	33.3	66.7	44.4	11.1	57.1	24.0	-	-	-	26.3	47.6	33.9
薬	在籍	8	7	15	6	3	9	14	2	16	6	3	9	34	15	49
	受診	7	7	14	6	3	9	12	1	13	5	3	8	30	14	44
	%	87.5	100.0	93.3	100.0	100.0	100.0	85.7	50.0	81.3	83.3	100.0	88.9	88.2	93.3	89.8
計	在籍	270	88	358	216	89	305	364	159	523	76	28	104	926	364	1,290
	受診	205	65	270	129	57	186	189	84	273	30	14	44	553	220	773
	%	75.9	73.9	75.4	59.7	64.0	61.0	51.9	52.8	52.2	39.5	50.0	42.3	59.7	60.4	59.9

エ 専門職学位課程

学部	1年		2年		3年		合計						
	男	女	男	女	男	女	男	女					
	計	%	計	%	計	%	計	%					
法科	在籍	23	28	51	115	59	174	138	48	186	276	135	411
	受診	20	28	48	81	50	131	103	40	143	204	118	322
	%	87.0	100.0	94.1	70.4	84.7	75.3	74.6	83.3	76.9	73.9	87.4	78.3

※1 研究科 (文学, 経済学, 法学, 社会学, 商学, 医学, 工学, 経営管理, 政策・メディア, 健康マネジメント, システムデザイン・マネジメント(SDM), メディアデザイン(MD), 薬学, 専門職学位課程(法務研究科))  
 ※2 外部医療機関受診者を含む

オ 9月入学生

(ア) 大学学部学生

学部	学年		1年		2年		計
	男	女	男	女	男	女	
法	在籍	2	2	4	0	0	0
	受診	2	2	4	0	0	0
	%	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
総	在籍	7	30	37	0	0	0
	受診	7	29	36	0	0	0
	%	100.0	96.7	97.3	0.0	0.0	0.0
環	在籍	27	19	46	0	0	0
	受診	27	19	46	0	0	0
	%	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
計	在籍	36	51	87	0	0	0
	受診	36	50	86	0	0	0
	%	100.0	98.0	98.9	0.0	0.0	0.0

(イ) 大学院学生 (修士課程)

研究科	2009		2010		2011		計
	男	女	男	女	男	女	
理工	在籍	34	10	44			44
	受診	32	10	42			42
	%	94.1	100.0	95.5			95.5
経営	在籍	1	1	2			2
	受診	1	1	2			2
	%	100.0	100.0	100.0			100.0
政メ	在籍	17	21	38			38
	受診	15	20	35			35
	%	88.2	95.2	92.1			92.1
SDM	在籍	2	4	6			6
	受診	2	3	5			5
	%	100.0	75.0	83.3			83.3
MD	在籍	61	58	119			119
	受診	57	56	113			113
	%	93.4	96.6	95.0			95.0
計	在籍	115	94	209			209
	受診	107	90	197			197
	%	93.0	95.7	94.3			94.3

※1 研究科[理工学, 経営管理, 政策メディア, システムデザインマネジメント(SDM), メディアデザイン(MD)]

※2 4月に定期健康診断を受診した者を含む

※3 外部医療機関受診者を含む

(ウ) 大学院学生 (博士課程)

研究科	2010		2011		計
	男	女	男	女	
理工	在籍	20	5	25	
	受診	11	4	15	
	%	55.0	80.0	60.0	
政メ	在籍	9	8	17	
	受診	5	3	8	
	%	55.6	37.5	47.1	
SDM	在籍	6	0	6	
	受診	2	0	2	
	%	33.3	0.0	33.3	
MD	在籍	1	1	2	
	受診	0	0	0	
	%	0.0	0.0	0.0	
計	在籍	36	14	50	
	受診	18	7	25	
	%	50.0	50.0	50.0	

カ 受診率の推移 (%) (9月入学生は除く)

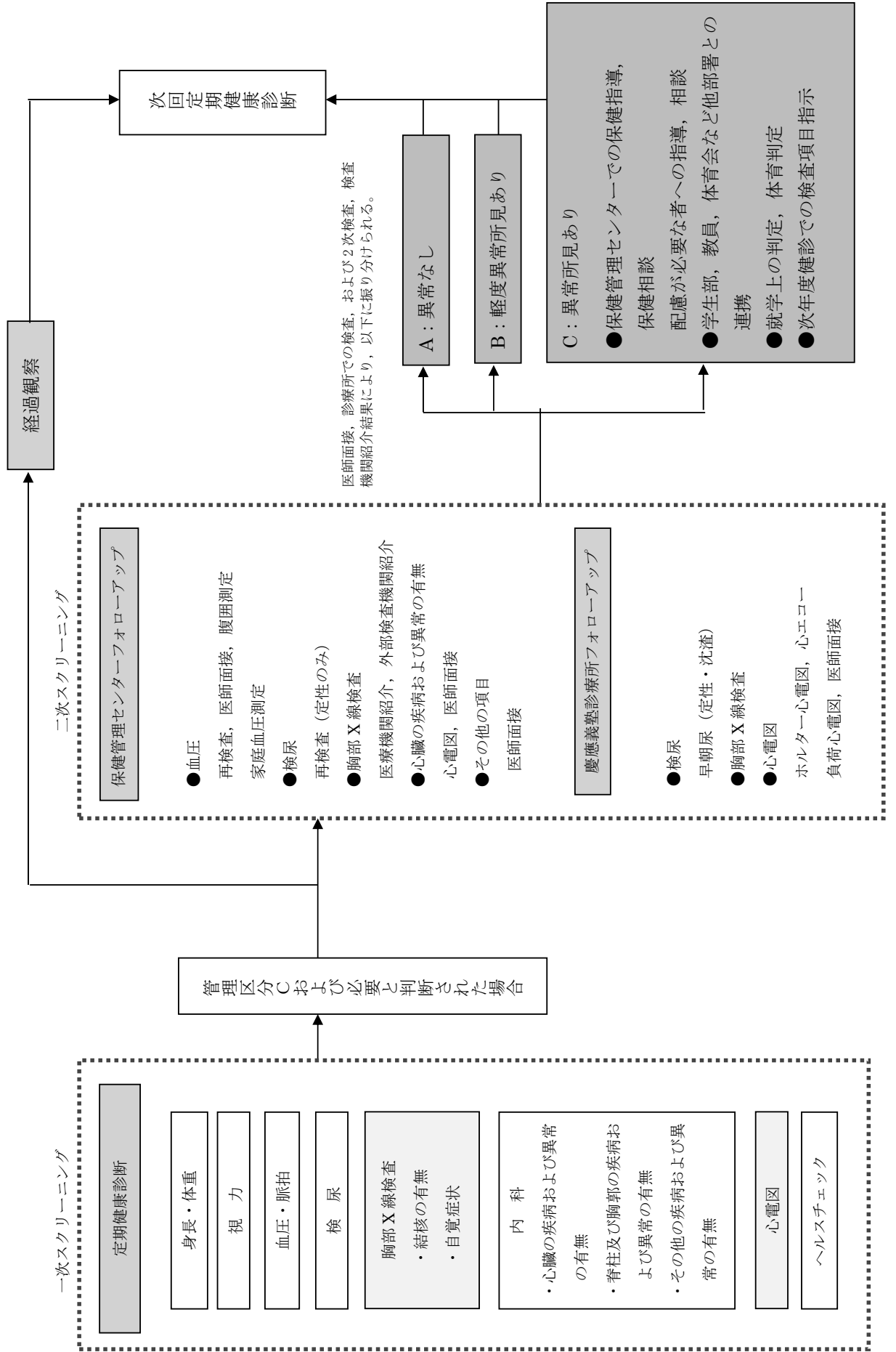
	2007		2008		2009		2010		2011		2016	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
大学学部学生	83.3	89.2	85.2	84.5	90.9	86.6	87.3	92.4	89.0	87.5	92.2	89.0
大学院学生 (修士課程)	88.5	83.3	87.1	87.4	84.7	86.7	88.0	84.0	86.9	87.7	83.7	86.6
大学院学生 (博士課程)	68.1	64.1	67.1	70.3	60.3	67.4	62.0	61.8	62.0	59.0	59.6	59.1
専門職学位課程 (法務研究科)	82.6	80.5	81.7	80.9	85.5	82.7	88.7	91.1	89.6	83.7	86.0	84.5
大学学部学生	87.8	93.2	89.6	87.3	92.6	89.1	87.3	92.6	89.1	87.4	91.9	88.9
大学院学生 (修士課程)	87.2	80.3	85.2	86.6	82.9	85.6	86.6	82.9	85.6	87.6	87.2	87.5
大学院学生 (博士課程)	69.5	69.8	69.6	68.8	69.8	69.1	68.8	69.8	69.1	76.8	77.4	76.9
専門職学位課程 (法務研究科)	87.8	88.3	88.0	79.6	85.1	81.3	79.6	85.1	81.3	81.6	83.4	82.1
計	87.8	88.3	88.0	79.6	85.1	81.3	79.6	85.1	81.3	81.6	83.4	82.1
大学学部学生	87.8	93.2	89.6	87.3	92.6	89.1	87.3	92.6	89.1	87.4	91.9	88.9
大学院学生 (修士課程)	87.2	80.3	85.2	86.6	82.9	85.6	86.6	82.9	85.6	87.6	87.2	87.5
大学院学生 (博士課程)	69.5	69.8	69.6	68.8	69.8	69.1	68.8	69.8	69.1	76.8	77.4	76.9
専門職学位課程 (法務研究科)	87.8	88.3	88.0	79.6	85.1	81.3	79.6	85.1	81.3	81.6	83.4	82.1
計	87.8	88.3	88.0	79.6	85.1	81.3	79.6	85.1	81.3	81.6	83.4	82.1



(3) 学生定期健康診断の流れ

（学校保健安全法 第三節 健康診断第十三条）

目的：学校においては、前条の健康診断の結果に基づき疾病の予防処置を行い、または治療を指示し並びに運動及び作業を軽減する等適切な措置をとらなければならない。



(4) 学生定期健康診断集計

在籍者数 33,996人 受診者数 29,344人

項目	判定基準	要管理者								
		検査人数(人)			男		女		合計	
		男	女	合計	人	%	人	%	人	%
身長・体重	やせ C判定 BMI※ 15.4未満	18,582	10,303	28,885	19	0.1	39	0.4	58	0.2
	B判定 BMI 15.4以上18.5未満				1,972	10.6	2,151	20.9	4,123	14.3
	肥満 C判定 BMI 30.0以上				318	1.7	46	0.4	364	1.3
	B判定 BMI 25.0以上30.0未満				1,714	9.2	289	2.8	2,003	6.9
血圧	最大血圧140mmHg以上または最小血圧90mmHg以上(2回目の測定値にて集計)	18,583	10,302	28,885	497	2.7	23	0.2	520	1.8
検尿(蛋白)	(1+)以上	18,582	10,303	28,885	273	1.5	181	1.8	454	1.6
検尿(潜血)	(1+)以上				91	0.5	959	9.3	1,050	3.6
検尿(糖)	(1+)以上				31	0.2	12	0.1	43	0.1
視力	右または左視力 0.7未満	18,583	10,303	28,886	3,237	17.4	1,692	16.4	4,929	17.1
胸部X線検査	所見があり、再検査・精密検査・経過観察を必要とする	18,401	9,766	28,167	78	0.4	43	0.4	121	0.4
内科	病的心雑音がある	5,972	3,426	9,398	48	0.8	22	0.6	70	0.7
心電図	所見があり、再検査・精密検査・経過観察を必要とする	6,189	3,191	9,380	223	3.6	86	2.7	309	3.3

項目	C判定基準	要管理者								
		受診人数(人)			男		女		合計	
		男	女	合計	人	%	人	%	人	%
生活区分	体育、授業、日常生活に制限を要する	18,862	10,482	29,344	18	0.1未満	12	0.1	30	0.1
疾病区分	呼吸器系疾患				186	1.0	147	1.4	333	1.1
	循環器系疾患(血圧以外)				130	0.7	62	0.6	192	0.7
	腎・泌尿器系疾患				35	0.2	17	0.2	52	0.2
	精神科系疾患				57	0.3	41	0.4	98	0.3
身体障害者区分	視覚障害学生、聴覚障害学生、肢体不自由学生、慢性的胸部疾患・心臓疾患・腎臓疾患等により、医療または生活規制を必要とする学生	1	0.1未満	4	0.1未満	5	0.1未満			

※ BMI;Body Mass Index

(5) 学生定期健康診断要管理者フォローアップ件数

項目		地区						合計 (人)
		本部	三田 分室	信濃町 分室	湘南藤沢 分室	矢上 分室	芝共立 分室	
血 圧	再検	123	17	0	73	45	15	273
	家庭血圧	17	7	0	12	15	5	56
検尿(2次)	定性	350	321	22	228	106	40	1,067
胸部X線検査	再検 <sup>※1</sup>	8	1	0	1	0	0	10
	新規の結核患者	1	0	0	0	0	0	1
心電図	安静時心電図 <sup>※2</sup>	127	332	53	211	200	34	957
	ホルター心電図 <sup>※1</sup>	48	11	1	10	4	0	74
	心エコー <sup>※1</sup>	112	13	1	18	11	0	155
	運動負荷検査 <sup>※1</sup>	1	0	0	0	0	0	1

※1 慶應義塾診療所で実施

※2 体育会所属者は心電図検査を必須としているが、2013年度より体育会所属で心電図検査を実施した者は除外した

(6) 学生定期健康診断結果報告書配布数・Web閲覧件数

項目		地区						合計 (件)
		本部	三田 分室	信濃町 分室	湘南藤沢 分室	矢上 分室	芝共立 分室	
結果報告書窓口配布		194	190	291	45	35	20	775
Web閲覧 <sup>※</sup>		16,425	9,176	615	5,317	3,737	824	36,094
計		16,619	9,366	906	5,362	3,772	844	36,869

※ 延べ閲覧件数

(7) 参考資料

ア 2016年度大学生健康診断結果

対象数	学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		学部5年		学部6年		修士1年※1		修士2年※1		修士1年※1		修士2年		修士3年		修士4年		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
年齢	4,293	2,549	3,620	2,156	3,722	2,071	3,933	2,177	139	124	156	117	993	443	1,051	398	327	113	129	57	189	84	30	14	18,582	10,303	28,885
身長	172.0	159.0	172.2	159.0	172.2	159.1	172.4	159.3	172.9	159.6	172.1	158.8	172.5	159.9	172.1	159.8	172.0	160.0	173.0	160.6	171.0	160.0	171.9	159.5	172.2	159.2	167.6
体重	63.5	50.9	63.6	51.7	63.8	51.3	64.2	50.9	65.5	50.2	65.9	51.3	65.4	53.3	64.5	52.1	66.1	53.0	68.4	52.8	67.9	53.1	70.6	52.3	64.1	51.3	59.5
BMI	21.5	20.1	21.4	20.4	21.5	20.2	21.6	20.0	21.9	19.7	22.2	20.3	21.9	20.8	21.8	20.4	22.3	20.7	22.8	20.4	23.2	20.7	23.8	20.6	21.6	20.2	21.1
対象数	4,293	2,549	3,621	2,156	3,722	2,070	3,933	2,177	139	124	156	117	993	443	1,052	398	326	113	129	57	189	84	30	14	18,583	10,302	28,885
年齢	19.5	19.3	20.5	20.3	21.6	21.4	22.6	22.4	23.5	23.3	24.7	24.6	24.8	25.7	25.5	26.4	28.4	28.4	29.6	31.5	31.5	31.1	32.3	33.0	36.8	21.8	21.7
最大血圧	118.3	102.7	119.2	102.4	117.5	101.8	118.7	103.7	122.8	107.7	120.9	106.7	120.7	107.7	119.9	107.0	121.4	105.2	122.2	106.3	122.0	105.8	123.3	104.7	118.8	103.2	113.2
最小血圧	63.3	58.3	64.1	58.2	64.2	58.3	65.3	59.3	67.1	62.3	66.4	60.8	67.9	62.9	68.3	62.6	69.2	62.0	70.6	64.2	71.1	63.1	72.6	63.6	64.9	59.1	62.8

平均(±標準偏差)

イ 学年別にみた体格の分布

BMI	学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		学部5年		学部6年		修士1年		修士2年		修士1年		修士2年		修士3年		修士4年		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
15.4未満	0.1%	0.3%	0.1%	0.2%	0.1%	0.3%	0.1%	0.6%	0.0%	0.8%	0.0%	0.9%	0.3%	0.0%	0.5%	0.3%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.4%	0.2%
15.4~18.5未満	11.6%	23.3%	9.7%	15.4%	10.3%	20.5%	11.5%	23.5%	5.8%	28.2%	7.1%	18.8%	9.5%	19.4%	11.4%	22.1%	8.9%	15.9%	7.8%	26.3%	6.9%	25.0%	3.3%	14.3%	10.6%	10.9%	14.3%
18.5~25.0未満	78.6%	73.8%	81.5%	81.6%	79.3%	75.9%	77.0%	73.3%	82.7%	69.4%	76.9%	76.1%	75.9%	72.7%	74.8%	72.1%	74.3%	73.5%	69.0%	64.9%	68.3%	65.5%	63.3%	85.7%	78.4%	75.5%	77.3%
25.0~30.0未満	8.2%	2.5%	7.8%	2.5%	8.8%	2.9%	9.4%	2.3%	10.1%	0.8%	14.1%	3.4%	12.2%	5.9%	10.8%	3.5%	12.2%	7.1%	19.4%	8.8%	17.5%	6.0%	26.7%	0.0%	9.2%	2.8%	6.9%
30.0以上	1.5%	0.2%	0.9%	0.2%	1.5%	0.4%	1.9%	0.4%	1.4%	0.8%	1.9%	0.9%	2.1%	1.8%	2.9%	1.8%	4.3%	1.8%	3.9%	0.0%	7.4%	2.4%	6.7%	0.0%	1.7%	0.4%	1.3%

%は学年男女別人数を母数とした中ででの割合を示す

ウ 学年別にみた血圧の分布

血圧の分類※2	学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		学部5年		学部6年		修士1年		修士2年		修士1年		修士2年		修士3年		修士4年		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
最大血圧	94.1%	99.6%	92.2%	99.3%	99.3%	99.3%	90.8%	98.5%	84.2%	96.8%	87.8%	97.4%	90.6%	96.4%	91.5%	97.7%	85.3%	99.1%	84.5%	96.5%	85.7%	96.4%	83.3%	100.0%	91.9%	98.9%	94.4%
140未満	5.5%	0.4%	6.9%	0.6%	6.4%	0.6%	7.6%	1.3%	14.4%	2.4%	10.9%	1.7%	8.3%	3.4%	6.5%	1.3%	11.3%	0.9%	11.6%	3.5%	10.1%	2.4%	16.7%	0.0%	6.9%	0.9%	4.8%
140~159	0.4%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	1.6%	0.2%	1.4%	0.8%	1.3%	0.9%	1.1%	0.2%	2.0%	1.0%	3.4%	0.0%	3.9%	0.0%	4.2%	1.2%	0.0%	0.0%	1.2%	0.2%	0.9%
160以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

%は学年男女別人数を母数とした中ででの割合を示す

※1 専門職学位課程1年は修士1年に、2年は修士2年に、3年は修士3年に含む

※2 一回目の測定で最大血圧, 最小血圧のうち, どちらかが血圧の高い分類にあれば, その分類とした

## (8) ライフスタイル調査結果

在籍者数  
〔1年生：男：4,468 女：2,556 合計：7,024〕〔3年生：男：3,694 女：2,032 合計：5,726〕

項目	課程 学年	学士課程					
		1年生			3年生		
		男	女	合計	男	女	合計
◆住居形態 / 有効回答数		<b>4,258</b>	<b>2,505</b>	<b>6,763</b>	<b>3,665</b>	<b>2,022</b>	<b>5,687</b>
自宅生活		3,181 (74.7%)	1,919 (76.6%)	5,100 (75.4%)	2,620 (71.5%)	1,543 (76.3%)	4,163 (73.2%)
自宅外(自炊・外食)生活		886 (20.8%)	500 (20.0%)	1,386 (20.5%)	925 (25.2%)	432 (21.4%)	1,357 (23.9%)
自宅外(まかない有)生活		191 (4.5%)	86 (3.4%)	277 (4.1%)	120 (3.3%)	47 (2.3%)	167 (2.9%)
◆喫煙 / 有効回答数		<b>4,258</b>	<b>2,459</b>	<b>6,717</b>	<b>3,672</b>	<b>2,023</b>	<b>5,652</b>
吸わない		4,212 (98.9%)	2,457 (99.9%)	6,669 (99.3%)	3,377 (92.0%)	1,989 (98.3%)	5,366 (94.9%)
喫煙する		46 (1.1%)	2 (0.1%)	48 (0.7%)	295 (8.0%)	34 (1.7%)	286 (5.1%)
>1日平均喫煙本数		10.4本	2.5本	10.1本	7.4本	5.2本	7.2本
◆飲酒 / 有効回答数		<b>4,250</b>	<b>2,456</b>	<b>6,706</b>	<b>3,676</b>	<b>2,019</b>	<b>5,695</b>
ほとんど飲酒しない		3,946 (92.8%)	2,403 (97.8%)	6,349 (94.7%)	982 (26.7%)	743 (36.8%)	1,725 (30.3%)
時々飲酒する		283 (6.7%)	51 (2.1%)	334 (5.0%)	2,555 (69.5%)	1,254 (62.1%)	3,809 (66.9%)
よく飲酒する(週5日以上)		21 (0.5%)	2 (0.1%)	23 (0.3%)	139 (3.8%)	22 (1.1%)	161 (2.8%)
◆運動 / 有効回答数		<b>4,253</b>	<b>2,454</b>	<b>6,707</b>	<b>3,671</b>	<b>2,017</b>	<b>5,688</b>
運動する		2,742 (64.5%)	1,024 (41.7%)	3,766 (56.2%)	2,108 (57.4%)	800 (39.7%)	2,908 (51.1%)
ほとんど運動しない		1,511 (35.5%)	1,430 (58.3%)	2,941 (43.8%)	1,563 (42.6%)	1,217 (60.3%)	2,780 (48.9%)
◆睡眠 / 有効回答数		<b>4,260</b>	<b>2,452</b>	<b>6,712</b>	<b>3,667</b>	<b>2,018</b>	<b>5,685</b>
よく眠れる		1,947 (45.7%)	1,405 (57.3%)	3,352 (49.9%)	1,581 (43.1%)	1,098 (54.4%)	2,679 (47.1%)
ほぼよく眠れる		1,965 (46.1%)	961 (39.2%)	2,926 (43.6%)	1,734 (47.3%)	803 (39.8%)	2,537 (44.6%)
あまり良く眠れない		329 (7.7%)	83 (3.4%)	412 (6.1%)	321 (8.8%)	112 (5.6%)	433 (7.6%)
よく眠れない		19 (0.4%)	3 (0.1%)	22 (0.3%)	31 (0.8%)	5 (0.2%)	36 (0.6%)
◆就寝 / 有効回答数		<b>4,180</b>	<b>2,420</b>	<b>6,600</b>	<b>3,577</b>	<b>1,979</b>	<b>5,556</b>
平均睡眠時間		6時間29分	6時間16分	6時間24分	6時間35分	6時間22分	6時間30分
午前0時前に毎日眠る		701 (16.8%)	401 (16.6%)	1,102 (16.7%)	297 (8.3%)	189 (9.6%)	486 (8.7%)
午前0時前に週6-4日は眠る		946 (22.6%)	554 (22.9%)	1,500 (22.7%)	487 (13.6%)	281 (14.2%)	768 (13.8%)
午前0時前に週3-1日は眠る		1,424 (34.1%)	834 (34.5%)	2,258 (34.2%)	1,172 (32.8%)	697 (35.2%)	1,869 (33.6%)
午前0時前に眠ることはほとんどしない		1,109 (26.5%)	631 (26.1%)	1,740 (26.4%)	1,621 (45.3%)	812 (41.0%)	2,433 (43.8%)
◆ストレス / 有効回答数		<b>4,234</b>	<b>2,443</b>	<b>6,677</b>	<b>3,657</b>	<b>2,010</b>	<b>5,667</b>
感じない		1,018 (24.0%)	471 (19.3%)	1,489 (22.3%)	732 (20.0%)	367 (18.3%)	1,099 (19.4%)
ほとんど感じない		1,960 (46.3%)	1,177 (48.2%)	3,137 (47.0%)	1,647 (45.0%)	937 (46.6%)	2,584 (45.6%)
やや感じる		1,135 (26.8%)	729 (29.8%)	1,864 (27.9%)	1,146 (31.3%)	646 (32.1%)	1,792 (31.6%)
とても感じる		121 (2.9%)	66 (2.7%)	187 (2.8%)	132 (3.6%)	60 (3.0%)	192 (3.4%)
◆食生活(朝食) / 有効回答数		<b>4,259</b>	<b>2,459</b>	<b>6,718</b>	<b>3,675</b>	<b>2,024</b>	<b>5,699</b>
毎日食べる		2,878 (67.6%)	1,882 (76.5%)	4,760 (70.9%)	1,970 (53.6%)	1,290 (63.7%)	3,260 (57.2%)
週6~4日		675 (15.8%)	376 (15.3%)	1,051 (15.6%)	737 (20.1%)	365 (18.0%)	1,102 (19.3%)
週3~1日		373 (8.8%)	124 (5.0%)	497 (7.4%)	464 (12.6%)	210 (10.4%)	674 (11.8%)
ほとんど食べない		333 (7.8%)	77 (3.1%)	410 (6.1%)	504 (13.7%)	159 (7.9%)	663 (11.6%)
◆食生活(夕食) / 有効回答数		<b>4,258</b>	<b>2,459</b>	<b>6,717</b>	<b>3,676</b>	<b>2,024</b>	<b>5,700</b>
毎日食べる		613 (14.4%)	230 (9.4%)	843 (12.6%)	522 (14.2%)	166 (8.2%)	688 (12.1%)
週6~4日		851 (20.0%)	339 (13.8%)	1,190 (17.7%)	982 (26.7%)	376 (18.6%)	1,358 (23.8%)
週3~1日		2,299 (54.0%)	1,470 (59.8%)	3,769 (56.1%)	1,895 (51.6%)	1,247 (61.6%)	3,142 (55.1%)
ほとんど食べない		495 (11.6%)	420 (17.1%)	915 (13.6%)	277 (7.5%)	235 (11.6%)	512 (9.0%)
◆食生活(ファーストフード) / 有効回答数		<b>4,255</b>	<b>2,459</b>	<b>6,714</b>	<b>3,677</b>	<b>2,023</b>	<b>5,700</b>
毎日食べる		26 (0.6%)	5 (0.2%)	31 (0.5%)	22 (0.6%)	6 (0.3%)	28 (0.5%)
週6~4日		91 (2.1%)	27 (1.1%)	118 (1.8%)	88 (2.4%)	19 (0.9%)	107 (1.9%)
週3~1日		1,735 (40.8%)	799 (32.5%)	2,534 (37.7%)	1,394 (37.9%)	552 (27.3%)	1,946 (34.1%)
ほとんど食べない		2,403 (56.5%)	1,628 (66.2%)	4,031 (60.0%)	2,173 (59.1%)	1,446 (71.5%)	3,619 (63.5%)
◆食生活(夜食) / 有効回答数		<b>4,257</b>	<b>2,458</b>	<b>6,715</b>	<b>3,677</b>	<b>2,022</b>	<b>5,699</b>
毎日食べる		380 (8.9%)	125 (5.1%)	505 (7.5%)	287 (7.8%)	95 (4.7%)	382 (6.7%)
週6~4日		198 (4.7%)	59 (2.4%)	257 (3.8%)	231 (6.3%)	75 (3.7%)	306 (5.4%)
週3~1日		962 (22.6%)	349 (14.2%)	1,311 (19.5%)	1,130 (30.7%)	453 (22.4%)	1,583 (27.8%)
ほとんど食べない		2,717 (63.8%)	1,925 (78.3%)	4,642 (69.1%)	2,029 (55.2%)	1,399 (69.2%)	3,428 (60.2%)
◆食生活(間食) / 有効回答数		<b>4,253</b>	<b>2,455</b>	<b>6,708</b>	<b>3,678</b>	<b>2,023</b>	<b>5,701</b>
毎日食べる		339 (8.0%)	320 (13.0%)	659 (9.8%)	300 (8.2%)	248 (12.3%)	548 (9.6%)
週6~4日		550 (12.9%)	441 (18.0%)	991 (14.8%)	477 (13.0%)	416 (20.6%)	893 (15.7%)
週3~1日		1,748 (41.1%)	1,080 (44.0%)	2,828 (42.2%)	1,592 (43.3%)	941 (46.5%)	2,533 (44.4%)
ほとんど食べない		1,616 (38.0%)	614 (25.0%)	2,230 (33.2%)	1,309 (35.6%)	418 (20.7%)	1,727 (30.3%)
◆食生活(卵) / 有効回答数		<b>4,259</b>	<b>2,458</b>	<b>6,717</b>	<b>3,677</b>	<b>2,024</b>	<b>5,701</b>
毎日食べる		1,177 (27.6%)	754 (30.7%)	1,931 (28.7%)	893 (24.3%)	596 (29.4%)	1,489 (26.1%)
週6~4日		1,386 (32.5%)	858 (34.9%)	2,244 (33.4%)	1,163 (31.6%)	721 (35.6%)	1,884 (33.0%)
週3~1日		1,515 (35.6%)	762 (31.0%)	2,277 (33.9%)	1,440 (39.2%)	643 (31.8%)	2,083 (36.5%)
ほとんど食べない		181 (4.2%)	84 (3.4%)	265 (3.9%)	181 (4.9%)	64 (3.2%)	245 (4.3%)
◆食生活(野菜) / 有効回答数		<b>4,259</b>	<b>2,455</b>	<b>6,714</b>	<b>3,676</b>	<b>2,024</b>	<b>5,700</b>
毎日食べる		2,443 (57.4%)	1,645 (67.0%)	4,088 (60.9%)	1,706 (46.4%)	1,186 (58.6%)	2,892 (50.7%)
週6~4日		1,273 (29.9%)	594 (24.2%)	1,867 (27.8%)	1,201 (32.7%)	610 (30.1%)	1,811 (31.8%)
週3~1日		483 (11.3%)	195 (7.9%)	678 (10.1%)	695 (18.9%)	214 (10.6%)	909 (15.9%)
ほとんど食べない		60 (1.4%)	21 (0.9%)	81 (1.2%)	74 (2.0%)	14 (0.7%)	88 (1.5%)

※有効回答数 ( )内は回答率%

### 3. 教職員定期生活習慣病健康診断 (労働安全衛生規則第44条)

目的：従事者の疾病の早期発見，健康の維持増進。  
また，必要があると認めるときは就労上の配慮を行う。

#### (1) 教職員定期生活習慣病健康診断実施項目一覧

項目	年 齢					
	25歳未満	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～49歳	50歳以上
身長	○	○	○	○	○	○
体重	○	○	○	○	○	○
腹囲	○	○	○	○	○	○
胸部X線検査	○	○	○	○	○	○
血圧・脈拍	○	○	○	○	○	○
検尿	○	○	○	○	○	○
視力	○	○	○	○	○	○
聴力	○	○	○	○	○	○
心電図	○ (指示者のみ)	○ (指示者のみ)	○	○	○	○
内科					○	○
ヘルスチェック	○	○	○	○	○	○
歯科 ※1	○	○	○	○	○	○
血液検査 ※1	△	○	○	○	○	○
前立腺特異抗原						○ (男性のみ)
脳性ナトリウム利尿ペプチド ヘモグロビンA <sub>c</sub>					○	○
下部消化管検査 ※1 (便潜血検査)				○	○	○
上部消化管検査 ※1 (造影検査または内視鏡検査)					○	○
腹部超音波検査 ※1					○	○
骨密度検査 ※1※2 (DEXA二重エネルギーX線吸収法)					40, 45, 50, 55, 60, 65歳 (女性のみ)	
女性教職員検診 ※1 (乳がん・子宮頸がん検査)			○ (女性のみ)	○ (女性のみ)	○ (女性のみ)	○ (女性のみ)

○ 該当項目

△ 信濃町地区所属者のみ，医学部福利費にて実施

※1 労働安全衛生法による検査項目以外は慶應義塾健康保険組合疾病予防費または医学部福利費（信濃町地区）により負担

※2 2014年度よりDEXA法へ変更

(2) 教職員定期生活習慣病健康診断受診状況  
ア 教職員定期生活習慣病健康診断

地区別	専任教職員 (健保加入者)										健保未加入者		
	教員					職員					合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
本部※1	対象者数	661	151	812	111	208	319	772	359	1,131	—	—	—
	受診者数 ※4	629	134	763	110	208	318	739	342	1,081	22	11	33
	受診率 (%)	95.2	88.7	94.0	99.1	100.0	99.7	95.7	95.3	95.6	—	—	—
三田分室※2	対象者数	505	142	647	192	363	555	697	505	1,202	—	—	—
	受診者数 ※4	481	138	619	191	363	554	672	501	1,173	17	16	33
	受診率 (%)	95.2	97.2	95.7	99.5	100.0	99.8	96.4	99.2	97.6	—	—	—
信濃町分室	対象者数	795	426	1,221	407	1,680	2,087	1,202	2,106	3,308	—	—	—
	受診者数 ※4	795	426	1,221	407	1,680	2,087	1,202	2,106	3,308	231	127	358
	受診率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	—	—
湘南藤沢分室※3	対象者数	188	76	264	34	102	136	222	178	400	—	—	—
	受診者数 ※4	172	71	243	34	102	136	206	173	379	4	7	11
	受診率 (%)	91.5	93.4	92.0	100.0	100.0	100.0	92.8	97.2	94.8	—	—	—
志木高等学校分室	対象者数	35	4	39	5	8	13	40	12	52	—	—	—
	受診者数 ※4	35	4	39	5	8	13	40	12	52	1	0	1
	受診率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	—	—
合計	対象者数	2,184	799	2,983	749	2,361	3,110	2,933	3,160	6,093	—	—	—
	受診者数 ※4	2,112	773	2,885	747	2,361	3,108	2,859	3,134	5,993	275	161	436
	受診率 (%)	96.7	96.7	96.7	99.7	100.0	99.9	97.5	99.2	98.4	—	—	—

※1 日吉キャンパス, 矢上キャンパス, 普通部, 高等学校

※2 三田キャンパス, 芝共立キャンパス, 幼稚舎, 横浜初等部, 中等部, 女子高等学校, 鶴岡先端研究教育連携スクエア, 新川崎先端研究教育連携スクエア

※3 湘南藤沢キャンパス, 湘南藤沢中等部・高等部

※4 外部医療機関受診者および教職員定期生活習慣病健康診断期間外の受診者を含む

イ 教職員定期生活習慣病健康診断（健保加入教員：学部，研究科内訳）

学部，研究科	対象者数	受診者数	受診率（％）
文学部	146	143	97.9
経済学部	136	119	87.5
法学部	110	99	90.0
商学部	108	94	87.0
医学部	1,085	1,085	100.0
理工学部	291	284	97.6
総合政策学部	51	47	92.2
環境情報学部	54	48	88.9
看護医療学部	48	47	97.9
薬学部	69	69	100.0
文学研究科	2	2	100.0
経済学研究科	0	0	0.0
法学研究科	1	1	100.0
社会学研究科	0	0	0.0
商学研究科	4	4	100.0
医学研究科	0	0	0.0
理工学研究科	44	41	93.2
政策・メディア研究科	64	56	87.5
健康マネジメント研究科	4	2	50.0
薬学研究科	0	0	0.0
法科大学院（法務研究科）	43	38	88.4
経営管理研究科	28	22	78.6
システムデザイン・マネジメント研究科	26	24	92.3
メディアデザイン研究科	23	14	60.9
合計	2,337	2,239	95.8

※その他付属研究所等は除く

ウ 教職員定期生活習慣病健康診断（一貫教育校内訳）

		教員	職員	合計
幼稚舎	対象者数	47	14	61
	受診者数	47	14	61
	受診率（％）	100.0	100.0	100.0
横浜初等部	対象者数	29	13	42
	受診者数	29	13	42
	受診率（％）	100.0	100.0	100.0
普通部	対象者数	42	9	51
	受診者数	42	9	51
	受診率（％）	100.0	100.0	100.0
中等部	対象者数	40	10	50
	受診者数	40	10	50
	受診率（％）	100.0	100.0	100.0
湘南藤沢中等部高等部	対象者数	64	14	78
	受診者数	64	14	78
	受診率（％）	100.0	100.0	100.0
高等学校	対象者数	100	16	116
	受診者数	100	16	116
	受診率（％）	100.0	100.0	100.0
志木高等学校	対象者数	39	13	52
	受診者数	39	13	52
	受診率（％）	100.0	100.0	100.0
女子高等学校	対象者数	30	11	41
	受診者数	30	11	41
	受診率（％）	100.0	100.0	100.0
合計	対象者数	391	100	491
	受診者数	391	100	491
	受診率（％）	100.0	100.0	100.0

エ 非常勤講師 定期健康診断受診状況（一貫教育校内訳）

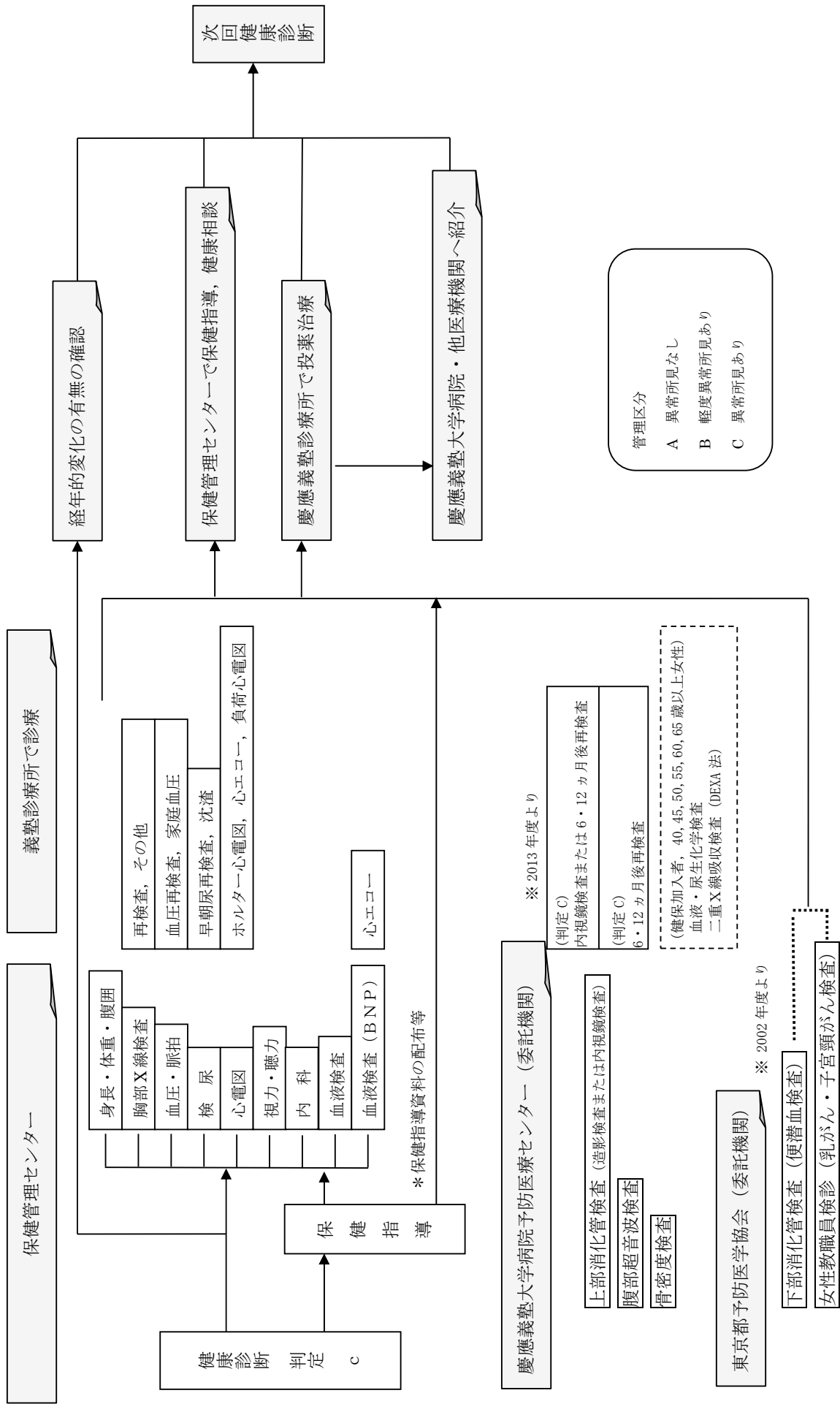
	受診者数
幼稚舎	8
横浜初等部	1
普通部	7
中等部	12
湘南藤沢中等部高等部	4
高等学校	18
志木高等学校	1
女子高等学校	3
合計	54

※ 2004年度以降，非常勤講師契約時における「結核の有無」の確認について，本務地でない者についても，健康診断を受診できる措置がとられたため，その数を含む

※ 25歳未満の該当項目を実施



(3) 教職員定期生活習慣病健康診断の流れ



## (4) 教職員定期生活習慣病健康診断集計 (40歳未満)

## ア 検査項目別受診状況 1 および有所見者数

項目	判定基準		検査人数			有所見者					
			男	女	合計	男		女		合計	
						人	%	人	%	人	%
身長・体重	やせ C判定 BMI <sup>※1</sup> 15.4未満		1,193	1,832	3,025	1	0.1未満	7	0.4	8	0.3
	やせ B判定 BMI 15.4以上18.5未満					82	6.9	431	23.5	513	17.0
	肥満 C判定 BMI 30.0以上					28	2.3	17	0.9	45	1.5
	肥満 B判定 BMI 25.0以上30.0未満					173	14.5	68	3.7	241	8.0
腹囲	C判定 100cm以上		1,193	1,781	2,974	31	2.6	10	0.6	41	1.4
	B判定 男性85cm以上100cm未満 女性90cm以上100cm未満					304	25.5	33	1.9	337	11.3
視力	右または左視力 0.7未満		1,193	1,832	3,025	115	9.6	251	13.7	366	12.1
聴力	1000Hz 右または左所見あり		1,193	1,832	3,025	8	0.7	15	0.8	23	0.8
	4000Hz 右または左所見あり					8	0.7	10	0.5	18	0.6
胸部X線検査	所見があり, 再検査・精密検査・経過観察を必要とする		1,187	1,723	2,910	18	1.5	20	1.2	38	1.3
血圧	C判定 最大血圧140mmHg以上 または最小血圧90mmHg以上 (2回測定の場合は平均値)		1,193	1,832	3,025	89	7.5	15	0.8	104	3.4
	B判定 最大血圧130~139mmHg以下 または最小血圧85~89mmHg以下 (2回測定の場合は平均値)					105	8.8	33	1.8	138	4.6
検尿 <sup>※2</sup>	蛋白	(1+) 以上	1,191	1,760	2,951	18	1.5	26	1.5	44	1.5
	潜血	(1+) 以上				15	1.3	119	6.8	134	4.5
	糖	(1+) 以上				3	0.3	3	0.2	6	0.2
心電図	所見があり, 再検査・精密検査・経過観察を必要とする		868	917	1,785	22	2.5	34	3.7	56	3.1

※1 BMI:Body Mass Index

※2 再検査除く

イ 検査別受診状況2(血液検査)および有所見者数(40歳未満)

※全地区25歳以上対象。信濃町地区においては25歳未満も対象。

性別	男		女		計	
	人	%	人	%	人	%
受診者数	1,157	—	1,798	—	2,955	—
有所見者数	227	19.6	153	8.5	380	12.9

ウ 血液検査項目別有所見者数

検査項目	性別	C判定基準		センター 基準範囲	単位	男		女		合計		
		低値	高値			人	%	人	%	人	%	
白血球	WBC	男	3.0 13.0	3.5~9.8	×10 <sup>3</sup> /μl	3	0.3	—	—	3	0.3	
		女	2.8 12.0			3.5~9.1	—	—	2	0.1	2	0.1
貧血関係	RBC	男	4.0 6.3	4.3~5.7	×10 <sup>6</sup> /μl	2	0.2	—	—	2	0.2	
		女	3.0 5.5			3.7~5.0	—	—	0	0.0	0	0.0
	HGB	男	12.0 19.0	13.5~17.6	g/dl	2	0.2	—	—	2	0.2	
		女	10.0 17.0			11.3~15.2	—	—	18	1.0	18	1.0
	HCT	男	36.0 55.0	39.8~51.8	%	0	0.0	—	—	0	0.0	
		女	32.0 50.0			33.4~45.0	—	—	10	0.6	10	0.6
	MCV	男	72.0 110.0	82.7~101.6	fl	3	0.3	—	—	3	0.3	
		女	72.0 110.0			79.0~100.0	—	—	14	0.8	14	0.8
	MCH	男	24.0 38.0	28.0~34.6	pg	3	0.3	—	—	3	0.3	
		女	24.0 38.0			26.3~34.3	—	—	44	2.4	44	2.4
	MCHC	男	27.0 40.0	31.6~36.6	g/dl	0	0.0	—	—	0	0.0	
		女	27.0 40.0			30.7~36.6	—	—	0	0.0	0	0.0
	血小板	PLT	男	100.0 500.0	131~362	×10 <sup>3</sup> /μl	2	0.2	—	—	2	0.2
			女	100.0 500.0			130~369	—	—	0	0.0	0
総蛋白	TP	男	6.3 9.0	6.7~8.3	g/dl	0	0.0	—	—	0	0.0	
		女	6.3 9.0			6.7~8.3	—	—	23	1.3	23	1.3
アルブミン	Alb	男	2.9 6.5	3.9~5.2	g/dl	0	0.0	—	—	0	0.0	
		女	2.9 6.5			3.9~5.2	—	—	0	0.0	0	0.0
肝臓関係	AST	男	高値	60.0	10~40	IU/l, 37℃	8	0.7	—	—	8	0.7
		女	高値	60.0	10~40	—	—	3	0.2	3	0.2	
	ALT	男	高値	60.0	5~40	IU/l, 37℃	50	4.3	—	—	50	4.3
		女	高値	60.0	5~40	—	—	6	0.3	6	0.3	
	ALP	男	高値	400.0	100~359	IU/l, 37℃	3	0.3	—	—	3	0.3
女		高値	400.0	100~359	—	—	5	0.3	5	0.3		
γ-GTP	男	高値	120.0	0~90	IU/l, 37℃	33	2.9	—	—	33	2.9	
腎臓関係	CRTNN	男	高値	1.3	0.6~1.1	mg/dl	3	0.3	—	—	3	0.3
		女	高値	1.1	0.4~0.8	—	—	0	0.0	0	0.0	
	UA	男	高値	8.0	3.0~7.0	mg/dl	62	5.4	—	—	62	5.4
女		高値	8.0	2.5~7.0	—	—	1	0.1未満	1	0.1未満		
糖尿病関係	GLU	男	50.0 126.0	70~110	mg/dl	0	0.0	—	—	0	0.0	
		女	50.0 126.0			70~110	—	—	21	1.8	21	1.8
脂質関係	TG	男	高値	240.0	30~150	mg/dl	48	4.1	—	—	48	4.1
		女	高値	240.0	30~150	—	—	10	0.6	10	0.6	
	HDL C	男	34.0 120.0	40~100	g/dl	13	1.1	—	—	13	1.1	
		女	34.0 120.0			40~100	—	—	2	0.1	2	0.1
	LDL C	男	高値	160.0	60~139	mg/dl	63	5.4	—	—	63	5.4
		女	高値	160.0	60~139	—	—	31	1.7	31	1.7	

## (5) 教職員定期生活習慣病健康診断集計 (40歳以上)

## ア 検査項目別受診状況 1 および有所見者数

項目	判定基準		検査人数			有所見者					
			男	女	合計	男		女		合計	
						人	%	人	%	人	%
身長・体重	やせ C判定 BMI <sup>※1</sup> 15.4未満		1,820	1,337	3,157	0	0.0	6	0.4	6	0.2
	やせ B判定 BMI 15.4以上18.5未満					35	1.9	205	15.3	240	7.6
	肥満 C判定 BMI 30.0以上					80	4.4	38	2.8	118	3.7
	肥満 B判定 BMI 25.0以上30.0未満					515	28.3	166	12.4	681	21.6
腹囲	C判定 100cm以上		1,821	1,330	3,151	129	7.1	45	3.4	174	5.5
	B判定 男性85cm以上100cm未満 女性90cm以上100cm未満					835	45.9	138	10.4	973	30.9
視力	右または左視力 0.7未満		1,821	1,336	3,157	275	15.1	238	17.8	513	16.2
聴力	1000Hz 右または左所見あり		1,820	1,334	3,154	67	3.7	26	1.9	93	2.9
	4000Hz 右または左所見あり					97	5.3	32	2.4	129	4.1
内科	心音 C判定 病的心雑音		1,805	1,323	3,128	14	0.8	7	0.5	21	0.7
	心音 B判定 無害性心雑音					2	0.1	3	0.2	5	0.2
	その他の所見 異常所見あり <sup>※2</sup>					1,805	100.0	1,323	100.0	3,128	100.0
胸部X線検査	所見があり, 再検査・精密検査・経過観察を必要とする		1,805	1,300	3,105	38	2.1	19	1.5	57	1.8
血圧	C判定 最大血圧140mmHg以上 または最小血圧90mmHg以上 (2回測定の場合は平均値)		1,821	1,336	3,157	437	24.0	141	10.6	578	18.3
	B判定 最大血圧130~139mmHg以下 または最小血圧85~89mmHg以下 (2回測定の場合は平均値)					272	14.9	106	7.9	378	12.0
検尿 <sup>※3</sup>	蛋白	(1+) 以上	1,818	1,313	3,131	20	1.1	5	0.4	25	0.8
	潜血	(1+) 以上				39	2.1	77	5.9	116	3.7
	糖	(1+) 以上				38	2.1	6	0.5	44	1.4
心電図	所見があり, 再検査・精密検査・経過観察を必要とする		1,806	1,322	3,128	80	4.4	86	6.5	166	5.3

※1 BMI;Body Mass Index

※2 内科医師の判断による

※3 再検査除く

イ 検査別受診状況2(血液検査)および有所見者数(40歳以上)

性別	男		女		計	
	人	%	人	%	人	%
受診者数	1,804	—	1,322	—	3,126	—
有所見者数	752	41.7	366	27.7	1,118	35.8

ウ 血液検査項目別有所見者数

検査項目	性別	C判定基準		センター 基準範囲	単位	男		女		合計			
		低値	高値			人	%	人	%	人	%		
白血球	WBC	男	低値	3.0	3.5~9.8	×10 <sup>3</sup> /μl	9	0.5	—	—	9	0.5	
			高値	13.0			3	0.2	—	—	3	0.2	
		女	低値	2.8	3.5~9.1	×10 <sup>3</sup> /μl	—	—	10	0.8	10	0.8	
			高値	12.0			—	—	1	0.1未満	1	0.1未満	
貧血関係	RBC	男	低値	4.0	4.3~5.7	×10 <sup>6</sup> /μl	17	0.9	—	—	17	0.9	
			高値	6.3			2	0.1	—	—	2	0.1	
			女	低値	3.0	3.7~5.0	×10 <sup>6</sup> /μl	—	—	2	0.2	2	0.2
				高値	5.5			—	—	8	0.6	8	0.6
		HGB	男	低値	12.0	13.5~17.6	g/dl	8	0.4	—	—	8	0.4
					高値			19.0	2	0.1	—	—	2
			女	低値	10.0	11.3~15.2	g/dl	—	—	22	1.7	22	1.7
				高値	17.0			—	—	0	0.0	0	0.0
		HCT	男	低値	36.0	39.8~51.8	%	2	0.1	—	—	2	0.1
					高値			55.0	2	0.1	—	—	2
			女	低値	32.0	33.4~45.0	%	—	—	14	1.1	14	1.1
				高値	50.0			—	—	3	0.2	3	0.2
		MCV	男	低値	72.0	82.7~101.6	fl	5	0.3	—	—	5	0.3
					高値			110.0	1	0.1未満	—	—	1
			女	低値	72.0	79.0~100.0	fl	—	—	19	1.4	19	1.4
				高値	110.0			—	—	1	0.1未満	1	0.1未満
	MCH	男	低値	24.0	28.0~34.6	pg	6	0.3	—	—	6	0.3	
				高値			38.0	0	0.0	—	—	0	0.0
		女	低値	24.0	26.3~34.3	pg	—	—	52	3.9	52	3.9	
			高値	38.0			—	—	1	0.1未満	1	0.1未満	
	MCHC	男	低値	27.0	31.6~36.6	g/dl	0	0.0	—	—	0	0.0	
				高値			40.0	0	0.0	—	—	0	0.0
		女	低値	27.0	30.7~36.6	g/dl	—	—	4	0.3	4	0.3	
			高値	40.0			—	—	0	0.0	0	0.0	
血小板	PLT	男	低値	100.0	131~362	×10 <sup>3</sup> /μl	5	0.3	—	—	5	0.3	
			高値	500.0			0	0.0	—	—	0	0.0	
		女	低値	100.0	130~369	×10 <sup>3</sup> /μl	—	—	2	0.2	2	0.2	
			高値	500.0			—	—	1	0.1未満	1	0.1未満	
総蛋白	TP	男	低値	6.3	6.7~8.3	g/dl	0	0.0	—	—	0	0.0	
			高値	9.0			2	0.1	—	—	2	0.1	
		女	低値	6.3	6.7~8.3	g/dl	—	—	7	0.5	7	0.5	
			高値	9.0			—	—	0	0.0	0	0.0	
アルブミン	Alb	男	低値	2.9	3.9~5.2	g/dl	1	0.1未満	—	—	1	0.1未満	
			高値	6.5			0	0.0	—	—	0	0.0	
		女	低値	2.9	3.9~5.2	g/dl	—	—	1	0.1未満	1	0.1未満	
			高値	6.5			—	—	0	0.0	0	0.0	
肝臓関係	AST	男	高値	60.0	10~40	IU/l, 37°C	21	1.2	—	—	21	1.2	
			高値	60.0			—	—	13	1.0	13	1.0	
		ALT	男	高値	60.0	5~40	IU/l, 37°C	104	5.8	—	—	104	5.8
					高値			60.0	—	—	31	2.3	31
		ALP	男	高値	400.0	100~359	IU/l, 37°C	14	0.8	—	—	14	0.8
					高値			400.0	—	—	7	0.5	7
	γ-GTP	男	高値	120.0	0~90	IU/l, 37°C	100	5.5	—	—	100	5.5	
				高値			80.0	—	—	39	3.0	39	3.0
	CRTN	男	高値	1.3	0.6~1.1	mg/dl	16	0.9	—	—	16	0.9	
				高値			1.1	—	—	1	0.1未満	1	0.1未満
腎臓関係	UA	男	高値	8.0	3.0~7.0	mg/dl	121	6.7	—	—	121	6.7	
							高値	8.0	—	—	5	0.4	5
糖尿病関係	GLU	男	低値	50.0	70~110	g/dl	0	0.0	—	—	0	0.0	
			高値	126.0			112	6.2	—	—	112	6.2	
		HbA1c (NGSP)	男	低値	50.0	70~110	g/dl	—	—	0	0.0	0	0.0
					高値			126.0	—	—	20	1.5	20
		女	高値	6.5	4.3~5.9	%	91	5.0	—	—	91	5.0	
			高値	6.5			—	—	21	1.6	21	1.6	
脂質関係	TG	男	高値	240.0	30~150	mg/dl	151	8.4	—	—	151	8.4	
							高値	240.0	—	—	18	1.4	18
		HDL C	男	低値	34.0	40~100	mg/dl	23	1.3	—	—	23	1.3
					高値			120.0	7	0.4	—	—	7
		女	低値	34.0	40~100	mg/dl	—	—	2	0.2	2	0.2	
			高値	120.0			—	—	10	0.8	10	0.8	
	LDL C	男	高値	160.0*	60~139	mg/dl	287	15.9	—	—	287	15.9	
				高値			160.0*	—	—	157	11.9	157	11.9
心臓関係	BNP	男	高値	40.0	0~19.9	pg/ml	61	3.4	—	—	61	3.4	
							高値	50.0	—	—	69	5.2	69
前立腺関係	PSA	男	高値	10.0	0.0~4.0	ng/ml	35	1.9	—	—	35	1.9	

※2009年度C判定基準180→2010年度C判定基準160へ変更

(6) 特定健康診査（高齢者の医療の確保に関する法律第18条、国民健康保険法第82条）

ア 受診状況（健保加入者<sup>※1</sup>、2017年3月31日年齢）

地区別	25歳以上40歳未満				40歳以上65歳未満				65歳以上75歳未満				合計	
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女
	健保加入者数	194	123	317	564	231	795	13	1	14	771	355	1,126	771
算定除外者数	—	15	15	—	2	2	—	0	0	—	17	17	—	17
	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1
対象者数 <sup>※7</sup>	194	108	302	564	228	792	13	1	14	771	337	1,108	771	337
受診者数 <sup>※8</sup>	175	92	267	517	200	717	13	1	14	705	293	998	705	293
受診率(%)	90.2	85.2	88.4	91.7	87.7	90.5	100.0	100.0	100.0	91.4	86.9	90.1	91.4	86.9
健保加入者数	147	207	354	523	282	805	20	6	26	690	495	1,185	690	495
算定除外者数	—	14	14	—	5	5	—	0	0	—	19	19	—	19
	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
対象者数 <sup>※7</sup>	147	193	340	522	277	799	20	6	26	689	476	1,165	689	476
受診者数 <sup>※8</sup>	138	186	324	487	262	749	19	6	25	644	454	1,098	644	454
受診率(%)	93.9	96.4	95.3	93.3	94.6	93.7	95.0	100.0	96.2	93.5	95.4	94.2	93.5	95.4
健保加入者数	577	1,079	1,656	592	724	1,316	10	4	14	1,179	1,807	2,986	1,179	1,807
算定除外者数	—	63	63	—	10	10	—	0	0	—	73	73	—	73
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
対象者数 <sup>※7</sup>	577	1,016	1,593	592	714	1,306	10	4	14	1,179	1,734	2,913	1,179	1,734
受診者数 <sup>※8</sup>	567	991	1,558	586	706	1,292	9	4	13	1,162	1,701	2,863	1,162	1,701
受診率(%)	98.3	97.5	97.8	99.0	98.9	98.9	90.0	100.0	92.9	98.6	98.1	98.3	98.6	98.1
健保加入者数	44	59	103	168	114	282	9	1	10	221	174	395	221	174
算定除外者数	—	5	5	—	2	2	—	0	0	—	7	7	—	7
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
対象者数 <sup>※7</sup>	44	54	98	168	112	280	9	1	10	221	167	388	221	167
受診者数 <sup>※8</sup>	40	47	87	156	103	259	7	1	8	203	151	354	203	151
受診率(%)	90.9	87.0	88.8	92.9	92.0	92.5	77.8	100.0	80.0	91.9	90.4	91.2	91.9	90.4
健保加入者数	7	4	11	32	8	40	1	0	1	40	12	52	40	12
算定除外者数	—	1	1	—	0	0	—	0	0	—	1	1	—	1
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
対象者数 <sup>※7</sup>	7	3	10	32	8	40	1	0	1	40	11	51	40	11
受診者数 <sup>※8</sup>	7	3	10	31	8	39	1	0	1	39	11	50	39	11
受診率(%)	100.0	100.0	100.0	96.9	100.0	97.5	100.0	0.0	100.0	97.5	100.0	98.0	97.5	100.0
健保加入者数	969	1,472	2,441	1,879	1,359	3,238	53	12	65	2,901	2,843	5,744	2,901	2,843
算定除外者数	—	98	98	—	19	19	—	0	0	—	117	117	—	117
	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	1	2	0	1
対象者数 <sup>※7</sup>	969	1,374	2,343	1,878	1,339	3,217	53	12	65	2,900	2,725	5,625	2,900	2,725
受診者数 <sup>※8</sup>	927	1,319	2,246	1,777	1,279	3,056	49	12	61	2,753	2,610	5,363	2,753	2,610
受診率(%)	95.7	96.0	95.9	94.6	95.5	95.0	92.5	100.0	93.8	94.9	95.8	95.3	94.9	95.8

※1 2016年4月1日～2017年3月31日通年の健保加入者

※2 日吉キャンパス、矢上キャンパス、普通部、高等学校

※3 三田キャンパス、芝共立キャンパス、幼稚園、横浜初等部、中等部、女子高等学校、鶴岡先端研究教育連携スクエエ

※4 湘南藤沢キャンパス、湘南藤沢中等部・高等部

※5 教職員健康診断質問票の自己申告による

※6 2016年4月1日の時点で2015年10月1日以前から入院中の者、または、2016年4月1日から2017年3月31日に6ヶ月以上継続して入院した者

※7 健保加入者数から算定除外者数を除いた数

※8 厚生労働省による受診済み条件に該当する者のみを算定

(7) 特定健康診査有所見者数

ア 25歳以上40歳未満（2017年3月31日年齢）、健保加入者、有所見者数

	男	女	合計
服薬治療中			
糖尿病	3	3	6
脂質異常症	6	4	10
高血圧	7	2	9
上記いずれかに該当	16	9	25

<算定除外者数>

妊娠中（疑い含む）※1	98
6ヶ月以上の継続した入院※2	0

※1 教職員健康診断質問票の自己申告による

※2 2016年4月1日の時点で2015年10月1日以前から入院中の者、または、2016年4月1日から2017年3月31日に6ヶ月以上継続して入院した者

	項目		検査人数			該当者数									
			男	女	合計	男		女		合計					
						人	%	人	%	人	%				
腹囲※	A	男性 $\geq 85\text{cm}$ 女性 $\geq 90\text{cm}$	919	1,365	2,284	262	28.5	35	2.6	297	13.0				
	B	男性 $< 85\text{cm}$ かつ $\text{BMI} \geq 25$ 女性 $< 90\text{cm}$ かつ $\text{BMI} \geq 25$				12	1.3	27	2.0	39	1.7				
追加リスク	血糖	① 空腹時血糖 $\geq 100\text{mg/dl}$	532	745	1,277	115	21.6	59	7.9	174	13.6				
		脂質				② 中性脂肪 $\geq 150\text{mg/dl}$	919	1,402	2,321	141	15.3	57	4.1	198	8.5
						HDL コレステロール $< 40\text{mg/dl}$				37	4.0	8	0.6	45	1.9
		上記いずれかに該当				161	17.5	62	4.4	223	9.6				
	血圧※2	③	最大血圧 $\geq 130\text{mmHg}$	919	1,402	2,321	143	15.6	35	2.5	178	7.7			
			最小血圧 $\geq 85\text{mmHg}$				59	6.4	18	1.3	77	3.3			
上記いずれかに該当			145				15.8	40	2.9	185	8.0				

※ BMI20未満で腹囲測定未了者は腹囲A, B基準外（測定済み）とみなす

<メタボリックシンドローム学会基準>

	項目	判定基準	検査人数			該当者数					
			男	女	合計	男		女		合計	
						人	%	人	%	人	%
因子1	腹囲	男性 $\geq 85\text{cm}$ 女性 $\geq 90\text{cm}$	919	1,365	2,284	262	28.5	35	2.6	297	13.0
因子2	血糖	空腹時血糖※1 $\geq 110\text{mg/dl}$	532	745	1,277	20	3.8	6	0.8	26	2.0
		糖尿病服薬治療中	914	1,399	2,313	3	0.3	3	0.2	6	0.3
因子3	脂質	中性脂肪 $\geq 150\text{mg/dl}$	919	1,402	2,321	141	15.3	57	4.1	198	8.5
		HDL コレステロール $< 40\text{mg/dl}$				37	4.0	8	0.6	45	1.9
		脂質異常症服薬治療中				914	1,399	2,313	6	0.7	4
因子4	血圧	最大血圧 $\geq 130\text{mmHg}$	919	1,402	2,321	143	15.6	35	2.5	178	7.7
		最小血圧 $\geq 85\text{mmHg}$				59	6.4	18	1.3	77	3.3
		高血圧服薬治療中				914	1,399	2,313	7	0.8	2
判定	メタボリックシンドローム予備群※2		919	1,364	2,283	106	11.5	8	0.6	114	5.0
	メタボリックシンドローム※3					43	4.7	5	0.4	48	2.1

※1 食後10時間以上を空腹時血糖検査済みとする。空腹時血糖を測定していない場合でHbA1c測定した者はHbA1c $\geq 5.5\%$ で代用

※2 因子1かつ因子2~4のうち1項目が該当する者

※3 因子1かつ因子2~4のうち2項目以上が該当する者

イ 40歳以上65歳未満（2017年3月31日年齢），健保加入者，有所見者数

		男	女	合計
服薬治療中	糖尿病	66	11	77
	脂質異常症	171	57	228
	高血圧	249	74	323
	上記いずれかに該当	370	121	491

<算定除外者数>

妊娠中（疑い含む） <sup>※1</sup>	19
6ヶ月以上の継続した入院 <sup>※2</sup>	4

※1 教職員健康診断質問票の自己申告による

※2 2016年4月1日の時点で2015年10月1日以前から入院中の者，または，2016年4月1日から2017年3月31日に6ヶ月以上継続して入院した者

	項目		検査人数			該当者数					
			男	女	合計	男		女		合計	
						人	%	人	%	人	%
腹囲 <sup>※1</sup>	A	男性 $\geq 85\text{cm}$ 女性 $\geq 90\text{cm}$	1,756	1,277	3,033	926	52.7	172	13.5	1,098	36.2
	B	男性 $< 85\text{cm}$ かつBMI $\geq 25$ 女性 $< 90\text{cm}$ かつBMI $\geq 25$				38	2.2	59	4.6	97	3.2
追加リスク	血糖	① 空腹時血糖 $\geq 100\text{mg/dl}$ HbA1c (NGSP) $\geq 5.6\%$ 上記いずれかに該当 <sup>※3</sup>	1,756	1,282	3,038	445	25.3	195	15.2	640	21.1
						751	42.8	446	34.8	1,197	39.4
						871	49.6	505	39.4	1,376	45.3
	脂質	② 中性脂肪 $\geq 150\text{mg/dl}$ HDLコレステロール $< 40\text{mg/dl}$ 上記いずれかに該当	1,756	1,282	3,038	453	25.8	93	7.3	546	18.0
						72	4.1	10	0.8	82	2.7
						477	27.2	98	7.6	575	18.9
	血圧 <sup>※4</sup>	③ 最大血圧 $\geq 130\text{mmHg}$ 最小血圧 $\geq 85\text{mmHg}$ 上記いずれかに該当	1,756	1,283	3,039	598	34.1	215	16.8	813	26.8
						497	28.3	143	11.1	640	21.1
						676	38.5	238	18.6	914	30.1

40～64歳基準での判定 <sup>※2</sup>	判定結果		受診者数			該当者数					
			男	女	合計	男		女		合計	
						人	%	人	%	人	%
特定保健指導	積極的支援レベル		1,715	1,227	2,942	301	17.6	55	4.5	356	12.1
	動機づけ支援レベル					214	12.5	78	6.4	292	9.9
	情報提供レベル					1,200	70.0	1,094	89.2	2,294	78.0
	要詳細健診 <sup>※5</sup>					137	8.0	22	1.8	159	5.4

※1 BMI20未満で腹囲測定未了者は腹囲A,B基準外（測定済み）とみなす

※2 服薬治療中の者は情報提供レベルに含む

腹囲Aかつ追加リスク1つ該当，腹囲Bかつ追加リスク2つ該当の「喫煙歴あり」の者は積極的支援と判定する

※3 食後10時間未満または食後時間不明者はHbA1cで判定

※4 1回目，2回目測定の平均値（1回測定の者は1回目の値）

※5 腹囲Aかつ追加リスク①～③すべてに該当する者

<メタボリックシンドローム学会基準>

	項目	判定基準	検査人数			該当者数					
			男	女	合計	男		女		合計	
						人	%	人	%	人	%
因子1	腹囲	男性 $\geq 85\text{cm}$ 女性 $\geq 90\text{cm}$	1,756	1,277	3,033	926	52.7	172	13.5	1,098	36.2
因子2	血糖	空腹時血糖 <sup>※1</sup> $\geq 110\text{mg/dl}$	1,756	1,282	3,038	291	16.6	121	9.4	412	13.6
		糖尿病服薬治療中	1,741	1,276	3,017	66	3.8	11	0.9	77	2.6
因子3	脂質	中性脂肪 $\geq 150\text{mg/dl}$	1,756	1,282	3,038	453	25.8	93	7.3	546	18.0
		HDLコレステロール $< 40\text{mg/dl}$				72	4.1	10	0.8	82	2.7
		脂質異常症服薬治療中				1,740	1,276	3,016	171	9.8	57
因子4	血圧	最大血圧 $\geq 130\text{mmHg}$	1,756	1,283	3,039	598	34.1	215	16.8	813	26.8
		最小血圧 $\geq 85\text{mmHg}$				497	28.3	143	11.1	640	21.1
		高血圧服薬治療中				1,740	1,276	3,016	249	14.3	74
判定	メタボリックシンドローム予備群 <sup>※2</sup>		1,755	1,274	3,029	348	19.8	75	5.9	423	14.0
	メタボリックシンドローム <sup>※3</sup>					331	18.9	46	3.6	377	12.4

※1 食後10時間以上を空腹時血糖検査済みとする。空腹時血糖を測定していない場合でHbA1c測定した者はHbA1c $\geq 5.5\%$ で代用

※2 因子1かつ因子2～4のうち1項目が該当する者

※3 因子1かつ因子2～4のうち2項目以上が該当する者



ウ 65歳以上75歳未満（2017年3月31日年齢），健保加入者，有所見者数

		男	女	合計
服薬治療中	糖尿病	7	1	8
	脂質異常症	11	6	17
	高血圧	17	3	20
	上記いずれかに該当	22	7	29

<算定除外者数>

妊娠中（疑い含む）※1	0
6ヶ月以上の継続した入院※2	0

※1 教職員健康診断質問票の自己申告による

※2 2016年4月1日の時点で2015年10月1日以前から入院中の者，または，2016年4月1日から2017年3月31日に6ヶ月以上継続して入院した者

	項目		検査人数			該当者数					
			男	女	合計	男		女		合計	
						人	%	人	%	人	%
腹囲※1	A	男性≥85cm 女性≥90cm	45	12	57	26	57.8	4	33.3	30	52.6
	B	男性<85cm かつBMI≥25 女性<90cm かつBMI≥25				0	0.0	1	8.3	1	1.8
追加リスク	血糖	① 空腹時血糖 ≥100mg/dl HbA1c (NGSP) ≥5.6% 上記いずれかに該当※3	45	12	57	21	46.7	5	41.7	26	45.6
						32	71.1	10	83.3	42	73.7
						35	77.8	11	91.7	46	80.7
	脂質	② 中性脂肪 ≥150mg/dl HDL コレステロール <40mg/dl 上記いずれかに該当	45	12	57	10	22.2	3	25.0	13	22.8
						4	8.9	0	0.0	4	7.0
						11	24.4	3	25.0	14	24.6
	血圧※4	③ 最大血圧 ≥130mmHg 最小血圧 ≥85mmHg 上記いずれかに該当	45	12	57	22	48.9	6	50.0	28	49.1
						17	37.8	3	25.0	20	35.1
						23	51.1	6	50.0	29	50.9

65～74歳基準での判定※2	判定結果		受診者数			該当者数					
			男	女	合計	男		女		合計	
						人	%	人	%	人	%
特定保健指導	積極的支援レベル	動機づけ支援レベル	44	12	56	—	—	—	—	—	—
						8	18.2	1	8.3	9	16.1
	情報提供レベル					36	81.8	11	91.7	47	83.9
	要詳細健診※5					5	11.4	2	16.7	7	12.5

※1 BMI20未満で腹囲測定未了者は腹囲A,B基準外（測定済み）とみなす

※2 服薬治療中の者は情報提供レベルに含む

積極的支援レベルは，65～74歳基準では動機づけ支援レベルに含む

※3 食後10時間未満または食後時間不明者はHbA1cで判定

※4 1回目，2回目測定の平均値（1回測定の場合は1回目の値）

※5 腹囲Aかつ追加リスク①～③すべてに該当する者

<メタボリックシンドローム学会基準>

	項目	判定基準	検査人数			該当者数					
			男	女	合計	男		女		合計	
						人	%	人	%	人	%
因子1	腹囲	男性≥85cm 女性≥90cm	45	12	57	26	57.8	4	33.3	30	52.6
因子2	血糖	空腹時血糖※1 ≥110mg/dl	45	12	57	18	40.0	5	41.7	23	40.4
		糖尿病服薬治療中	45	12	57	7	15.6	1	8.3	8	14.0
因子3	脂質	中性脂肪 ≥150mg/dl	45	12	57	10	22.2	3	25.0	13	22.8
		HDL コレステロール <40mg/dl				4	8.9	0	0.0	4	7.0
		脂質異常症服薬治療中				45	12	57	11	24.4	6
因子4	血圧	最大血圧 ≥130mmHg	45	12	57	22	48.9	6	50.0	28	49.1
		最小血圧 ≥85mmHg				17	37.8	3	25.0	20	35.1
		高血圧服薬治療中				45	12	57	17	37.8	3
判定	メタボリックシンドローム予備群※2		45	12	57	7	15.6	1	8.3	8	14.0
	メタボリックシンドローム※3					15	33.3	3	25.0	18	31.6

※1 食後10時間以上を空腹時血糖検査済みとする。空腹時血糖を測定していない場合でHbA1c測定した者はHbA1c≥5.5%で代用

※2 因子1かつ因子2～4のうち1項目が該当する者

※3 因子1かつ因子2～4のうち2項目以上が該当する者

(8) 教職員定期生活習慣病健康診断 管理の状況

ア 面接件数 (実人数) ※1

項目		地区						合計
		本部	三田分室	信濃町分室	湘南藤沢分室	芝共立	志木高等学校分室	
面接指示者 ※2		198	279	599	139	29	25	1,269
呼出応答あり	面接 ※3	132	118	152	80	16	22	520
	他医療機関 ※4	12	16	104	0	1	0	133
	自己管理 ※5	0	0	139	1	0	0	140

(人)

イ 面接結果 (実人数) ※6

項目		地区						合計
		本部	三田分室	信濃町分室	湘南藤沢分室	芝共立	志木高等学校分室	
次回健診		41	29	-	26	9	6	111
経過観察		54	61	-	35	4	6	160
他医療機関紹介または受診指示		28	16	-	13	2	9	68
上記の内新規の結核患者		0	0	-	0	0	0	0
薬物治療	開始	3	6	-	1	1	0	11
	継続	3	1	-	3	0	0	7
	中断後再開	3	5	-	2	0	1	11

(人)

- ※1 特定健康診査の階層化による医師による特定保健指導初回面接を含む
- ※2 消化管検診, 骨密度検査による面接指示を除く  
外部医療機関の健康診断結果による面接指示を含む
- ※3 保健管理センターで面接を実施した人数。信濃町分室のみ面接希望者数
- ※4 他の医療機関でフォローアップする旨, 本人より連絡があった人数
- ※5 自己管理する旨, 本人より連絡があった人数
- ※6 信濃町地区では電子カルテ導入のため, 面接結果の実人数をカウントできない

(9) 教職員生活習慣病健康診断 骨密度検査 ※集計

(対象40歳, 45歳, 50歳, 55歳, 60歳, 65歳の女性)

	本部	三田分室	信濃町分室	湘南藤沢分室	芝共立	志木高等学校分室	合計
該当者数 (人)	47	55	153	29	8	2	294
受検者数 (人)	25	31	64	14	4	1	139
受検率 (%)	53	56	42	48	50	50	47

※ 骨密度測定(DEXA法 腰椎・大腿)。2014年度より予防医療センターにて実施。

(10) メンタルヘルス

項目		地区						合計
		本部	三田分室	信濃町分室	湘南藤沢分室	芝共立	志木高等学校分室	
回答者数 ※1		500	677	3,033	264	93	43	4,610
面接指示者 ※2		31	23	-	5	3	2	64
面接実施後対応 ※3	様子観察	1	3	-	1	0	2	7
	精神科紹介	0	1	-	0	0	0	1
	精神科治療継続	0	0	-	0	0	0	0

(人)

- ※1 メンタルヘルス調査票に教職員番号を記入し, 質問に回答した者
- ※2 メンタルヘルス調査票に教職員番号を記入した者のうち, D: うつ傾向: 3点以上の者
- ※3 カウンセラー対応は除く。信濃町分室は面接指示を行わなかった

(11) 教職員定期生活習慣病健康診断 消化器系検査集計

ア 上部消化管検査

(ア) 受検状況

教職別		教員		職員		教職員		合計
性別		男	女	男	女	男	女	
該当者数 <sup>※1</sup>		1,494	463	438	907	1,932	1,370	3,302
受検者数		656	151	252	338	908	489	1,397
検査内訳	造影検査数	506	129	191	289	697	418	1,115
	内視鏡検査数	150	22	61	49	211	71	282
受検率 <sup>※2</sup> (%)		43.9	32.6	57.5	37.3	47.0	35.7	42.3
前年度受検率(%)		48.7	36.8	59.2	38.7	51.1	38.1	45.8

※1 年度末年齢40歳以上の健保加入者数

※2 受検者数 / 該当者数 × 100

(イ) 疾病別有所見者数(のべ人数)と有所見率<sup>※1</sup>

性別	男		女		合計	
	人	%	人	%	人	%
異常所見なし	243	26.8	142	29.0	385	27.6
有所見者数 <sup>※2</sup>	665	73.2	347	71.0	1,012	72.4
逆流性食道炎・その他の食道炎	132	14.5	12	2.5	144	10.3
食道裂孔ヘルニア	138	15.2	22	4.5	160	11.5
食道の粘膜下腫瘍	6	0.7	2	0.4	8	0.6
食道の悪性新生物	0	0.0	0	0.0	0	0.0
胃食道逆流	41	4.5	10	2.0	51	3.7
ヘリコバクターピロリ感染胃炎	1	0.1	2	0.4	3	0.2
胃炎・胃びらん	308	33.9	134	27.4	442	31.6
胃ポリープ	235	25.9	202	41.3	437	31.3
胃潰瘍	0	0.0	1	0.2	1	0.1
胃潰瘍癒痕	22	2.4	11	2.2	33	2.4
胃の粘膜下腫瘍	36	4.0	16	3.3	52	3.7
胃の悪性新生物	0	0.0	0	0.0	0	0.0
十二指腸炎	7	0.8	2	0.4	9	0.6
十二指腸ポリープ	2	0.2	1	0.2	3	0.2
十二指腸憩室	33	3.6	18	3.7	51	3.7
十二指腸潰瘍	12	1.3	3	0.6	15	1.1
十二指腸潰瘍癒痕	25	2.8	1	0.2	26	1.9
十二指腸の粘膜下腫瘍	1	0.1	0	0.0	1	0.1
十二指腸の悪性新生物	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他の消化管疾患	49	5.4	23	4.7	72	5.2
その他の消化管の悪性新生物	0	0.0	1	0.2	1	0.1
その他 <sup>※3</sup>	2	0.2	0	0.0	2	0.1

※1 所見数/受検者数×100

※2 受検者数-異常所見なしの人数

※3 その他の有所見の合計数

イ 腹部超音波検査

(ア) 受検状況

教職別	教員		職員		教職員		合計
	男	女	男	女	男	女	
性別							
該当者数 <sup>※1</sup>	1,494	463	438	907	1,932	1,370	3,302
受検者数	721	196	266	413	987	609	1,596
受検率 <sup>※2</sup> (%)	48.3	42.3	60.7	45.5	51.1	44.5	48.3
前年度受検率 (%)	52.3	44.2	62.6	46.4	54.7	45.7	51.0

※1 年度末年齢40歳以上の健保加入者数

※2 受検者数 / 該当者数 × 100

(イ) 疾病別有所見者数(のべ人数)と有所見者率<sup>※1</sup>

性別	男		女		合計	
	人	%	人	%	人	%
異常所見なし	77	7.8	135	22.2	212	13.3
有所見者数 <sup>※2</sup>	910	92.2	474	77.8	1,384	86.7
脂肪肝	511	51.8	113	18.6	624	39.1
肝のう胞	316	32.0	167	27.4	483	30.3
肝血管腫	100	10.1	86	14.1	186	11.7
肝硬変	2	0.2	0	0.0	2	0.1
肝臓の悪性新生物	0	0.0	0	0.0	0	0.0
胆石	52	5.3	25	4.1	77	4.8
胆のうポリープ	301	30.5	101	16.6	402	25.2
胆のう腺筋腫症	49	5.0	30	4.9	79	4.9
胆のうの悪性新生物	0	0.0	0	0.0	0	0.0
膵のう胞	12	1.2	6	1.0	18	1.1
膵臓の悪性新生物	0	0.0	0	0.0	0	0.0
副脾	67	6.8	61	10.0	128	8.0
遊走腎(腎下垂症)	1	0.1	14	2.3	15	0.9
腎のう胞	349	35.4	130	21.3	479	30.0
腎結石	145	14.7	40	6.6	185	11.6
腎石灰化	115	11.7	50	8.2	165	10.3
腎臓の悪性新生物	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他の肝・胆・膵疾患	105	10.6	63	10.3	168	10.5
その他 <sup>※3</sup>	185	18.7	95	15.6	280	17.5

※1 所見数/受検者数×100

※2 受検者数-異常所見なしの人数

※3 その他の有所見の合計数

ウ 下部消化管検査（便潜血検査）

（ア）受検状況

教職別	教員		職員		教職員		合計	
	性別	男	女	男	女	男		女
該当者数（人）※ <sup>1</sup>		1,755	576	509	1,187	2,264	1,763	4,027
受検者数（人）		677	228	197	528	874	756	1,630
受検率（%）※ <sup>2</sup>		38.6	39.6	38.7	44.5	38.6	42.9	40.5
前年度受検率（%）		39.2	39.0	36.9	44.3	38.7	42.6	40.4

※<sup>1</sup> 年度末年齢35歳以上の健保加入者数

※<sup>2</sup> 受検者数/該当者数×100

（イ）検査結果

	人	%
異常なし（陰性）	1,559	95.6
要受診（陽性）	71	4.4
要再検（検査不能）	0	0.0

(12) 教職員定期生活習慣病健康診断 女性教職員検診集計

ア 子宮頸がん検査 ※頸部細胞診・コルポ診（対象30歳以上女性）

（ア）受診状況

該当者数（人）	2,212
受診者数（人）	1,048
受診率（%）	47.4

（イ）検査結果

判定	人	%
所見なし	1021	97.4
所見あり（要精査）	27	2.6

※2002年度より外部委託（東京都予防医学協会）

イ 乳がん検査 ※乳房視触診・マンモグラフィー（対象30歳以上女性）

（ア）受診状況

該当者数（人）	2,212
受診者数（人）	1,157
受診率（%）	52.3

（イ）検査結果

判定	人	%
所見なし	865	74.8
所見あり（差し支えなし）	264	22.8
所見あり（要観察）	7	0.6
所見あり（要精査）	21	1.8

※2002年度より外部委託（東京都予防医学協会）

## (13) 参考資料

教職員健康診断質問票による調査結果

有効回答数[男(n=2,959, 平均43.9歳), 女(n=3,131, 平均37.9歳), 合計(n=6,090, 平均40.8歳) ]

	有効回答数			平均値または該当する率 (%)		
	男	女	合計	男	女	合計
<b>◆喫煙について</b>						
喫煙する※1	2,936	3,129	6,065	9.3%	3.6%	6.4%
<b>◆飲酒</b>						
よく飲酒する※2	2,954	3,126	6,080	23.8%	9.8%	16.6%
飲酒する日, 1日当たりの飲酒量	2,109	1,738	3,847	34.4g	30.3g	32.6g
<b>◆運動</b>						
日常生活において, 歩行又は同等の身体運動を1日1時間以上実施している	2,954	3,130	6,084	41.2%	38.8%	39.9%
週2日以上, 1回30分以上の軽く汗をかく運動を1年以上続けている	2,951	3,126	6,077	32.7%	20.3%	26.3%
ほぼ同じ年齢の同性と比べて歩く速度が速い	2,952	3,128	6,080	45.0%	33.5%	39.1%
<b>◆食事</b>						
人と比べて食べる速度が速い	2,945	3,120	6,065	34.6%	26.6%	30.5%
就寝前2時間以内に夕食を食べることが週3回以上ある	2,955	3,130	6,085	41.7%	42.2%	41.9%
夕食後に間食をとることが週3回以上ある	2,957	3,129	6,086	18.4%	26.7%	22.7%
間食をとる習慣がある	2,957	3,129	6,086	33.2%	57.7%	45.8%
朝食を抜くことが週3回以上ある	2,956	3,128	6,084	21.5%	26.6%	24.1%
<b>◆睡眠</b>						
平均睡眠時間	2,955	3,129	6,084	06時06分	06時00分	06時03分
睡眠で休養が十分とれていない	2,928	3,095	6,023	34.8%	40.9%	37.9%
<b>◆ストレス</b>						
ストレスをととても感じる	2,936	3,118	6,054	12.7%	18.7%	15.8%
<b>◆体格</b>						
この1年間で体重の増減が±3kg以上あった	2,947	3,119	6,066	21.3%	23.7%	22.6%
20歳の時の体重から10kg以上増加している	2,953	3,123	6,076	32.9%	13.0%	22.7%

※1 これまでの喫煙数が合計100本以上, または6か月以上吸っており(吸っていた), 現在も時々吸っている  
又は毎日吸っている者

※2 週5日以上の飲酒

## 4. その他の健康診断

### (1) 特定業務従事者の健康診断（労働安全衛生規則第45条）

		本部	三田分室	信濃町分室	矢上分室	湘南藤沢分室	芝共立分室	合計（件）
特定業務	教職員	—	—	2,150	—	—	—	2,150

### (2) 特殊健康診断（労働安全衛生法第66条第2項及び第3項，じん肺法）

#### ア 電離放射線取扱者

		本部	三田分室 <sup>※1</sup>	信濃町分室	矢上分室	湘南藤沢分室 <sup>※1</sup>	芝共立分室	合計（件）	
使用前	学生	—	—	7	36	—	34	77	
	教職員	—	—	169	1	—	3	173	
	その他	—	—	27	0	—	0	27	
管理者 <sup>※2</sup>	検査実施者	学生	—	—	1	0	—	0	1
		教職員	—	—	78	0	—	0	78
		その他	—	—	16	0	—	0	16
管理者 <sup>※2</sup>	一部省略者 <sup>※5</sup>	学生	—	—	3	166	—	102	271
		教職員	—	—	941	61	—	48	1,050
		その他	—	—	28	2	—	0	30

#### イ 特定化学物質取扱者

		本部	三田分室 <sup>※1</sup>	信濃町分室	矢上分室	湘南藤沢分室 <sup>※1</sup>	芝共立分室	合計（件）
使用前	学生	—	—	—	2	—	12	14
	教職員	—	—	—	0	—	0	0
	その他	—	—	—	0	—	0	0
管理者 <sup>※2</sup>	学生	—	1	2	240 <sup>※3</sup>	7	144	263
	教職員	—	45	90	54	0	40	229
	その他	—	—	0	3	—	0	3

#### ウ 有機溶剤取扱者

		本部	三田分室 <sup>※1</sup>	信濃町分室	矢上分室	湘南藤沢分室 <sup>※1</sup>	芝共立分室	合計（件）
使用前	学生	—	—	—	0	—	15	15
	教職員	—	—	—	0	—	0	0
	その他	—	—	—	0	—	0	0
管理者 <sup>※2</sup>	学生	—	0	2	496 <sup>※3</sup>	4	187	640
	教職員	—	34	97	94	0	54	279
	その他	—	—	0	7	—	0	7

#### エ 鉛取扱者

		本部	三田分室 <sup>※1</sup>	信濃町分室	矢上分室	湘南藤沢分室 <sup>※1</sup>	芝共立分室	合計（件）
管理者 <sup>※2</sup>	学生	—	—	—	3 <sup>※3</sup>	—	—	4
	教職員	—	—	—	1	—	—	1
	その他	—	—	—	0	—	—	0

#### オ 遺伝子組換え実験業務従事者

		本部	三田分室 <sup>※1</sup>	信濃町分室	矢上分室	湘南藤沢分室 <sup>※1</sup>	芝共立分室	合計（件）
管理者 <sup>※2</sup> (指定実験室 <sup>※4</sup> )	学生	—	—	0	—	—	—	0
	教職員	—	—	9	—	—	—	9
	その他	—	—	0	—	—	—	0
管理者 <sup>※2</sup> (指定実験室以外 <sup>※5</sup> )	学生	—	—	58	—	—	84	142
	教職員	—	—	425	—	—	34	459
	その他	—	—	2	—	—	0	2

※1 鶴岡先端研究教育連携スクエア所属者の健診は提携医療機関で実施

※2 管理者は、前期・後期の延べ件数。ただし、遺伝子組換え実験業務従事者：指定実験室は、前期は調査票による問診のみのため、後期に検査を実施した人数のみ掲載

※3 2010年度より、年2回から年1回実施に変更

※4 遺伝子組換え実験安全規則P3以上、または病原体等安全管理規則レベル3以上の区分に属する実験従事者

※5 調査票による問診のみ（産業医が判定）。遺伝子組換え実験業務従事者：指定実験室も、調査票による問診のみの場合（前期、または使用なし）は指定実験室以外の欄に掲載

## 5. 各種行事等救護状況

### (1) 日吉本部

		内科的 処置	外科的 処置	合計
学部入学式	4/1	4	2	6
大学院入学式	4/4	0	0	0
塾員招待会（卒後51年以上）	5/21	5	0	5
キャンパスツアー・大学説明会	6/25, 7/2	0	0	0
春学期末試験	7/22, 23, 25~29	6	1	7
通信教育スクーリング	8/5~17	5	0	5
連合三田会	10/16	—	—	—
文学部推薦試験	11/20	0	0	0
HRP (Hiyoshi Research Portfolio) 救護	11/26	10	0	10
狭谷クロスカントリー大会	12/3	0	0	0
秋学期末試験	1/24~28, 30, 31, 2/1~3	1	1	2
学部入学試験	2/12~19	32	3	35
学部卒業式	3/23	6	1	7
大学院学位授与式	3/28	0	0	0

※ 連合三田会は救護部会のサポート対応のみ

### (2) 三田分室

		内科的 処置	外科的 処置	合計
ニューヨーク学院A0入試	6/18	0	0	0
春学期末試験	7/20~22, 25~28, 8/1~2	10	5	15
大学説明会・オープンキャンパス	8/4, 5, 25, 26	1	1	2
通信教育部夏季スクーリング	8/19~24	1	1	2
模擬講義	8/30, 31, 9/1	0	0	0
経済学部PEARL (Programme in Economics for Alliances, Research, and Leadership) 説明会	9/1	0	0	0
法科大学院入学試験	9/3, 4	1	0	1
科学研究費助成事業公募要領等説明会	9/6	0	0	0
帰国生対象入学試験 第2次選考試験	9/5, 7, 8, 13	0	0	0
大学院秋期入学試験 (1次, 2次)	9/8, 9, 12~16	0	0	0
9月学部大学院卒業式	9/15	0	0	0
9月学部大学院入学式	9/16	0	0	0
法学部FIT入試	9/17, 18	0	0	0
週末通信スクーリング	9/17, 18, 24, 10/1	0	0	0
秋期オリエンテーション	10/29	0	0	0
三田祭	11/15~20	7	3	10
ニューヨーク学院A0入試	12/3	0	0	0
通信入学説明会	12/3	0	0	0
福澤先生誕生記念会 並びに新年会名刺交換会	1/10	0	0	0
外国人留学生2次試験	1/18, 19	0	0	0
秋学期末試験	1/24~28, 1/30~2/2	1	1	2
特選塾員証授与式および祝賀会	2/3	0	0	0
志木高等学校入学試験(1次)	2/7	0	0	0
学部入学試験	2/10~14, 20	4	1	5
大学院春期入学試験(1次, 2次)	2/20, 22, 24, 27, 28	1	0	1

※ 合計は延べ件数

### (3) 矢上分室

		内科的 処置	外科的 処置	合計
修士課程6月入学試験	6/5	0	0	0
理工学部ホームカミングデー	6/18	0	0	0
理工学部見学会	7/2	0	0	0
後期博士課程7月入学試験	7/23	0	0	0
オープンキャンパス	8/6	0	0	0
修士課程8月入学試験	8/23	0	0	0
修士課程8月入学試験	8/26	0	0	0
帰国生入試第2次選考	9/9	0	0	0
矢上祭	10/8~9	0	0	0
A0入試第2次選考	12/4	0	0	0
留学生入試第2次選考	1/21	0	0	0
後期博士課程2月入学試験	2/18	0	0	0
2学年編入学試験・学士入学試験	2/27	0	0	0

### (4) 湘南藤沢分室（看護医療学部を含む）

		内科的 処置	外科的 処置	合計
大学院入試 1次試験	6/11	0	0	0
SFCオープンキャンパス	6/25	0	0	0
SFCオープンキャンパス（看護医療学部保健室）	6/25	0	0	0
七夕祭	7/2	2	9	11
大学院入試 2次試験	7/9	0	0	0
A0入試 2次試験	7/16	0	0	0
春学期末試験	7/22~25, 28	4	2	6
春学期末試験（看護医療学部保健室）	7/22~25, 28	1	0	1
ピニングセレモニー（看護医療学部保健室）	7/29	0	0	0
未来構想キャンブ	8/1, 24~25	0	0	0
SFC体験ツアー	8/27	0	0	0
第2学年学士編入学試験（看護医療学部保健室）	9/3	0	0	0
帰国生入試 2次試験	9/6	0	0	0
A0入試 2次試験	10/1~2	0	0	0
秋祭	10/8~9	0	4	4
A0入試 2次試験（看護医療学部保健室）	10/29	0	0	0
大学院入試 1次試験	11/5	0	0	0
大学院入試 2次試験	11/26	0	0	0
A0入試 2次試験	12/3	0	0	0
秋学期末試験	1/24~27, 30	7	6	13
秋学期末試験（看護医療学部保健室）	1/24~27, 30	0	0	0
留学生入試 2次試験	1/25	0	0	0
2学年編入学試験 2次試験	2/27	0	0	0

### (5) 信濃町分室

		内科的 処置	外科的 処置	合計
共用試験（CBT）救護	1/31	0	0	0
共用試験（CBT）追再試験救護	3/7	0	0	0

### (6) 芝共立分室

		内科的 処置	外科的 処置	合計
実務実習報告会救護	4/2, 8/6	0	0	0
浦和祭	5/15	2	0	2
大学院入試（推薦）救護	6/26	0	0	0
薬学部オープンキャンパス救護	7/24	0	1	1
共用試験（CBT）体験受験救護	7/26, 27	0	0	0
大学院入試（一次）救護	8/3	0	0	0
ファーマサイエンスショートコース救護	8/3~8/5, 8/9, 22, 24	0	0	0
塾内高等学校向け説明会救護	10/2	0	0	0
芝共祭祭救護	10/22, 23	0	0	0
薬学部父母アドバイザー懇談会	11/6	0	0	0
薬学共用試験OSCE救護	12/5	0	0	0
薬学部指定校推薦合格者面談と施設内見学救護	12/11	0	0	0
薬学研究科二次入試救護	1/15	0	0	0
共用試験（CBT）救護	1/17, 18	1	0	1
共用試験（OSCE）追再試験救護	2/23	0	0	0



## 6. 特定保健指導

### 特定保健指導

	本部	三田分室	信濃町分室	矢上分室	湘南藤沢分室	芝共立分室	志木高等学校分室	合計（件）
初回指導	15	19	0	0	5	6	3	48

参考：健保主催のウォーキング大会

健保集計参加者数（在職者本人のみ）	日吉地区（29） 三田地区（79） 信濃町地区（57） 湘南藤沢地区（24） 矢上地区（21）
-------------------	---

※ 三田地区には芝共立キャンパス・ニューヨーク学院および志木高等学校が含まれる（件）

## 7. 教職員カウンセリング利用者数

対象：教職員

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
本部	2(2)	1(1)	1(2)	3(4)	2(4)	3(5)	1(5)	4(5)	7(7)
	1月	2月	3月	合計(件)					
	1(2)	1(1)	0(1)	26(39)					
三田分室	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	1(3)	1(4)	0(3)	2(5)	1(3)
	1月	2月	3月	合計(件)					
	0(4)	1(2)	0(1)	7(26)					

※新規利用者数（）内は利用延べ人数

## 8. その他の活動

### (1) 健康診断証明書発行（学生のみ）

	本部	三田分室	信濃町分室	矢上分室	湘南藤沢分室	芝共立分室	合計（枚）
自動発行機発行	732	2,725	330	688	565	171	5,211
保健管理センター窓口発行	47	128	2	30	40	3	250

### (2) 応急措置・保健相談等

		本部	三田分室	信濃町分室	矢上分室	湘南藤沢分室 <sup>※3</sup>	芝共立分室	利用者数	合計（件）
投薬 （市販薬）	学生	11	10	0	40	87	10	158	201
	教職員	0	7	2	18	11	2	40	
	その他 <sup>※4</sup>	0	0	0	0	3	0	3	
処置 <sup>※1</sup>	学生	171	55	22	140	268	75	731	888
	教職員	17	18	53	18	25	4	135	
	その他 <sup>※4</sup>	7	5	2	1	6	1	22	
ベッド休養	学生	180	99	4	50	185	60	578	740
	教職員	21	29	7	12	8	77	154	
	その他 <sup>※4</sup>	1	2	2	0	1	2	8	
保健相談等 <sup>※2</sup>	学生	178	32	7	50	134	54	455	531
	教職員	14	6	14	13	8	5	60	
	その他 <sup>※4</sup>	7	3	0	2	4	0	16	
紹介状発行	学生	0	1	0	14	3	8	26	54
	教職員	3	19	0	0	0	6	28	
	その他 <sup>※4</sup>	0	0	0	0	0	0	0	

※1 外傷の消毒、湿布等の処置、爪きり使用、検温等

※2 受付窓口や電話での相談、投薬・処置・ベッド休養が生じない健康相談、保健指導、病院案内等

※3 湘南藤沢分室には看護医療学部保健室が含まれる

※4 その他には高校生、外部学生、塾内出入り業者等が含まれる



## Ⅱ 資料編 第2. 一貫教育校保健管理業務

1. 年間主要業務
2. 保健室利用状況
3. 児童・生徒定期健康診断



# 1. 年間主要業務

## (1) 幼稚舎分室

月	日	対象	業務	備考	
4	7	全学年・保護者	入学式救護		
	11	新入生保護者	校医による慶應義塾における健康管理についての話		
	12	全学年	検尿（一次）		
	13, 15	1・4年生	心臓検診（心電図検査）		
	20	全学年	定期健康診断		
	〃	1・4年生	心臓検診（問診・内科診察）		
	〃	全学年	結核健診（問診・内科診察）		
	〃	全学年	運動器検診（問診・内科診察）		
5	21	要精査者	検尿（二次）	保健管理センター三田分室で実施 慶應義塾大学病院スポーツ医学総合センターで実施 埼玉秩父	
	27	1年生	血液検査，教員ウイルス抗体価検査※		
	上旬	4年生	海浜学校前の健康調査・持参医薬品点検		
	9	要精査者	結核健診精密検査（胸部X線撮影）		
	11	要精査者	心臓検診精密検査		
	12～13	3年生・教職員	宿泊遠足救護（1泊2日）		
	18		6年連絡会（児童に関する情報交換）		
	21	保護者	小児科医による保健講話		
6	23	保護者・児童	健康診断票結果通知（一般項目・血液検査）	全校保護者会	
	23	該当者	高脂血症に対して医療機関受診の通知		
	23	該当者	肥満者に対して医療機関受診の通知		
	24～28	4年生・教職員	海浜学校救護（4泊5日）		
	下旬	6年生	高原学校前の健康調査・持参医薬品点検		
	1～9	6年生・教職員	高原学校救護（7泊8日）		慶應立科山荘
	17	1年生	健康診断票結果通知（ウイルス抗体価検査）		
	22	全学年	健康診断の結果留意すべき児童リスト作成		
22		教室等の調査			
下旬	全学年	水泳授業に関する診断票回収			
7	1	5年生	校医による男子女子の二次性徴についての話	千葉館山	
	2, 9	入学希望保護者	学校説明会救護		
	2, 9	5～6年生	着衣水泳救護		
	12		保健連絡会，学校薬剤師による薬品管理状況点検		
	12		食堂の調査		
	21～25	6年生希望者	館山遠泳合宿		
	21～26	3～6年生	水泳講習会救護（6日間）		
	27～31	5～6年生	立科クラブ合宿救護（4泊5日）		
9	27		特定化学物質検査	慶應立科山荘	
	27		ダニ・アレルゲン検査		
	1～6	3～6年生	水泳講習会救護（6日間）		
	9, 12～14	全学年	身体計測（身長・体重・胸囲）		
	10	6年生	安全水泳救護		
	14		食堂管理責任者との面接		
	15	6年生	水泳大会救護		
	16	3～6年生	水泳1,000mテスト救護		
10	17～18	全学年・来校者	作品展救護（2日間）	他項目は保健管理センター三田分室で実施	
	中旬	5年生	高原学校前の健康調査・持参医薬品点検		
	23		5年連絡会（児童に関する情報交換）		
	27～10/4	5年生・教職員	高原学校救護（7泊8日）		
	13	教職員	定期（生活習慣病）健康診断（血液検査）		
	14		6年連絡会（児童に関する情報交換）		
	18	全学年	運動会救護		
	24	教職員（希望者）	インフルエンザワクチン接種		
11	1～10	受験生	入学試験救護（8日間）		
	18		3年連絡会（児童に関する情報交換）		
12	14		教室等の調査		
1	上旬	6年生	中学進学別健康に留意すべき児童リスト作成	各進学先に提出	
	12～13, 16～17	全学年	身体計測（身長・体重）		
	14	希望児童	かるた会救護		
	20		1～2年連絡会（児童に関する情報交換）		
2	中旬	6年生	修学旅行前の健康調査・持参医薬品準備点検		
	3	6年生	6年校内大会救護		
	6		保健連絡会，学校薬剤師による薬品管理状況点検		
	25～26	全学年	学習発表会救護		
3	下旬	5年生	スキー合宿前の健康調査・持参医薬品準備点検	高知，愛媛，広島	
	4～9	6年生・教職員	修学旅行救護（5泊6日）		
3	18	全学年・保護者	卒業式救護	志賀高原	
	25～30	5年生・教職員	スキー合宿救護（5泊6日）		

※新任教職員を対象にウイルス性疾患（麻疹，風疹，水痘，流行性耳下腺炎）抗体価検査を実施（備考）

罹患調査・予防接種調査を全学年に各学期実施

入学前の予防接種・健康調査書（1年生），気管支喘息調査票（1年生），心臓検診調査票（1・4年生），アレルギー調査票（全学年），結核問診票（全学年），運動器問診票（全学年）による調査を4月に実施

スポーツ医学相談（整形外科医担当）を各学期に1回実施

歯科相談（歯科医担当）を各月に1回実施

こころの発達相談（精神科医担当）各月に1回実施

教員会議に毎月2回出席（担当校医，保健師）

各学年連絡会に出席（保健師）

## (2) 横浜初等部分室

月	日	対象	業務	備考	
4	6	1年生・保護者	入学式救護	保護者会	
	12	1年生保護者	校医による慶應義塾における健康管理についての話		
	21	1・2・3・4年生	定期健康診断		
	"	"	検尿（一次）		
	"	"	結核健診（問診・内科診察）		
	"	"	運動器健診（問診・内科診察）		
	"	1・4年生	心臓健診（問診・内科診察・心電図検査）		
	27	健診欠席者	定期健康診断欠席者健康診断		保健管理センター本部（日吉）で実施
	"	要精査者	結核健診精密検査（胸部X線撮影）		
"	"	検尿（二次）			
"	"	血圧（二次）			
"	"	聴力再検査			
	28	1年生・教職員（希望者）	血液検査，教職員抗体価検査※		
5	7	1・2・3・4年生保護者	精神科医による発達障害についての話	箱根 慶應義塾大学病院スポーツ医学総合センターで実施 三浦 慶應立科山荘	
	上旬	2年生	宿泊遠足前の健康調査・持参医薬品点検		
	"	3年生	宿泊遠足前の健康調査・持参医薬品点検		
	"	4年生	宿泊遠足前の健康調査・持参医薬品点検		
	17～18	2年生・教職員	宿泊遠足救護		
	18	要精査者	心臓健診精密検査		
23～25	3年生・教職員	宿泊遠足救護			
23～26	4年生・教職員	宿泊遠足救護			
6	3	保護者・児童	健康診断票結果通知（一般項目・血液検査）	部長に提出 保護者会	
	"	該当者	高脂血症者に対して医療機関受診の通知		
	"	"	肥満者に対して医療機関受診の通知		
	"	"	聴力低下者に対して医療機関受診の通知		
	6	1・2・3・4年生	健康診断の結果留意すべき児童リスト作成		
	13		保健連絡会，学校薬剤師による薬品管理状況点検		
	18	1・2・3・4年生保護者	校医による健康診断結果と保健室利用状況についての話		
	23		教室等の環境調査		
23	1・2・3・4年生	水泳授業に関する診断票回収			
24	1年生	健康診断票結果通知（ウイルス抗体価検査）			
27		食堂の調査			
7	20		ダニ・アレルゲン調査		
	23～24	入学希望保護者	学校説明会救護		
	26～28	4年生（希望者）	プール開放救護		
8	23	水泳部（4年生）	大会前練習救護		
	22～26	1・2・3・4年生	自由創作展・事前相談会救護		
9	13, 16	1・2・3・4年生	身体計測（身長・体重）		
	17～24	1・2・3・4年生，来校者	自由創作展救護		
	26		食堂管理責任者との面接		
10	15	1・2・3・4年生，保護者	運動会救護	他の項目は保健管理センター本部（日吉）で実施	
	21	教職員（希望者）	インフルエンザワクチン接種		
	25	教職員	定期（生活習慣病）健康診断（血液検査）		
11	10, 19～22	受験生	入学試験救護		
12	9	1・2・3・4年生，保護者	音楽会救護		
1	13, 17	1・2・3・4年生	身体計測（身長・体重）		
	16		教室等の環境調査		
2	17	1・2・3・4年生，保護者	学芸会救護		
3	20		保健連絡会，学校薬剤師による薬品管理状況点検		

※新任教職員を対象にウイルス性疾患（麻疹，風疹，水痘，流行性耳下腺炎）抗体価検査を実施（備考）

罹患調査・予防接種調査を全学年に各学期実施

入学前の予防接種・健康調査書（1年生），気管支喘息調査票（1年生），心臓健診調査票（1・4年生），アレルギー調査票（全学年），結核問診票（全学年），運動器問診票（全学年）による調査を4月に実施

スポーツ医学相談（整形外科医担当）を各学期に1回実施

歯科相談（歯科医担当）を各学期に1回実施

スクールカウンセリングを各月に1回実施

精神保健相談（精神科医担当）を要請時実施

(3) 普通部分室

月	日	対象	業務	備考
4	8	全学年・保護者	入学式救護	日吉記念館で実施 " " " 保健室で実施 1年保護者会時に実施
	25	全学年	定期健康診断(1年血液検査・教職員抗体価検査 <sup>※</sup> )	
	"	1年生	心臓検診(問診・内科診察・心電図検査)	
	"	全学年	結核健診(問診・内科診察)	
	"	"	運動器検診(問診・内科診察)	
	30~5/16	要精査者	検尿(二次)	
30	1年生保護者	校医による慶應義塾における健康管理についての話		
5	6, 12	健診欠席者	定期健康診断欠席者健康診断	保健室で実施
	6	要精査者	結核健診精密検査(胸部X線撮影)	保健管理センター本部(日吉)で実施
	10~12	要精査者	聴力再測定	保健室で実施
	10~17	要精査者	血圧再検査	保健室で実施
	25	全学年	校内大会救護	
	"	要精査者	心臓検診精密検査	慶應義塾大学病院スポーツ医学総合センターで実施
	30, 6/4	全学年保護者	健康診断票結果(一般項目)通知	保護者会時に実施 2,3年生(5/30) 1年生(6/4)
30	要精査者	腎臓検診精密検査医療機関受診の通知		
6	4	1年生保護者	健康診断票結果(血液検査(抗体価以外))通知	保護者会時に実施
	"	1年生該当者保護者	高脂血症・高尿酸血症・肥満者に対して医療機関受診の通知	"
	8	2,3年生該当者	肥満者に対して医療機関受診の通知	
	10		教室等の調査	
	15	教職員	アレルギー対応講習会	
	"		保健連絡会, 学校薬剤師による薬品管理状況点検	
	中旬	全学年	林間学校・自然学校前の健康調査・持参医薬品点検	
	22	1年生	健康診断票結果(血液検査:ウイルス抗体価)通知	部長に提出(6/27)
下旬	全学年	健康診断の結果留意すべき生徒リスト作成		
30		食堂の調査	南食堂	
7	12~15	1年生・教職員	林間学校救護(3泊4日)	奥日光
	"	2年生・教職員	"(3泊4日)	黒姫高原
	"	3年生・教職員	自然学校救護(3泊4日)	富士
	中旬	1~3年生希望者	海浜学校前の健康調査・持参医薬品点検 クラブ合宿用救急物品作成	
8	1~5	1~3年生希望者・教職員	海浜学校救護(4泊5日)	千葉鶴原
	中旬		災害用医薬品点検・交換 ダニ・アレルギー検査	
9	6		特定化学物質調査	
	10, 11	来所者	学校説明会救護	日吉キャンパス独立館で実施
	24, 25	全学年・来校者	労作展救護	
10	1~31	希望者	朝のランニングの会参加者健康診断	書面で確認、要面接者は呼び出し
	4, 17, 19, 20 11/1, 2, 24, 28/12/20	全学年	身体計測(身長・体重)	1年生(10/17, 11/1) 2年生(10/4) 3年生(11/2, 24)
	5		インフルエンザの予防接種奨励の文書配布	
	6		食堂管理責任者との面接	
	12	全学年	運動会救護	
29	全学年保護者	校医によるインフルエンザの予防についての話	保護者会	
11	4, 5	全学年	目路はるか教室救護	
12	1		教室等の調査	
	上旬	2~3年生希望者	スキー学校前の健康調査・持参医薬品点検	
	17	全学年	芸術鑑賞会救護	
24~28	2,3年生希望者・教職員	スキー学校救護(4泊5日)		
2	1	受験生	入試救護	
	11	入学予定者	入学説明会救護	
	15		保健連絡会, 学校薬剤師による薬品管理状況点検	
	下旬	1年生・希望者	スキー学校前の健康調査・持参医薬品点検	
3	3	3年生	高校進学別健康に留意すべき生徒リスト作成	各進学先に提出
	13(11)	全学年	音楽会救護(前日リハーサル)	
	17	3年生・保護者	予防接種のすすめ(ウイルス抗体陰性者のみ)	
	18	全学年・保護者	卒業式救護	
	24~28	1年生希望者・教職員	スキー学校救護(4泊5日)	志賀高原

※新任教職員を対象にウイルス性疾患(麻疹, 風疹, 水痘, 流行性耳下腺炎)抗体価検査を実施(備考)

罹患調査・予防接種調査を全学年に各学期実施

入学前の予防接種・健康調査書(1年生), 気管支喘息調査票(1年生), 心臓検診調査票(1年生), 結核問診票(全学年), 運動器問診票(全学年)による調査を4月に実施

スポーツ医学相談(整形外科医担当)を各学期に1回実施

スクールカウンセリング週2回実施(水曜日14:00~17:00, 木曜日9:00~15:00)

運動前健康診断随時実施(8部会・1行事, 延べ32回, 430名実施)

(4) 中等部分室

月	日	対象	業務	備考
4	8	全学年・保護者	入学式救護	保護者会 三田大学西校舎で実施
	9	教職員	食物アレルギー対応講習会	
	15	1年生保護者	校医による慶應義塾における健康管理についての話	
	18, 19	全学年	定期健康診断（1年血液検査・教員抗体価検査※）	
	〃	1年生	心臓検診（問診・内科診察・心電図検査）	
	〃	全学年	結核健診（問診・内科診察）	
	〃	〃	運動器検診（問診・運動器診察）	
	27 27～5/19 27, 28	検尿未了者 要精査者 健診欠席者	検尿（一次） 検尿（二次） 定期健康診断欠席者健康診断	
5	9～13	要精査者	血圧再検査	保健管理センター三田分室で実施 慶應義塾大学病院スポーツ医学総合センターで実施
	9	要精査者	結核健診精密検査（胸部X線撮影）	
	25	要精査者	心臓検診精密検査	
6	1	全学年 全学年保護者・生徒 1年生保護者・生徒 該当者 全学年保護者・生徒 上旬～下旬 25 27	校内大会（球技）救護	保護者会 保護者会
	4		林間学校前の健康調査・持参医薬品点検	
	〃		健康診断票結果（一般項目）通知	
	〃		健康診断票結果（血液検査）通知	
	〃		貧血・高脂血症・高尿酸血症・肥満者・腎臓タ所見者に対して医療機関受診の通知	
	〃		熱中症の予防 文書配布	
	〃		林間学校前の健康調査・持参医薬品点検 健康診断票結果（ウイルス抗体価検査）通知 教室等の調査	
7	上旬	全学年	健康診断の結果留意すべき生徒リスト作成	部長に提出(7/8) 三田大学ホール 富士 日光 蓼科
	8	全学年保護者・生徒・教員	熱中症の予防について	
	11～14	1年生・教職員	林間学校救護（3泊4日）	
	〃	2年生・教職員	〃（3泊4日）	
	〃	3年生・教職員	〃（3泊4日）	
	13 〃 下旬		特定化学物質調査 ダニ・アレルゲン検査 校友会夏合宿用救急物品作成	
8	下旬		災害用医薬品点検・交換	
9	上旬	全学年	スポーツメディカルチェック実施	
10	4	全学年保護者・生徒	インフルエンザ予防接種奨励の文書配布	日吉グラウンド 保護者会
	〃	全学年保護者・生徒	学校感染症に関する文書配布	
	6	全学年	運動会救護	
	上旬 29	全学年 1年生保護者	身体計測（身長・体重） インフルエンザの予防についての話	
11	12～13 25	全学年・来校者	展覧会救護（2日間）・学校説明会（2日間） 保健連絡会、学校薬剤師による薬品管理状況点検	
12	8		教室等の調査	メルパルクホール 〃
	15	全学年	音楽会リハーサル救護	
	16	全学年	音楽会救護	
1	11	3年生女子	食事調査	
	下旬	受験生	入試救護準備	
	31	3年生	卒業旅行前の健康調査	
2	3	受験生	一次入試救護	三田大学第一校舎
	5	受験生	二次入試救護	
	中旬	3年生	卒業旅行持参医薬品準備	
	24 〃	3年生女子 3年生	校医による摂食障害についての講演会 校医による薬物乱用についての講演会	
3	上旬	3年生	高校進学別健康に留意すべき生徒リスト作成	各進学先に提出 山口・広島 三田大学ホール
	9～13	3年生・教職員	卒業旅行救護（4泊5日）	
	16	3年生保護者	予防接種のすすめ文書配布（ウイルス抗体陰性者のみ）	
	中旬 18	全学年・保護者	校友会春合宿用救急物品作成 卒業式救護	

※新任教職員を対象にウイルス性疾患（麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎）抗体価検査を実施（備考）

罹患調査・予防接種調査を全学年に各学期実施

入学前の予防接種・健康調査書（1年生）、気管支喘息調査票（1年生）、心臓検診調査票（1年生）、結核問診票（全学年）、運動器問診票（全学年）による調査を4月に実施

スポーツ医学相談（整形外科医担当）を各月に1回実施

スクールカウンセリング週2回実施（月曜日9：40～12：40・火曜日9：40～16：00）

スポーツメディカルチェックは2014年度から全生徒を対象に実施



(5) 湘南藤沢中等部分室

月	日	対象	業務	備考	
4	6	1年生・保護者	入学式救護	湘南藤沢中・高等部体育館で実施	
	8	全学年	定期健康診断（1年血液検査）		〃
	〃	1年生	心臓検診（問診・内科診察・心電図検査）		〃
	〃	全学年	結核健診（問診・内科診察）		〃
	19～5月中旬	検尿未了者	運動器検診（問診・内科診察）	保健管理センター湘南藤沢分室で実施	
	〃	要精査者	検尿検査（一次 or 二次）		
	〃	要精査者	検尿再検査		
5	下旬～5月中旬	健診欠席者	血圧再検査	部長・主事に提出	
	28	要精査者	定期健康診断欠席者健康診断		
	中旬～6月下旬	全学年	結核健診精密検査（胸部X線撮影）	慶應義塾大学病院スポーツ医学総合センター他で実施	
	16	全学年	健康診断の結果留意すべき生徒リスト、アレルギー対応者リスト作成		
	18	要精査者	熱中症の予防について 文書配布		
24	全学年・教職員・来校者	心臓検診精密検査			
6	30	全学年	体育祭救護	〃	
	〃	該当者	健康診断票結果（一般項目）通知 高脂血症・肥満者に対して医療機関受診の通知		
7	21	教室等の調査	健康診断票結果（抗体検査）通知	適宜実施	
	27	模擬店出店者	教室等の調査		
7	〃	1年生	食品衛生講習会（七夕祭のため）	〃	
	2	参加者・教員	健康診断票結果（抗体検査）通知		
	上旬	帰国生	七夕祭救護		
8	上旬	参加者・引率教員	帰国者健康診断	〃	
	下旬	参加者・引率教員	夏期クラブ合宿の持参医薬品点検 災害用医薬品点検・交換		
9	3		特定化学物質調査	〃	
	〃		ダニ・アレルギー検査		
	上旬	全学年	高原学校・旅行前の健康調査・持参医薬品点検		
	17	来校者	学校説明会救護		
	20～11/9	全学年	スポーツメディカルチェック		
10	〃	全学年	身体計測（身長・体重）	富士吉田 東北 広島・四国	
	28	全学年	インフルエンザの予防対策について 文書配布		
	3～6	1年生・教職員	高原学校救護（3泊4日）		
	3～6	2年生・教職員	旅行救護（3泊4日）		
11	3～6	3年生・教職員	修学旅行救護（3泊4日）	〃	
	24	模擬店出店者	食品衛生講習会（文化祭のため）		
	7		保健連絡会		
	〃		学校薬剤師による校内薬品管理状況点検		
12	7～11	該当者	学校薬剤師による校内薬品管理状況点検	〃	
	12, 13	全学年・教職員・来校者	教職員ウイルス抗体価検査※		
	〃	来校者	文化祭救護（2日間） 学校説明会救護（2日間）		
1	9	2・3年生	球技大会救護	〃	
	中旬	参加者・引率教員	冬期クラブ合宿の持参医薬品点検		
	12	1年生	球技大会救護		
2	24		教室等の調査	〃	
	28	参加者	正月祭救護		
	下旬	参加者・引率教員	スキー教室前の持参医薬品点検		
3	2, 4	中等部受験生	中等部入学試験救護（2日間）	各進学先に提出	
	17	中等部入学予定者保護者	校医による慶應義塾における健康管理についての話		
	下旬	3年生	高校進学別健康に留意すべき生徒リスト作成		
3	6		保健連絡会	〃	
	〃		学校薬剤師による校内薬品管理状況点検		
	中旬	参加者・引率教員	春期クラブ合宿の持参医薬品点検		
	18	3年生・保護者	中等部卒業式救護	〃	

※新任教職員を対象にウイルス性疾患（麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎）抗体価検査を実施（備考）

罹患調査・予防接種調査を全学年に長期休業明けに実施

入学前の予防接種・健康調査書（1年生）、気管支喘息調査票（1年生）、心臓検診調査票（1年生）、結核問診票（全学年）、運動器問診票（全学年）による調査を4月に実施

スポーツ医学相談（整形外科医担当）を年5回実施

スクールカウニング週3回実施（火曜日16:10～17:20、金曜日15:20～16:30、土曜日9:00～16:10）

スポーツメディカルチェック随時実施（全中等部生および運動部大会前）

(6) 湘南藤沢高等部分室

月	日	対象	業務	備考
4	6	4年生・保護者	入学式救護	湘南藤沢中・高等部体育館で実施 " " " " 保健管理センター湘南藤沢分室で実施 湘南藤沢中・高等部保健室で実施
	9	全学年	定期健康診断（4年血液検査）	
	"	4年生	結核健康診断（胸部X線撮影）	
	"	4年生	心臓検診調査（心電図検査）	
	"	全学年	心臓検診調査（問診・内科診察）	
	"	全学年	運動器検診（問診・内科診察）	
	19～5月中旬	検尿未了者	検尿検査（一次 or 二次）	
	"	要精査者	検尿再検査	
	"	要精査者	血圧再検査	
28	要精査者	結核健診精密検査（胸部X線撮影）		
下旬～5月上旬	健診欠席者	定期健康診断欠席者健康診断		
下旬～5月上旬	要精査者	心臓検診精密検査（ホルター心電図 or 心エコー検査）		
5	中旬	要精査者	健康診断結果（心電図検査）面接	
	16	全学年	熱中症の予防について 文書配布	
	24	全学年・教職員・来校者	体育祭救護	
6	6	全学年	健康診断票結果（一般項目）通知	部長・主事に提出
	上旬～中旬	該当者	健康診断票結果（血液検査）について校医面接	
	上旬～下旬	全学年	健康診断の結果留意すべき生徒リスト，アレルギー対応者リスト作成 教室等の調査	
	21	該当者	健康診断結果（体重）面接	
下旬～7月上旬	模擬店出店者	食品衛生講習会（七夕祭のため）		
27	4年生・5年生未了者	健康診断票結果（抗体検査）通知		
7	2	参加者・教員	七夕祭救護	適宜実施
	上旬	参加者・引率教員	夏期クラブ合宿の持参医薬品点検	
	1, 8, 15	帰国生	帰国者健康診断	
	下旬		災害用医薬品点検・交換	
8	3		特定化学物質調査	
	"		ダニ・アレルゲン検査	
9	上旬	全学年	旅行前の健康調査・持参医薬品点検	
	17	来校者	学校説明会救護	
	中旬～11月上旬	該当者	身体測定（身長・体重）について校医面接	
28, 30	全学年	インフルエンザの予防対策について 文書配布		
10	3～6	4年生1班・教職員	旅行救護（3泊4日）	北信越 京都・奈良 北海道 北信越 京都・奈良
	3～6	5年生1班・教職員	旅行救護（3泊4日）	
	3～7	6年生・教職員	旅行救護（4泊5日）	
	4～7	4年生2班・教職員	旅行救護（3泊4日）	
	4～7	5年生2班・教職員	旅行救護（3泊4日）	
	24	模擬店出店者	食品衛生講習会（文化祭のため）	
11	7		保健連絡会	
	"		学校薬剤師による校内薬品管理状況点検	
	7～11	該当者	教職員ウイルス抗体価検査※	
12, 13	全学年・教職員・来校者	文化祭救護（2日間）		
"	来校者	学校説明会救護（2日間）		
12	中旬	参加者・引率教員	冬期クラブ合宿の持参医薬品点検	
1	24		教室等の調査	
	28	参加者	正月祭救護	
2	12	高等部受験生	一般・帰国生入学試験救護	
3	6		保健連絡会	
	"		学校薬剤師による校内薬品管理状況点検	
	11	全学年	球技大会救護	
	中旬	参加者・引率教員	春期クラブ合宿の持参医薬品点検	
21	6年生・保護者	高等部卒業式救護		

※新任教職員を対象にウィルス性疾患（麻疹，風疹，水痘，流行性耳下腺炎）抗体価検査を実施（備考）

罹患調査を長期休業明けに各学期実施

入学前の予防接種・健康調査（新入生），気管支喘息調査票（4年生），心臓検診調査票（全学年），運動器検診問診票（全学年）による調査を4月に実施

スポーツ医学相談（整形外科医担当）を年5回実施

スクールカウンセリング週3回実施（火曜日16:10～17:20，金曜日15:20～16:30，土曜日9:00～16:10）

(7) 高等学校分室

月	日	対象	業務	備考
4	1~4	全学年	定期健康診断（2年血液検査）	高校校舎で実施
	〃	1年生	結核健康診断（胸部X線撮影）	高校校舎で実施
	〃	1年生・保護者	健康診断個人票による健康調査（既往歴など）	
	〃	全学年	心臓検診調査	
	5	1年生・保護者	高校入学式救護	
	6	1年生・保護者	健康のすすめ配布	
	6~8	要精査者	血圧再検査	
	11	教員	スクールカウンセラーによる研修「ルールを守らない生徒との相談事例」	高校校舎で実施
	12	健診欠席者	定期健康診断欠席者健康診断	記念館で実施
	21~28	要精査者	心臓検診精密検査（ホルター心電図）	高校保健室で実施
18, 25, 5/6	要精査者	検尿再検査		
27	健診欠席者	定期健康診断欠席者健康診断（胸部レントゲン）	保健管理センター本部で実施	
25, 5/9	要精査者	心エコー検査	保健管理センター本部で実施	
5	中旬	該当生徒	検尿再検査結果による面接	
	中旬	該当生徒	循環器再検査結果による面接	
6	2	教職員	学校保健委員会	
	2		学校薬剤師による薬品保管状況点検	
	7	全学年	球技大会救護	
	8	教員	スクールカウンセラーによる研修「長期生徒自身、相談につながりにくい事例」	高校校舎で実施
	9	該当生徒	尿酸セミナー	
	14	全学年	健康診断の結果留意すべき生徒リスト・アレルギー対応者リスト作成	校長・主事・体育科に提出
	18	生徒・保護者	健康診断結果通知	前期保護者会にて
	15~7月初旬	該当生徒	健康診断結果による校医面接	
23		食堂衛生調査	高校グリーン食堂	
24		教室等の環境調査		
28	該当生徒	脂質セミナー		
7	7	保護者希望者	スクールカウンセラーによる講演「思春期・青年期男子のこころ～その理解と対応」	来往舎で実施
	上旬	生徒・教職員	選択旅行救急薬品等準備	
	10~14	生徒・教職員	選択旅行救護（3泊4日）	北海道
	10~13	生徒・教職員	選択旅行救護（2泊3日）	御蔵島
	12~15	生徒・教職員	選択旅行救護（2泊3日）	御蔵島
	21		特定化学物質検査	
21		ダニ・アレルギー検査		
10	3	教員	スクールカウンセラーによる研修「生徒が自分で問題解決するための支援」	
	4	生徒	陸上運動会予行練習救護	
	12	生徒	陸上運動会救護	日吉陸上競技場で実施
	15	生徒・保護者	健康的な生活習慣についての文書配布	後期保護者会
	17	生徒	食品衛生講習会（日吉祭のため）	参加団体責任者会議
	21	保護者希望者	スクールカウンセラーによる講演「思春期・反抗期 - その理解と対応 -」	
	26	生徒・保護者	インフルエンザの感染予防について 文書配布	ホームルームにて
	27	食堂責任者	食堂の調査結果面接	
29~30	生徒・来校者	日吉祭救護		
31	生徒・来校者	日吉祭片付け救護		
11	4	教職員	学校保健委員会	
	〃		学校薬剤師による薬品保管状況点検	
	7	教員	スクールカウンセラーによる研修「生徒が自分で問題解決するための支援」	高校校舎で実施
	10	生徒・保護者	ノロウイルスの感染予防について 文書配布	ホームルームにて
1	20	生徒・教職員	教室等の環境調査	
	23	受験生	推薦入学試験二次救護	
2	10	受験生	一般・帰国生入学試験一次救護	
	13	受験生	一般・帰国生入学試験二次救護	
	中旬	生徒	選択旅行救急薬品等準備	
	27~3/1	生徒	選択旅行救護	スキー／スノーボード
	25~28	生徒	選択旅行救護	八重山諸島1班
26~3/1	生徒	選択旅行救護	八重山諸島2班	
3	25	生徒・保護者	高校卒業式救護	
	25	新入生	新入生ガイダンス	

(備考)

スクールカウンセリング週5回実施（月～金曜日9：00～18：00）

(8) 志木高等学校分室

月	日	対象	業務	備考	
4	6	1年生・保護者	入学式救護	三田大学西校舎で実施 " " "	
	"	1年生	総合学習研修旅行前の健康調査		
	"	1年生	健康診断個人票による健康調査		
	"	1年生	健康のすすめ配布		
	6~7	全学年生徒	心臓検診調査		
	7	2, 3年生	保健調査票による健康調査		
	14	全学年	定期健康診断(2年血液検査)		
	"	全学年	心臓検診(問診・内科診察・心電図検査)		
	"	1年生	結核健診(胸部X線撮影)		
	"	全学年	運動器検診(問診・内科診察)		
	15	2年生	ライフスタイル調査		
16~28	要精査者	血圧再検査	保健室で実施		
18~20	要精査者	検尿(二次)	"		
22	1年生	総合学習研修旅行のための食物アレルギーリスト作成	旅行委員に提出		
下旬~5月中旬	要精査者	心臓検診精密検査(ホルター心電図・心エコー検査)	保健室で実施		
5	上旬	生徒	総合学習研修旅行・持参医薬品点検	保健室で実施 校長に提出(1年生分) 校長に提出(全学年分) 三浦(日帰り)	
	6	健診欠席者	欠席者健康診断		
	6	生徒	健康診断の結果留意すべき生徒リスト作成		
	9~18	該当生徒	健康診断結果(血液検査)について校医面接		
	13	生徒	健康診断の結果留意すべき生徒リスト作成		
	"	模擬店出店団体	収穫祭模擬店食品衛生調査		
	17~19	1年生	総合学習研修旅行救護		
	21	保護者	P T A総会救護		
	"	保護者	健康診断結果通知		
	"	保護者	予防接種についての文書配布(未接種者)		
25	全学年	運動会救護			
6	10	BMI30以上の生徒他	学校保健連絡会, 衛生委員会		
	"		学校薬剤師による校内薬品管理状況点検		
	上旬~7月中旬		健康診断結果(体重)について校医面接		
	15		食堂の調査		
	24		研修旅行前の健康調査		
	"		見学旅行前の健康調査		
27~29	生徒	クラスマッチ救護			
7	上旬	参加者・引率教員	志木の森ツアー, クラブ合宿用救急物品作成	保健室で実施 旅行委員に提出 保健室で実施	
	5	保護者	整形外科医による運動器検診二次検診		
	8		見学旅行・研修旅行のための食物アレルギーリスト作成		
	12		帰国者健康診断		
	13		教室等の調査		
	15		特定化学物質検査		
	"		ダニ・アレルギー検査		
16	保護者		保護者会救護		
"	保護者	予防接種についての文書配布(未接種者)			
8	上旬~下旬	2・3年生	災害用救護物品点検・交換		
	"		研修・見学旅行前の持参医薬品点検		
9	上旬~下旬	BMI30以上の生徒他	健康診断結果(体重)について校医面接	校長に提出	
	7		職場巡視		
	9		衛生委員会		
	13~30		教職員		定期・生活習慣病健康診断(胸部X線撮影)
	14		食堂管理責任者		食堂管理責任者との面接
23	2・3年生	旅行前調査の結果留意すべき生徒リスト作成			
10	4~5	1年生	BLS講習会	京都~四国 諏訪湖~糸魚川 保健室で実施	
	4~7	3年生	見学旅行救護(3泊4日)		
	"	2年生	研修旅行救護(3泊4日)		
	13	教職員	定期・生活習慣病健康診断		
	19	模擬店出店団体代表者	食品衛生講習会		
	21	生徒	マラソン大会前健康調査		
11	上旬~12月上旬	生徒	マラソン大会前健康調査について校医面接		
	3	来校者	学校説明会救護		
	7	教職員	定期・生活習慣病健康診断結果通知		
	上旬~	教職員	定期・生活習慣病健康診断結果について医師面接		
	18	生徒	学校保健連絡会, 衛生委員会		
"	生徒	学校薬剤師による校内薬品管理状況点検			
28~30	生徒	クラスマッチ救護			
12	上旬	生徒	クラブ合宿用救急物品作成	校長に提出 荒川彩湖周回コースで実施	
	2	生徒	マラソン大会前面接の結果留意すべき生徒リスト作成		
	7	生徒	マラソン大会救護		
	中旬	該当教職員	特定保健指導初回面接		
	17	保護者	保護者会救護		
	"	保護者	予防接種について文書配布(未接種者)		
1	23	受験生	自己推薦二次入学試験救護		
	25	受験生	教室等の調査		
2	7	受験生	一般・帰国生一次入学試験救護	志木高・三田大学キャンパスで実施	
	上旬	受験生	災害用救護物品点検・交換		
	11	受験生	一般・帰国生二次入学試験救護		
	17	受験生	衛生委員会		
3	上旬	参加者・引率教員	志木の森ツアー, クラブ合宿用救急物品作成		
	24	3年生・保護者	卒業式・謝恩会救護		

(備考)

精神保健相談(精神科校医1名)月1回実施

スクールカウンセラーによるカウンセリング週6日実施(月~土曜日10:00~16:00)

(9) 女子高等学校分室

月	日	対象	業務	備考
4	5	生徒・保護者	入学式救護	主事に提出  大学三田キャンパス西校舎で実施
	〃	生徒	旅行前の健康調査	
	〃	生徒	心臓検診調査	
	8	生徒	精神健康調査	
	13	生徒	健康診断の結果留意すべき生徒リスト作成	
	11～5/26	生徒	精神健康調査面接	
	15	生徒	定期健康診断・結核健康診断（胸部X線間接撮影）	
	21～6/20	生徒	健康診断結果面接・精神健康調査結果面接	
	22	生徒	心エコー検査	
	25	生徒	安全な部活動のための講習	
5	25	生徒	ホルター心電図検査	群馬 奈良 京都
	26	生徒	検尿未了者検査・検尿再検査	
	1～29	生徒	健康診断結果（血液検査）面接	
	11	生徒	検尿未了者検査・検尿再検査	
	13	生徒	校内対抗救護	
	16	生徒	野外活動・修学旅行準備会	
	17～20	1年生	野外活動救護（3泊4日）	
	17～20	2年生	研修旅行救護（3泊4日）	
17～20	3年生	修学旅行救護（3泊4日）		
27	生徒	心臓エコー検査		
6	1		教室等の調査	
	6, 21	生徒	ホルター心電図検査	
	17	生徒	演劇会救護	
	19	生徒	健康診断結果通知	
	28		食堂の調査	
7	1	教職員	保健室連絡会議	
	13		特定化学物質調査	
9	7～9, 23, 26～28	生徒	体重測定	大井ふ頭中央海浜公園で実施
	21	生徒	運動会救護	
	26	生徒	食品衛生講習会（十月祭のため）	
10	9～10	生徒・来校者	十月祭救護	
	24		食堂の調査結果面接	
11	4	生徒	ライフスタイル調査	
12	5	教職員	教室等の調査	
	9	教職員	保健室連絡会議	
1	22	受験生	推薦入試救護	
2	10	受験生	一般・帰国生入試救護	
3	22	生徒・保護者	卒業式救護	

(備考)

スクールカウンセリング週2回実施（月・木曜日9：00～17：00）

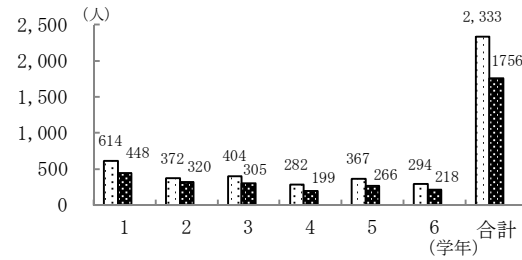
## 2. 保健室利用状況

### (1) 幼稚舎分室

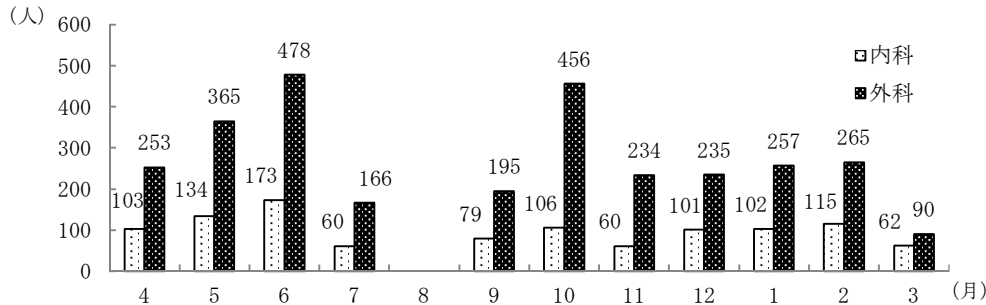
#### ア 在籍者数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計(人)
男子	96	95	95	93	94	95	568
女子	48	48	47	48	46	48	285
計	144	143	142	141	140	143	853

#### イ 学年別来室者数

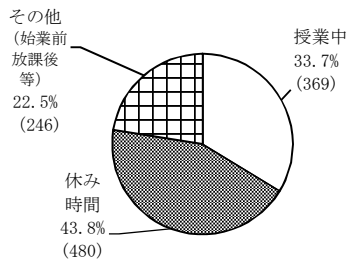


#### ウ 月別来室者数 (内科・外科別)

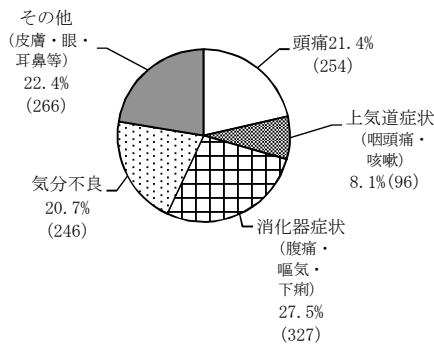


#### エ 内科 (延べ人数)

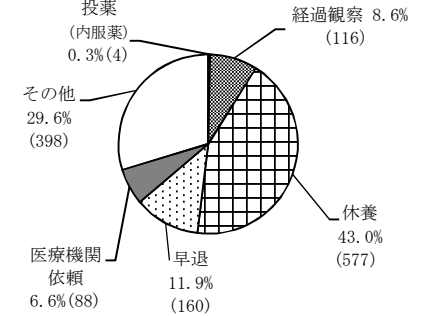
##### (ア) 来室時間



##### (イ) 主訴

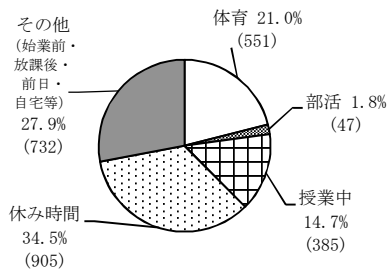


##### (ウ) 処置

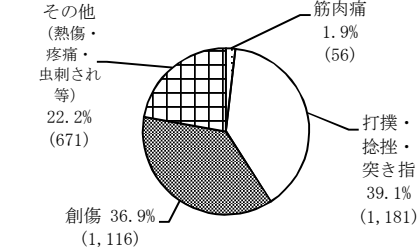


#### オ 外科 (延べ人数)

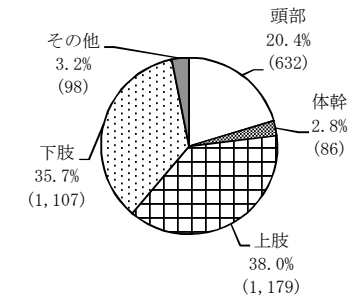
##### (ア) 受傷時間



##### (イ) 外傷の種類



##### (ウ) 受傷部位



#### (まとめ, その他)

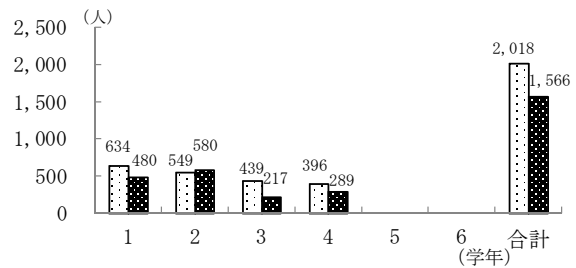
- ・インフルエンザによる学級閉鎖を5クラス, 感染性胃腸炎による学級閉鎖を1クラスに対して行った。
- ・スポーツ医学相談 (整形外科医担当) を各学期毎に1回実施し, 延べ12件の相談があった。
- ・歯科相談 (歯科医担当) は, 延べ66件の児童 (保護者の同伴) の相談があり, 昨年度 (54件) に比べて増加した。
- ・こころの発達相談 (児童精神科医担当) は, 延べ34件の教職員と保護者からの相談があった。

(2) 横浜初等部分室

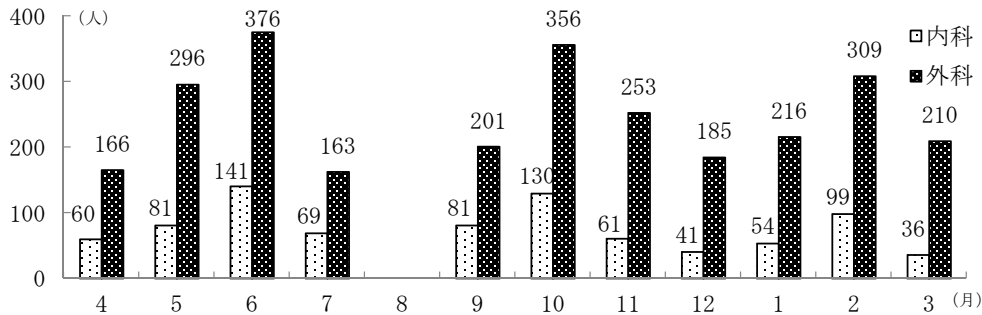
ア 在籍者数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計(人)
男子	66	66	65	63	-	-	260
女子	42	42	42	40	-	-	166
計	108	108	107	103	-	-	426

イ 学年別来室者数

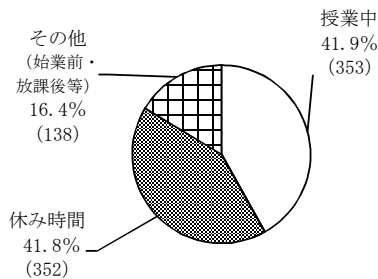


ウ 月別来室者数（内科・外科別）

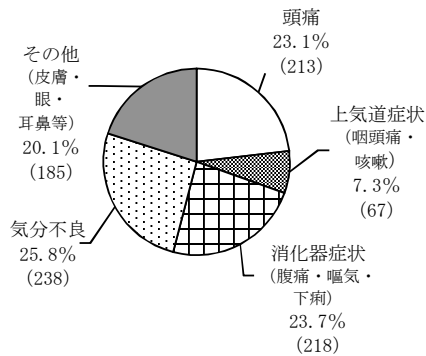


エ 内科（延べ人数）

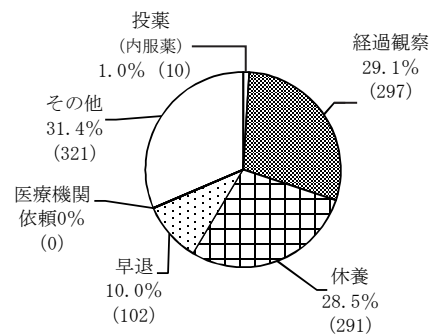
(ア) 来室時間



(イ) 主訴

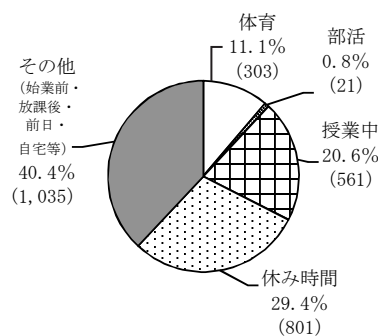


(ウ) 処置

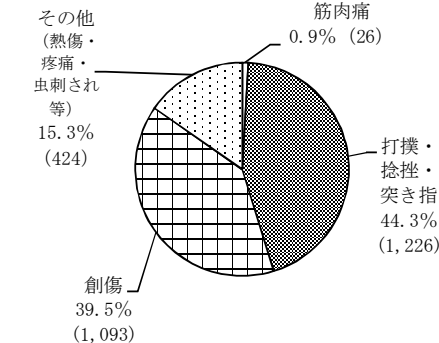


オ 外科（延べ人数）

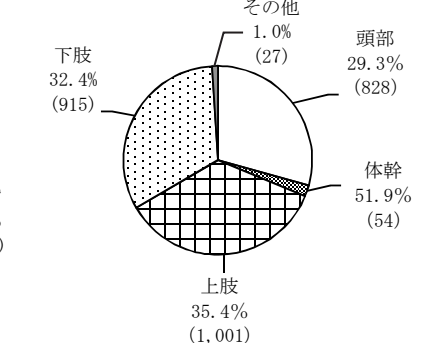
(ア) 受傷時間



(イ) 外傷の種類



(ウ) 受傷部位



(まとめ, その他)

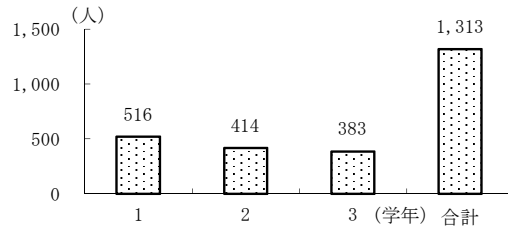
- ・2016年度は4学年となり、来室者数は3,584人（内科853人、外科2,731人）と増加した。
- ・スポーツ医学相談（整形外科医担当）を各学期に1回実施し、延べ10件の相談があった。
- ・歯科相談（歯科医担当）を5回実施し、延べ55件の相談があった。
- ・精神保健相談（精神科医、スクールカウンセラー担当）を月1回実施し、延べ28件の相談があった。
- ・インフルエンザによる学級閉鎖を4クラス、感染性胃腸炎による学級閉鎖を1クラスに対して行った。

### (3) 普通部分室

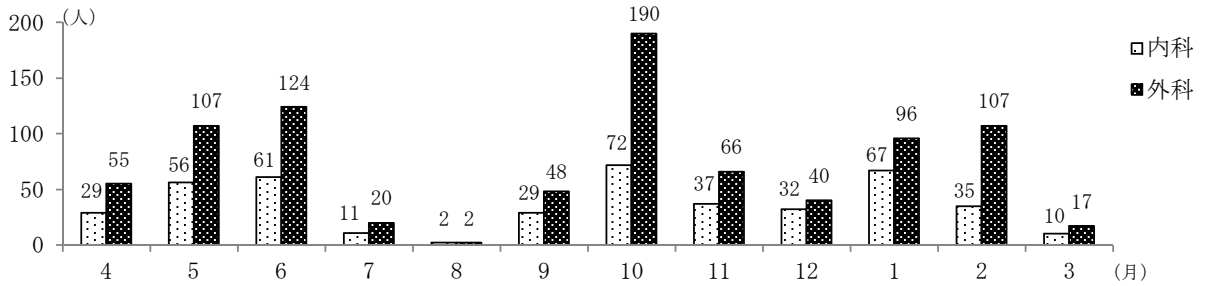
#### ア 在籍者数

	1年	2年	3年	合計(人)
男子	235	234	229	698

#### イ 学年別来室者数

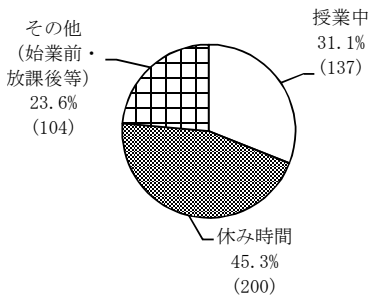


#### ウ 月別来室者数 (内科・外科別)

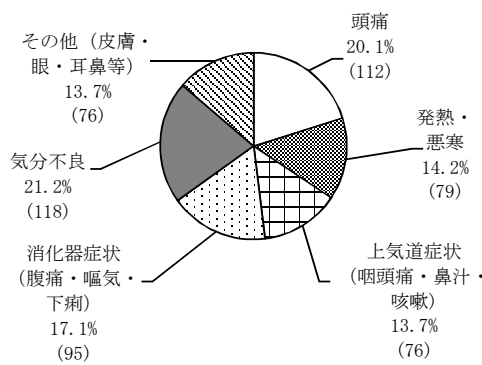


#### エ 内科 (延べ人数)

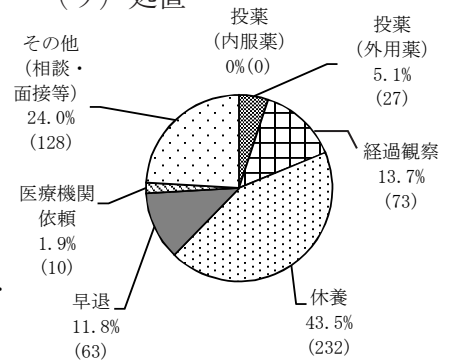
##### (ア) 来室時間



##### (イ) 主訴

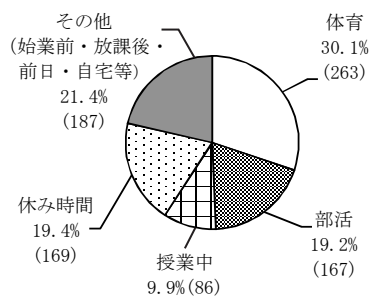


##### (ウ) 処置

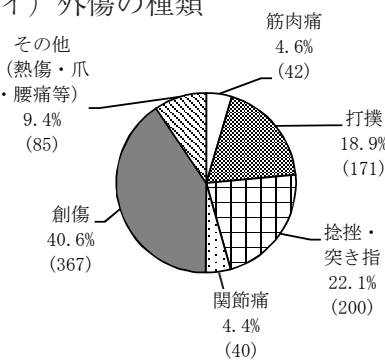


#### オ 外科 (延べ人数)

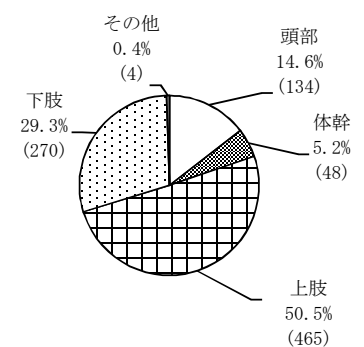
##### (ア) 受傷時間



##### (イ) 外傷の種類



##### (ウ) 受傷部位



#### (まとめ, その他)

- ・運動前健康診断を, 運動部大会前・朝のランニング参加者を対象に, 延べ468人の生徒に実施した。
- ・スポーツ医学相談(整形外科医担当)を各学期に1回実施し, 延べ16人の生徒が相談した。
- ・インフルエンザによる学級閉鎖を, 2クラスに対して行った。

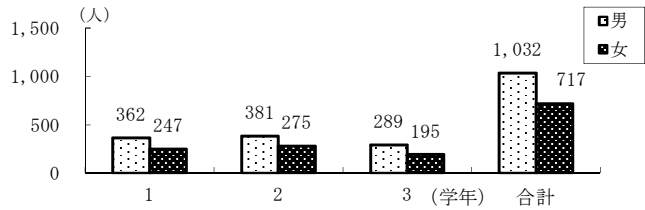


(4) 中等部分室

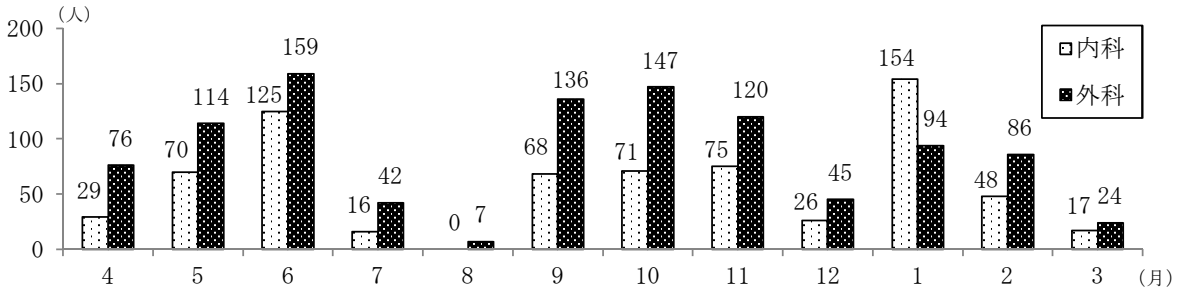
ア 在籍者数

	1年	2年	3年	合計(人)
男子	156	156	155	467
女子	96	95	96	287
計	252	251	251	754

イ 学年別来室者数

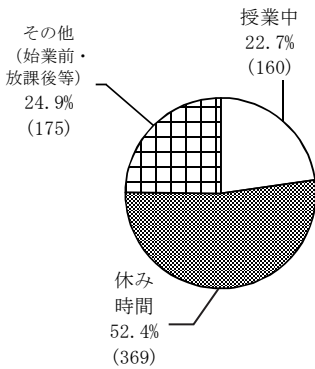


ウ 月別来室者数(内科・外科別)

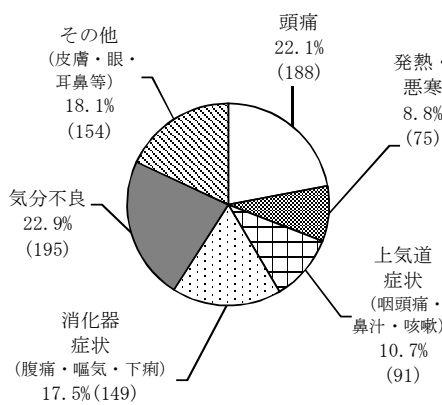


エ 内科(延べ人数)

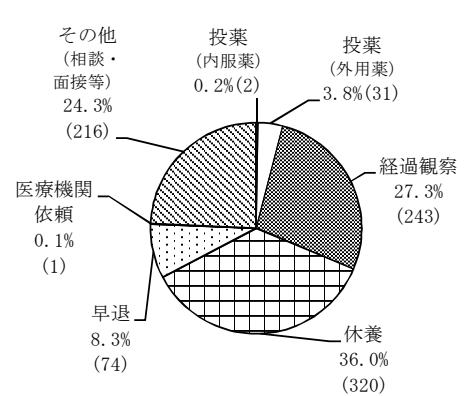
(ア) 来室時間



(イ) 主訴

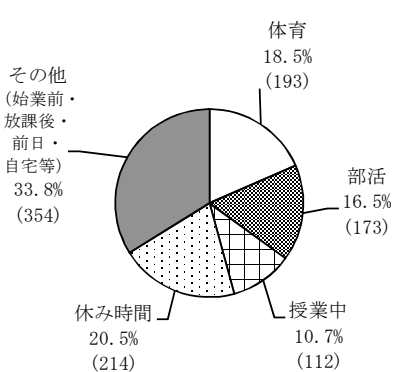


(ウ) 処置

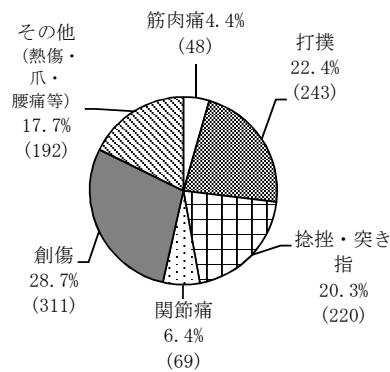


オ 外科(延べ人数)

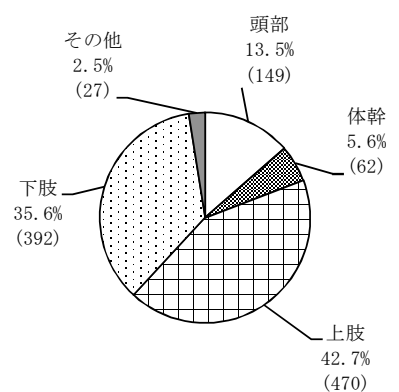
(ア) 受傷時間



(イ) 外傷の種類



(ウ) 受傷部位



(まとめ, その他)

- ・インフルエンザによる学級閉鎖を, 5クラスに対して行った。
- ・スポーツ医学相談(整形外科医担当)を各月に1回実施し, 延べ21件の相談があった。

(5) 湘南藤沢中等部・高等部分室

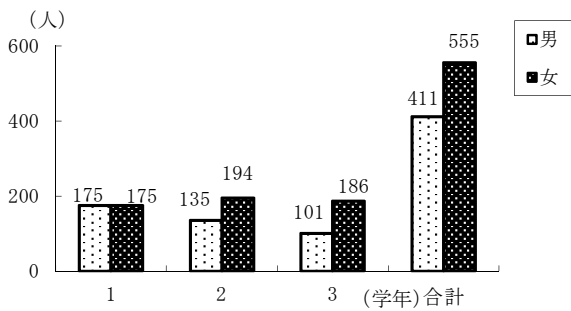
ア 在籍者数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計(人)
男子	89	86	89	121	120	123	628
女子	79	81	79	127	121	117	604
計	168	167	168	248	241	240	1,232

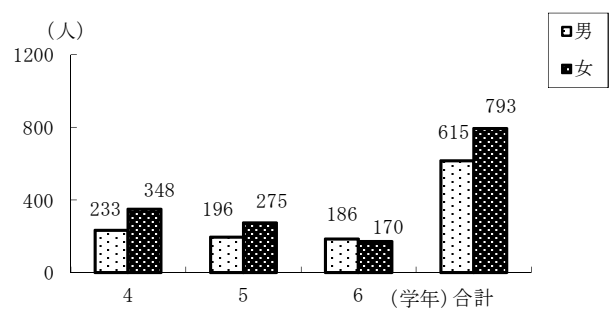
1～3年生：中学生  
4～6年生：高校生

イ 学年別来室者数

【中等部】

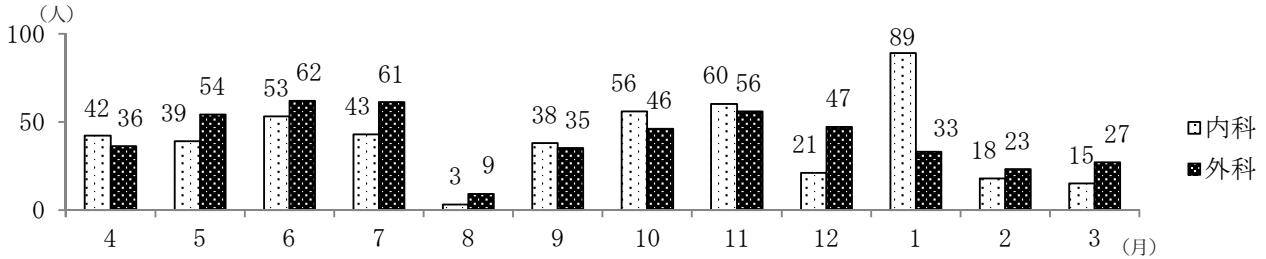


【高等部】

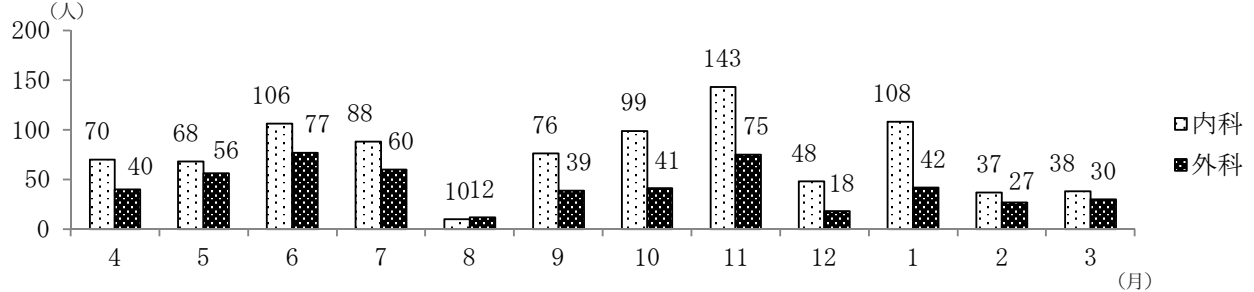


ウ 月別来室者数(内科・外科別)

【中等部】

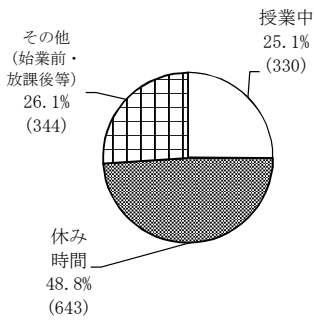


【高等部】

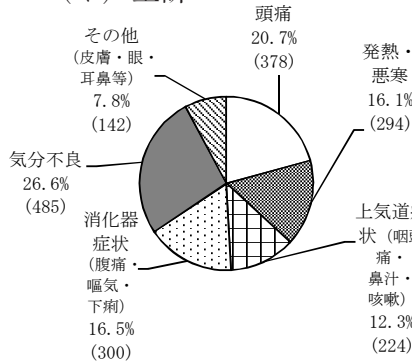


エ 内科（延べ人数）

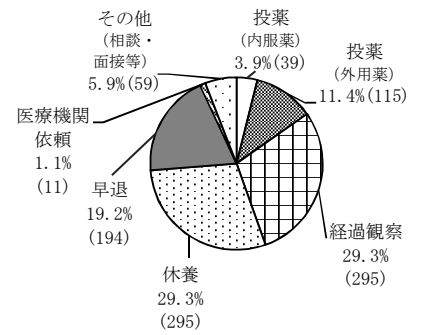
(ア) 来室時間



(イ) 主訴

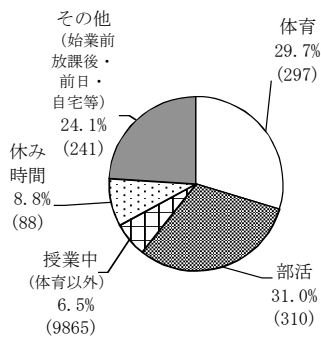


(ウ) 処置

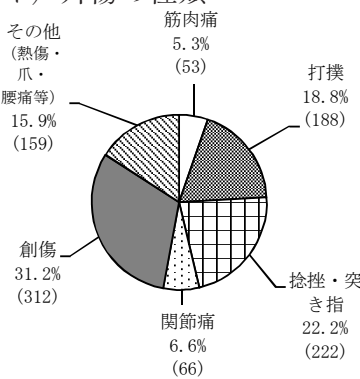


オ 外科（延べ人数）

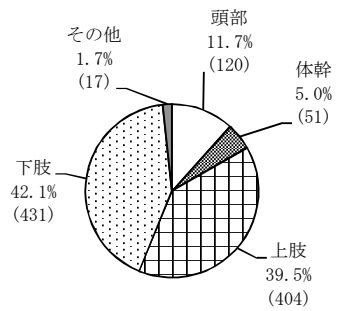
(ア) 受傷時間



(イ) 外傷の種類



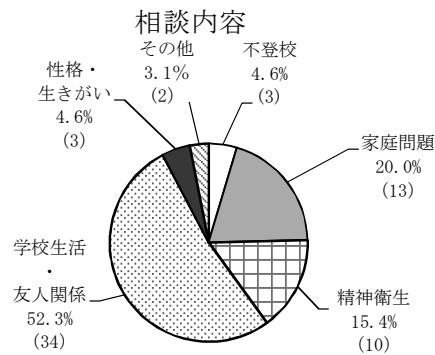
(ウ) 受傷部位



カ 精神保健相談（随時開設）カウンセリング（週3回開設）

事例数 65件  
 （事例に対する学年別内訳は76頁参照）

相談延べ件数 250件  
 （相談者実人数内訳は76頁参照）



(まとめ, その他)

- ・ 中等部生全員を対象に, 年2回の身長体重計測を行った。高等部生は外部からの入学生全員と, 昨年度と比較して体重増減が著明な生徒を対象に, 年2回の身長体重計測を行った。
- ・ スポーツメディカルチェックを全中等部生および大会前運動部員を対象に, 延べ502人に実施した。
- ・ スポーツ医学相談 (整形外科医担当) を年5回実施し, 延べ28件の相談があった。
- ・ インフルエンザによる学級閉鎖を, 中等部で5クラスに対して行った。

(6) 医療機関に依頼した外傷内訳（幼稚舎・横浜初等部・普通部・中等部・湘南藤沢中等部）

		骨折		創傷		捻挫		打撲		その他		合計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
幼稚舎	1年	2	1	3	1	0	0	2	0	9	2	16	4	20
	2年	0	1	1	0	0	1	1	0	2	2	4	4	8
	3年	2	1	1	0	0	0	0	0	5	1	8	2	10
	4年	0	0	2	1	1	2	1	0	4	1	8	4	12
	5年	2	0	0	0	0	1	0	3	4	4	6	8	14
	6年	6	2	1	2	3	1	4	2	1	2	15	9	24
	計	12	5	8	4	4	5	8	5	25	12	57	31	88
横浜初等部	1年	1	0	2	2	0	0	1	2	1	2	5	6	11
	2年	0	0	2	1	0	0	0	0	2	1	4	2	6
	3年	2	0	2	0	1	0	0	0	0	1	5	1	6
	4年	0	1	0	2	0	2	0	0	2	2	2	7	9
	5年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	3	1	6	5	1	2	1	2	5	6	16	16	32
普通部	1年	2	—	6	—	7	—	3	—	5	—	23	—	23
	2年	3	—	2	—	3	—	4	—	3	—	15	—	15
	3年	3	—	1	—	1	—	0	—	0	—	5	—	5
	計	8	—	9	—	11	—	7	—	8	—	43	—	43
中等部	1年	3	0	1	0	3	2	5	1	1	0	13	3	16
	2年	2	2	0	1	2	3	2	1	0	0	6	7	13
	3年	1	0	3	0	6	5	4	0	1	0	15	5	20
	計	6	2	4	1	11	10	11	2	2	0	34	15	49
湘南藤沢中等部	1年	7	2	2	1	0	1	3	2	2	2	14	8	22
	2年	4	1	2	2	2	0	0	0	1	0	9	3	12
	3年	0	1	1	0	0	1	2	0	0	2	3	4	7
	計	11	4	5	3	2	2	5	2	3	4	26	15	41

(7) 精神保健相談（幼稚舎・横浜初等部・普通部・中等部・湘南藤沢中等部・高等部）

	カウンセリング	事例数	事例に対する 学年別内訳	相談 延べ件数	相談者 実人数内訳		
幼稚舎	月1回開設 ※1	32	1年生	9人	7	児童	0人
			2年生	4人	4	保護者	20人
			3年生	4人	4	教員	12人
			4年生	4人	4	合計	32人
			5年生	8人	8		
			6年生	3人	7		
			合計	32人	34		
横浜初等部	月1回開設 ※1	12	1年生	6人	13	児童	0人
			2年生	1人	5	保護者	11人
			3年生	2人	3	教員	6人
			4年生	3人	7	合計	17人
			5年生	—人	—		
			6年生	—人	—		
			合計	12人	28		
普通部	週2回開設	10	1年生	2人	23	生徒	4人
			2年生	2人	72	保護者	13人
			3年生	6人	132	教員	14人
			合計	10人	227	合計	31人
中等部	週2回開設	17	1年生	4人	16	生徒	7人
			2年生	8人	47	保護者	14人
			3年生	5人	72	教員	19人
			合計	17人	135	合計	40人
湘南藤沢中等部 高等部	週3回開設	65	1年生	4人	7	生徒	40人
			2年生	6人	15	保護者	33人
			3年生	7人	25	教員	13人
			4年生	21人	93	合計	86人
			5年生	19人	59		
			6年生	8人	51		
			合計	65人	250		

※1 幼稚舎の「こころの発達相談」（精神科医担当）は、教員と保護者の相談を中心に実施している

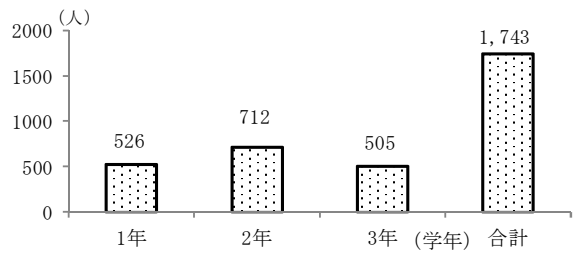
※2 横浜初等部の「精神保健相談」は、精神科医とカウンセラーが担当している

(8) 高等学校分室

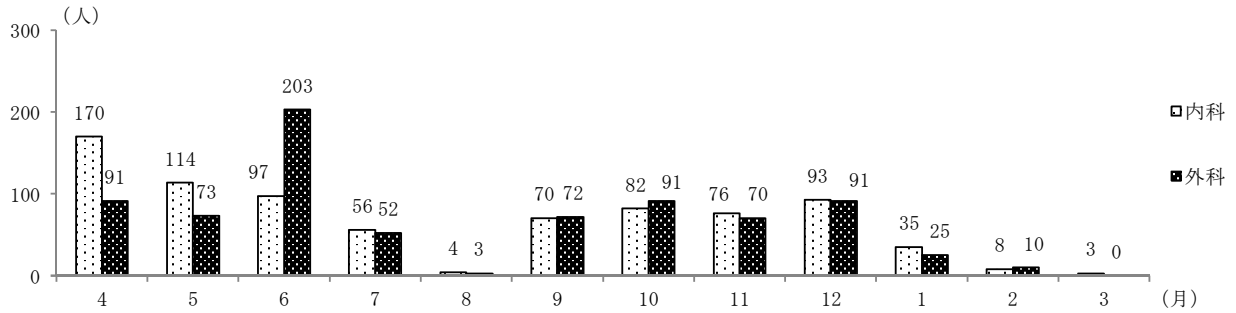
ア 在籍者数

	1年	2年	3年	合計
男子	714	710	701	2,125

イ 学年別来室者数

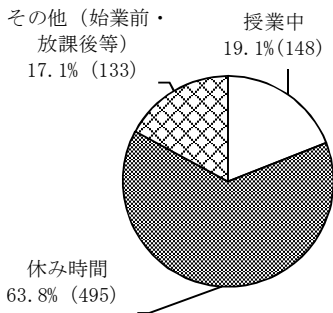


ウ 月別来室者数

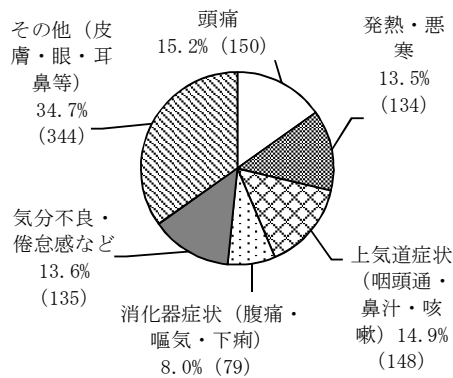


エ 内科

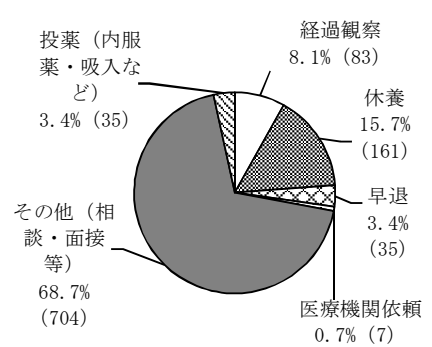
(ア) 来室時間



(イ) 主訴

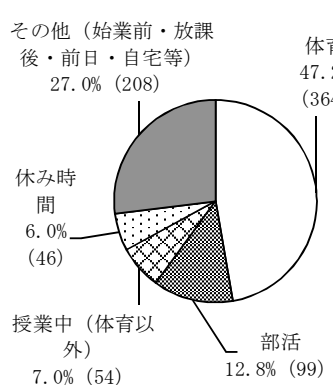


(ウ) 処置 (救急搬送1人)

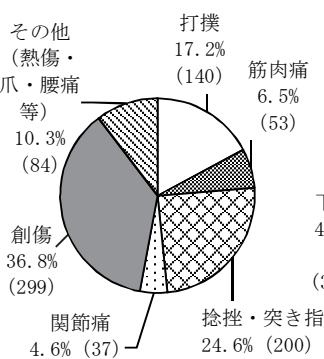


オ 外科

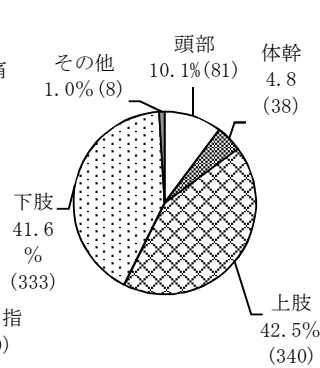
(ア) 受傷時間



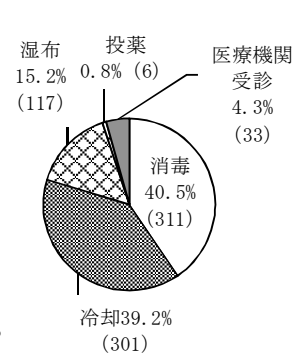
(イ) 外傷の種類



(ウ) 受傷部位



(エ) 処置 (救急搬送3人)



特記事項

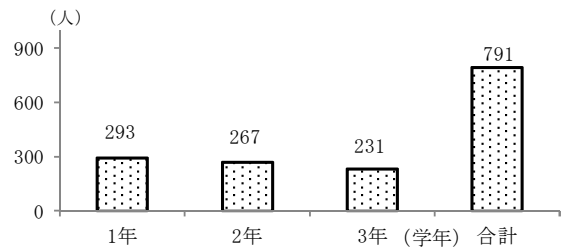
- ・来室者数は、昨年度より減少した。(1,899人→1,743人)
- ・インフルエンザによる登校許可証明書の提出人数は、167人であった。
- ・インフルエンザによる学級閉鎖はなかった。
- ・登校許可証明書の提出人数で、感染性胃腸炎は18人、水痘は1人、マイコプラズマは4人、流行性耳下腺炎は2人であった。

(9) 志木高等学校分室

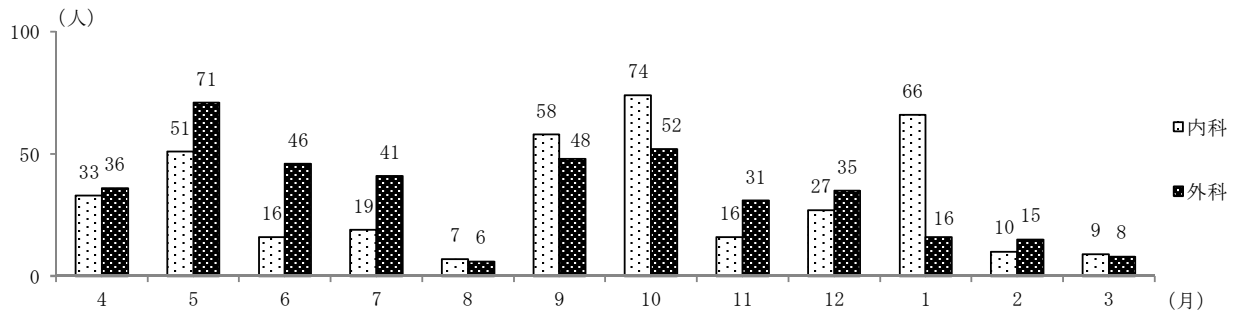
ア 在籍者数

	1年	2年	3年	合計
男子	257	283	280	820

イ 学年別来室者数

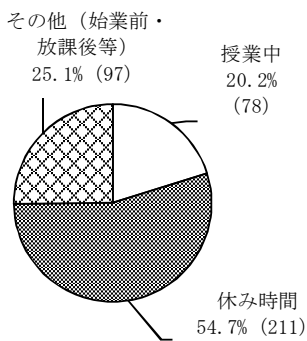


ウ 月別来室者数

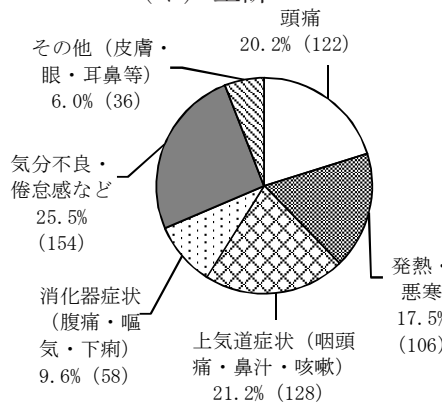


エ 内科 (延べ人数)

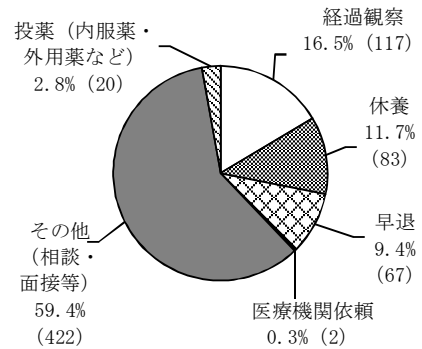
(ア) 来室時間



(イ) 主訴

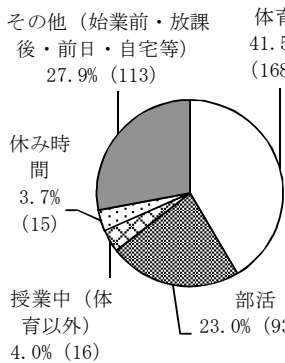


(ウ) 処置 (救急搬送 1人)

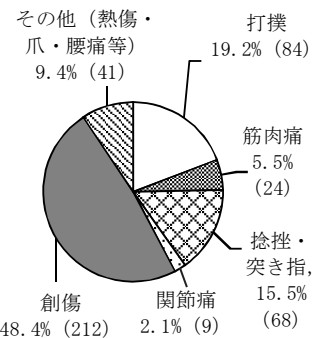


オ 外科 (延べ人数)

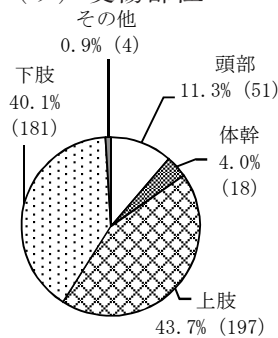
(ア) 受傷時間



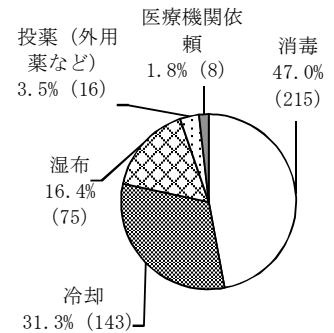
(イ) 外傷の種類



(ウ) 受傷部位



(エ) 処置 (救急搬送 2人)



特記事項

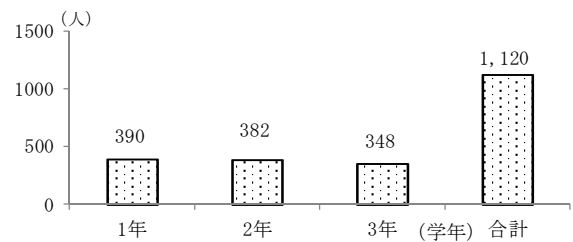
- ・来室者数は昨年度より増加した (728人→771人)。
- ・インフルエンザ罹患後の登校許可証明書の提出人数は92人で昨年度 (31人) より多かった。
- ・インフルエンザによる学級閉鎖を1クラスに対して行った。
- ・全校生徒における麻疹および風疹予防接種の接種率は麻疹95.8%, 風疹95.4%であった (罹患者を除く)。

(10) 女子高等学校分室

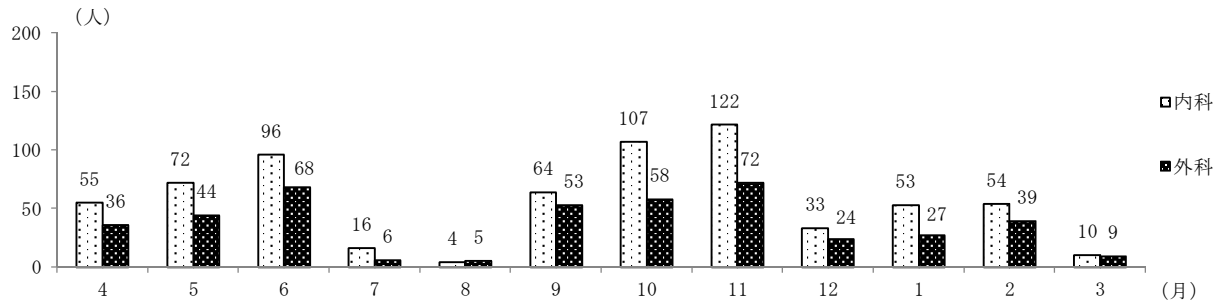
ア 在籍者数

	1年	2年	3年	合計
女子	205	211	195	611

イ 学年別来室者数

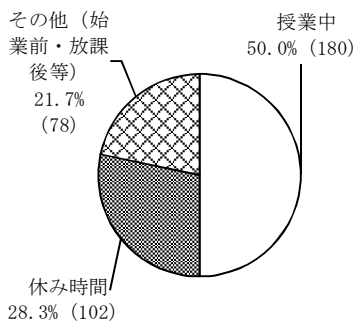


ウ 月別来室者数 (内科・外科別)

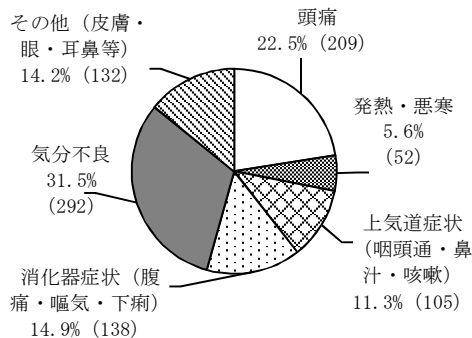


エ 内科

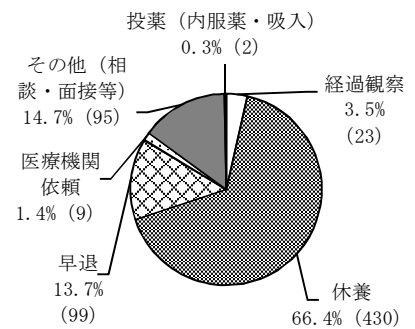
(ア) 来室時間



(イ) 主訴

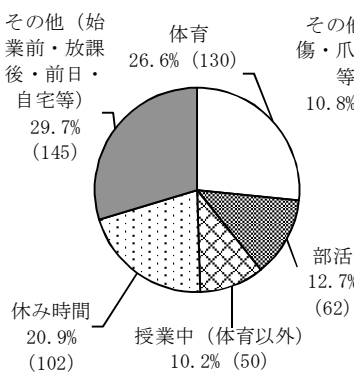


(ウ) 処置 (救急搬送0人)

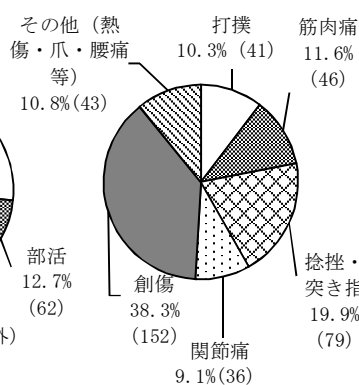


オ 外科

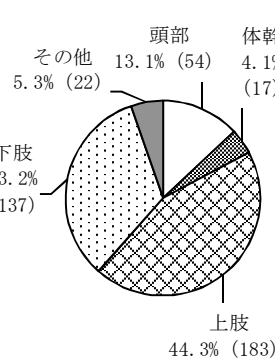
(ア) 受傷時間



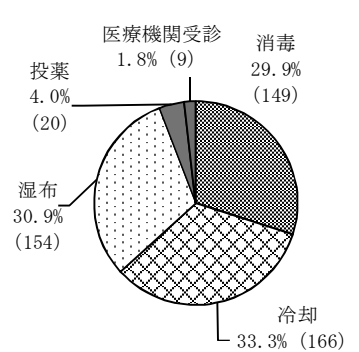
(イ) 外傷の種類



(ウ) 受傷部位



(エ) 処置 (救急搬送0人)



特記事項

- ・来室者数は、昨年度より減少した。(1,225人→1,127人)
- ・インフルエンザによる登校許可証明書の提出人数は、25人であった。
- ・インフルエンザによる学級閉鎖はなかった。
- ・登校許可証明書の提出人数で、感染性胃腸炎は6人、溶連菌感染症は1人、手足口病は1人であった。

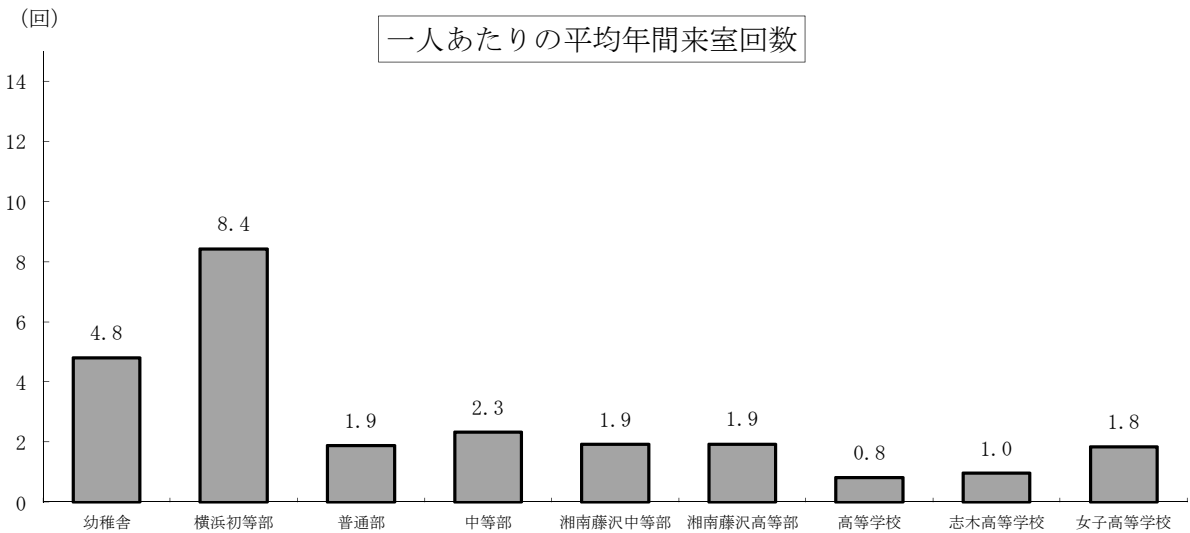
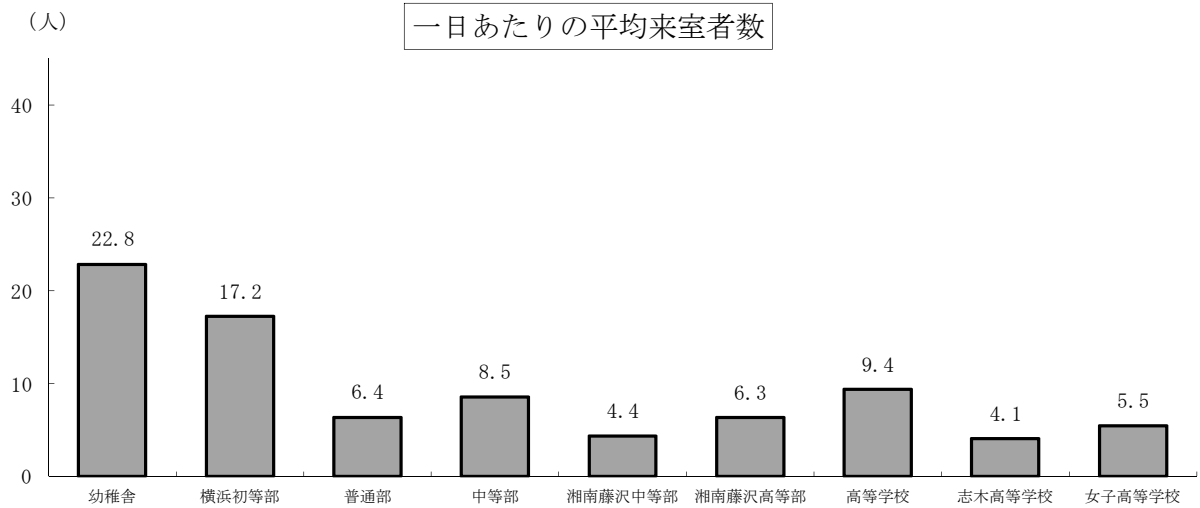
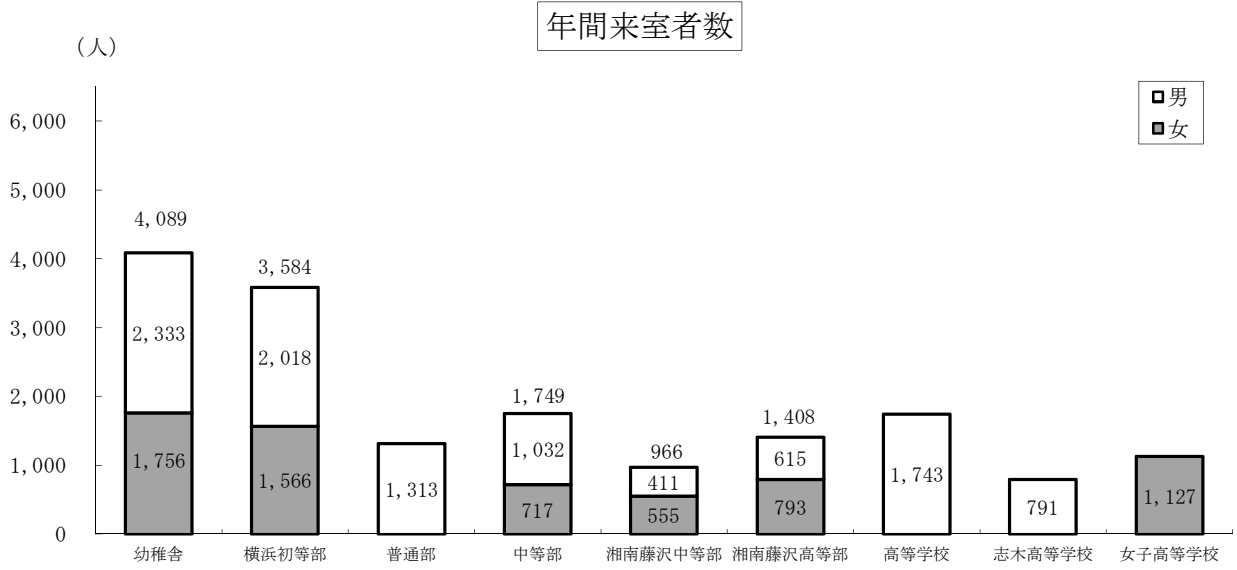
(11) 精神保健相談※（高等学校・志木高等学校・女子高等学校・湘南藤沢高等部）

	カウンセリング	事例数	事例に対する 学年別内訳		延べ 件数	相談者実人数内訳		相談内容	
高等学校	週5回開設	55	1年生	19人	169	生徒	29人	学校生活・友人関係	24件 43.6%
			2年生	20人	283	保護者	38人	家庭問題	10件 18.2%
			3年生	16人	209	教員	41人	精神衛生	4件 7.3%
			合計	55人	661	合計	108人	性格・生きがい	10件 18.2%
									不登校
								食事・ダイエット	0件 0.0%
								その他	5件 9.1%
志木 高等学校	週6回開設	33	1年生	15人	121	生徒	16人	学校生活・友人関係	15件 45.5%
			2年生	11人	97	保護者	22人	家庭問題	6件 18.2%
			3年生	7人	74	教員	31人	精神衛生	3件 9.1%
			合計	33人	292	合計	69人	性格・生きがい	8件 24.2%
									不登校
								食事・ダイエット	0件 0.0%
								その他	1件 3.0%
女子 高等学校	週2回開設	50	1年生	15人	72	生徒	45人	学校生活・友人関係	19件 38.0%
			2年生	23人	141	保護者	9人	家庭問題	11件 22.0%
			3年生	12人	98	教員	30人	精神衛生	6件 12.0%
			合計	50人	311	合計	84人	性格・生きがい	7件 14.0%
									不登校
								食事・ダイエット	6件 12.0%
								その他	0件 0.0%
湘南藤沢 高等部	週3回開設	48	1年生	21人	93	生徒	32人	学校生活・友人関係	22件 45.8%
			2年生	19人	59	保護者	22人	家庭問題	12件 25.0%
			3年生	8人	51	教員	4人	精神衛生	3件 6.3%
			合計	48人	203	合計	58人	性格・生きがい	3件 6.3%
									不登校
								食事・ダイエット	4件 8.3%
								その他	1件 2.1%

※ 精神科医師による相談対応状況  
 高等学校：なし  
 志木高等学校：月1回  
 女子高等学校：月1回  
 湘南藤沢高等部：随時

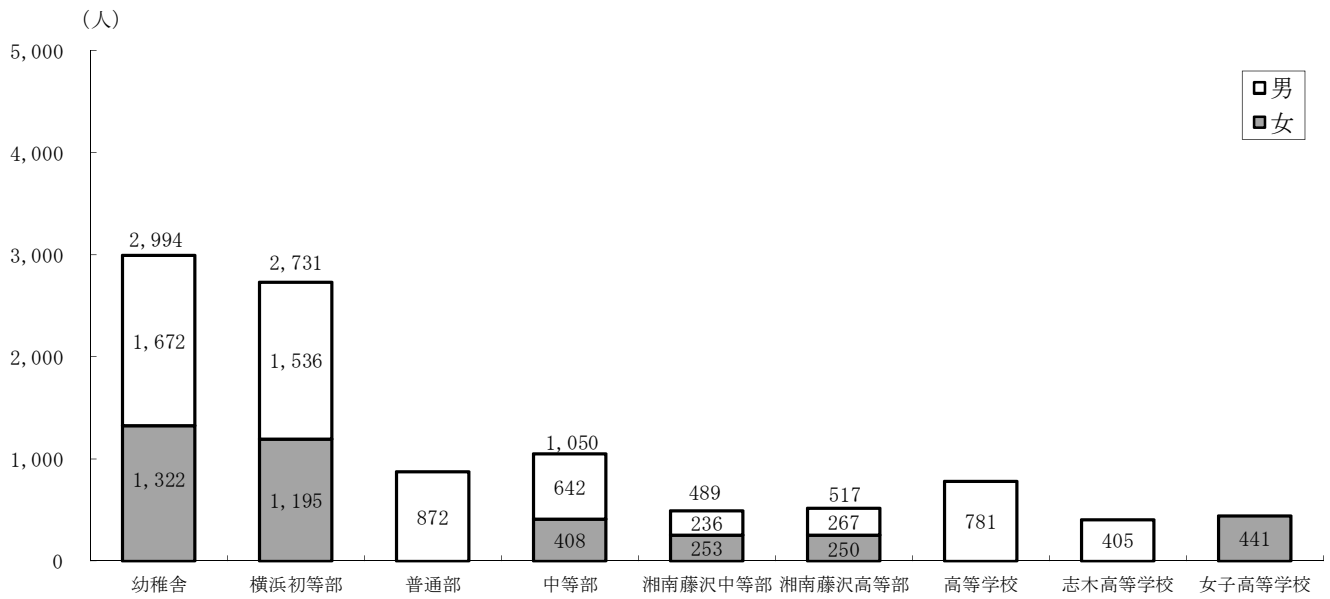


(12) 保健室利用一覽

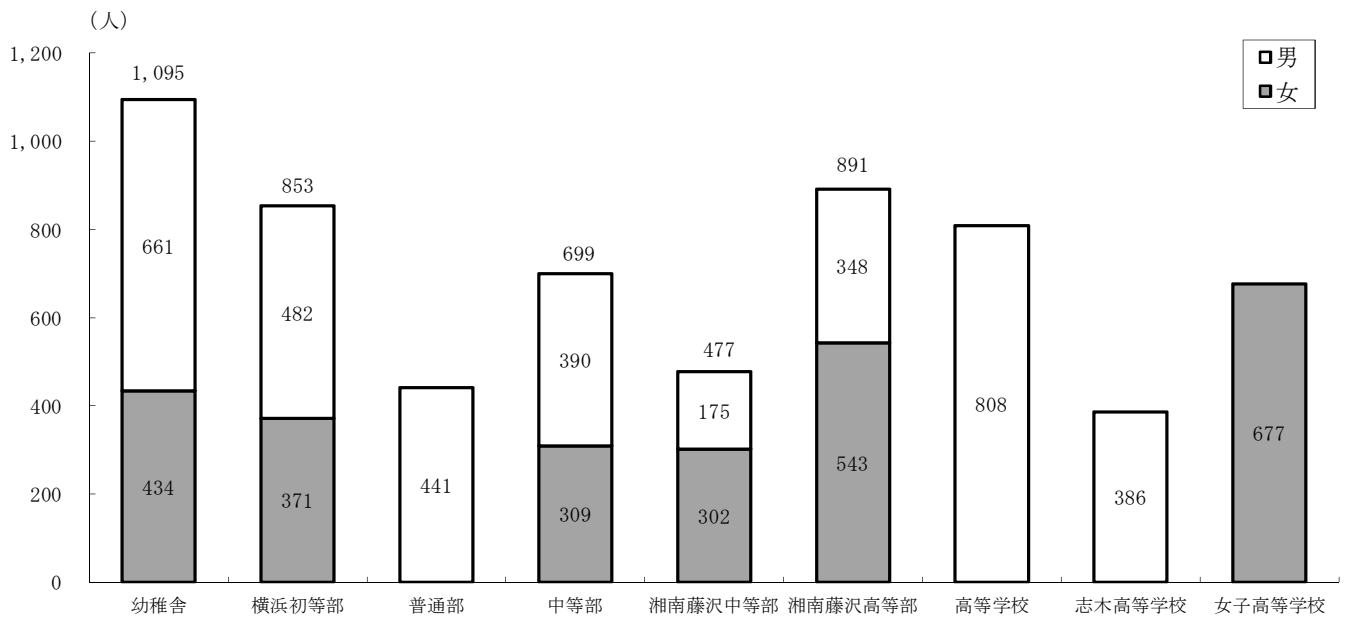


来室者数内訳

<外科>



<内科>







ウ 結核健康診断

(ア)問診票内容

- ①自覚症状（2週間以上の長引く咳や痰）
- ②本人の結核罹患歴
- ③本人の予防接種歴
- ④家族の結核罹患歴
- ⑤高蔓延国での居住歴（過去3年以内の6ヶ月以上の居住歴）
- ⑥BCG接種歴（未接種の者）

(イ)精密検査受検理由・結果報告

	幼稚園						横浜初等部				普通部			中等部			湘南藤沢中等部			合計	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年		
受検者総数	3	0	1	0	1	1	2	0	0	0	2	0	0	7	0	0	5	0	2	24	
受検理由	①	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑤	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4	0	2	10
	⑥	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	5	0	0	1	0	0	11
精密検査	ツベルクリン 反応検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	胸部X線 撮影	3	0	1	0	1	1	2	0	0	2	0	0	7	0	0	5	0	2	24	
	喀痰検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
結果	要医療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経過観察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	異常なし	3	0	1	0	1	1	2	0	0	2	0	0	7	0	0	5	0	2	24	

(2) 高校（高等学校・志木高等学校・女子高等学校・湘南藤沢高等学校）  
ア 保健統計調査

学年	人数	身体計測				裸眼視力※1				眼科	聴力	耳鼻咽喉		栄養※2		皮膚科		心臓				泌尿				その他の臓器・異常																	
		身長 (cm)	体重 (kg)	腹囲 (cm)	BMI	肥満度	右	左	右			左	眼疾患・異常	聴力低下※2	耳疾患・異常	鼻および副鼻腔疾患・異常	口腔咽喉頭疾患・異常	歯	歯列不正	栄養不良(やせ傾向)	肥満傾向	脊柱異常	胸郭異常	アトピー性皮膚炎	その他の皮膚疾患・異常		正常心雑音	心電図異常	心臓疾患・異常	潜血陽性	蛋白検出	糖検出											
高等学校	1年	711	169.4	58.9	—	20.5	0.3	170	41	72	22	186	29	76	15	21	2	41	47	4	224	84	74	54	173	47	1	6	6	0	0	0	4	12	4	0	2	0	0	3	4		
	2年	705	171.0	61.7	71.3	21.1	2.1	194	31	42	14	195	36	45	8	6	0	57	142	3	255	123	97	70	92	53	3	2	5	0	0	2	4	3	1	2	0	1	1	1			
	3年	697	171.7	63.6	—	21.6	3.1	178	26	48	16	182	33	43	11	100	6	52	104	12	231	199	60	114	72	57	1	1	7	1	0	1	7	3	2	1	0	0	1	0	1		
志木高等学校	合計	2113	170.7	61.4	71.3	21.1	1.8	542	98	162	52	563	98	164	34	127	8	150	293	19	710	406	231	238	337	157	5	9	18	1	0	7	23	10	3	5	0	4	6	4			
	%	257	169.2	57.7	71.2	20.2	-1.4	52	13	26	17	57	22	22	5	10	2	29	122	7	97	40	19	39	61	9	3	0	0	0	0	4	2	0	0	0	0	1	1	1			
	2年	281	171.2	61.5	73.0	20.9	1.5	58	22	19	9	54	24	18	11	26	0	23	134	14	78	21	10	28	34	15	2	2	0	1	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	4	4	
湘南藤沢高等学校	3年	280	171.6	62.4	73.6	21.1	1.0	52	23	21	7	61	15	20	7	26	2	22	99	12	83	27	19	30	35	19	1	1	0	0	0	7	0	1	0	0	0	2	2	2			
	合計	818	170.7	60.5	72.6	20.7	0.4	162	58	66	33	172	61	60	23	62	4	74	355	33	258	88	48	97	130	43	6	3	0	1	0	0	14	4	1	0	0	0	3	7	7		
	%	118	170.3	58.9	70.1	20.3	-1.0	35	8	12	5	38	12	9	1	0	0	14	1	1	22	8	18	3	22	5	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
女子高等学校	1年	119	171.1	61.1	—	20.9	1.2	31	5	3	0	32	2	4	1	1	0	10	1	2	30	5	16	9	10	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	2年	122	171.6	62.3	—	21.1	1.0	37	7	9	2	39	8	8	2	0	0	14	3	1	47	16	13	13	6	5	2	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1		
	3年	359	171.0	60.8	70.1	20.8	0.4	103	20	24	7	109	22	21	4	1	0	38	5	4	99	29	47	25	38	15	3	2	1	1	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	1	6	
女子高等学校	合計	203	157.1	51.7	—	19.8	-4.0	33	15	12	7	41	9	14	3	7	1	15	67	8	48	14	24	19	47	1	3	0	1	2	0	1	5	2	0	0	0	0	0	1	6	6	
	%	209	159.7	51.2	—	20.1	-3.9	45	9	10	4	46	11	12	0	3	0	13	50	5	77	13	39	15	32	0	2	0	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	4	4	
	2年	190	159.3	52.0	—	20.5	-1.8	29	7	19	4	32	8	16	3	5	2	13	33	2	63	10	31	14	27	7	5	0	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3
湘南藤沢高等学校	3年	602	159.3	51.0	0.0	20.1	-3.2	107	31	41	15	119	28	42	6	15	3	41	150	15	188	37	94	48	106	8	10	0	2	6	0	4	5	3	1	0	1	0	1	2	13	13	
	%	127	158.7	50.5	—	20.0	-2.7	26	3	3	6	29	2	4	3	0	0	5	24	0	37	13	29	13	28	2	4	0	0	3	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2.2
	2年	120	158.9	51.1	—	20.2	-3.2	27	4	3	1	26	5	6	0	0	0	6	16	0	47	18	21	15	17	5	5	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	4	4	
女子高等学校	3年	116	159.4	51.6	—	20.3	-2.7	15	3	5	1	14	4	4	2	0	1	4	13	0	38	17	23	7	14	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	合計	363	159.0	51.1	0.0	20.2	-2.9	68	10	11	8	69	11	14	5	0	1	15	53	0	122	48	73	35	59	7	13	0	0	4	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	8	8	
	%	363	159.0	51.1	0.0	20.2	-2.9	18.7	2.8	3.0	2.2	19.0	3.0	3.9	1.4	0.0	0.3	4.1	14.6	0.0	33.6	13.2	20.1	9.6	16.3	1.9	3.6	0.0	0.0	1.1	0.0	0.6	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	2.2	

身長計測以外の単位：人，下段は%

※1 矯正視力のみの生徒数は除く  
 ※2 肥満傾向：BMI2.5以上の者、栄養不良(やせ傾向)：BMI18.5未満の者  
 ※3 2次検査で各所見が検出(1+以上)された者

イ 生徒定期健康診断受診・管理状況

男子		高等学校				志木高等学校				湘南藤沢高等部男子			
		1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年	合計
対象者※1 (人)		711	705	699	2,115	257	282	281	820	119	119	122	360
受診者※2 (人)		711	705	697	2,113	257	281	280	818	118	119	122	359
(%)		100.0	100.0	99.7	99.9	100.0	99.6	99.6	99.8	99.2	100.0	100.0	99.7
検尿	再検査※3 (人)	27	12	11	50	3	0	3	6	4	1	3	8
	(%)	3.8	1.7	1.6	2.4	1.2	0.0	1.1	0.7	3.4	0.8	2.5	2.2
校医面接	(人)	6	8	4	18	0	0	1	1	0	0	0	0
	(%)	0.8	1.1	0.6	0.9	0.0	0.0	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
血圧	再検査※4 (人)	10	8	5	23	1	6	1	8	1	1	5	7
	(%)	1.4	1.1	0.7	1.1	0.4	2.1	0.4	1.0	0.8	0.8	4.1	1.9
	心電図※5 (人)	—	1	0	1	—	1	2	3	—	0	1	1
	(%)	—	0.1	0.0	0.0	—	0.4	0.7	0.4	—	0.0	0.8	0.3
校医面接	(人)	1	0	1	2	0	0	1	1	1	0	0	1
	(%)	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.4	0.1	0.8	0.0	0.0	0.3
血液検査	再検査※6 (人)	—	34	—	34	—	14	—	14	9	—	—	9
	(%)	—	4.8	—	1.6	—	5.0	—	1.7	7.6	—	—	2.5
校医面接	(人)	—	34	—	34	—	15	—	15	9	—	—	9
	(%)	—	4.8	—	1.6	—	5.0	—	1.8	7.6	—	—	2.5
心エコー検査 (人)		9	2	0	11	2	0	0	2	0	0	1	1
(%)		1.3	0.3	0.0	0.5	0.8	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.8	0.3
ホルター心電図 (人)		4	0	0	4	4	0	0	4	1	0	1	2
(%)		0.6	0.0	0.0	0.2	1.6	0.0	0.0	0.5	0.8	0.0	0.8	0.6
胸部X線検査	再検査 (人)	0	—	—	0	1	—	—	1	1	—	—	1
	(%)	0.0	—	—	0.0	0.4	—	—	0.1	0.8	—	—	0.3
	校医面接 (人)	0	—	—	0	1	—	—	1	1	—	—	1
	(%)	0.0	—	—	0.0	0.4	—	—	0.1	0.8	—	—	0.3

女子		女子高等学校				湘南藤沢高等部女子			
		1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年	合計
対象者※1 (人)		203	209	190	602	127	120	116	363
受診者※2 (人)		202	207	189	598	127	120	116	363
(%)		99.5	99.0	99.5	99.3	100.0	100.0	100.0	100.0
検尿	再検査※3 (人)	0	2	1	3	5	3	1	9
	(%)	0.0	1.0	0.5	0.5	3.9	2.5	0.9	2.5
校医面接	(人)	0	2	1	3	0	0	1	1
	(%)	0.0	1.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.9	0.0
血圧	再検査※4 (人)	1	0	0	1	0	1	5	6
	(%)	0.5	0.0	0.0	0.2	0.0	0.8	4.3	1.7
	心電図※5 (人)	—	0	0	0	—	1	3	4
	(%)	—	0.0	0.0	0.0	—	0.8	2.6	1.1
校医面接	(人)	1	0	1	2	0	1	5	6
	(%)	0.5	0.0	0.5	0.3	0.0	0.8	4.3	1.7
血液検査	再検査※6 (人)	29	—	—	29	5	—	—	5
	(%)	14.4	—	—	4.8	3.9	—	—	1.4
校医面接	(人)	29	—	—	29	7	—	—	7
	(%)	14.4	—	—	4.8	5.5	—	—	1.9
心エコー検査 (人)		2	0	0	2	0	0	0	0
(%)		1.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
ホルター心電図 (人)		3	0	0	3	1	1	1	3
(%)		1.5	0.0	0.0	0.5	0.8	0.8	0.9	0.8
胸部X線検査	再検査 (人)	0	—	—	0	0	—	—	0
	(%)	0.0	—	—	0.0	0.0	—	—	0.0
	校医面接 (人)	1	—	—	1	0	—	—	0
	(%)	0.5	—	—	0.2	0.0	—	—	0.0

※1 対象者は在籍者から留学中・休学中の者を除いた人数とした  
 ※2 受診者の%は受診者数/対象者数、各項目の%は該当人数/受診者数とした  
 ※3 検尿再検査の基準は尿蛋白(1+)以上または尿潜血(1+)以上または尿糖(1+)以上とした  
 ※4 血圧再検査における血圧測定基準は最大血圧140mmHg以上または最小血圧85mmHg以上とした  
 ※5 血圧再検査における心電図検査の基準は最大血圧160mmHg以上または最小血圧100mmHg以上、脈拍140回/分以上または50回/分未満のいずれかに該当する2・3年生とした  
 ※6 血液再検査は外部医療機関での実施とした

ウ 血液検査結果

学校名	高等学校		志木高等学校		湘南藤沢高等部男子		女子高等学校		湘南藤沢高等部女子	
対象者(学年)	2年生		2年生		1年生		1年生		1年生	
受診者数(人)	622		272		111		194		124	
LDLコレステロール高値 (140mg/dl以上)	15	2.4%	18	6.6%	1	0.9%	20	10.3%	7	5.6%
HDLコレステロール低値 (40mg/dl未満)	11	1.8%	0	0.0%	2	1.8%	1	0.5%	1	0.8%
尿酸高値 (7.1mg/dl以上)	83	13.3%	39	14.3%	19	17.1%	1	0.5%	0	0.0%
クレアチニン高値 (男1.01mg/dl以上 女0.80mg/dl以上)	20	3.2%	4	1.5%	5	4.5%	4	2.1%	0	0.0%
ヘモグロビン低値 (男13.0g/dl未満 女11.3g/dl未満)	5	0.8%	1	0.4%	2	1.8%	7	3.6%	4	3.2%
甲状腺抗体陽性 (100倍以上)	—		—		—		7		3.6%	





## Ⅱ 資料編 第3．感染症対策

1. 結核接触者健康診断
2. 結核スクリーニング
3. ウイルス性疾患抗体価検査  
(麻疹・流行性耳下腺炎・風疹・水痘)
4. 予防接種
5. 血液曝露対応 年間対応数および事後措置
6. 学外施設実習前便培養検査



# 1. 結核接触者健康診断（感染症法第17条）

目的：感染症，特に結核の発生を予防し，そのまん延の防止を図り，公衆衛生の向上及び増進を図ること  
 対象：就業，就学中に結核患者と濃厚な接触があった者

## (1) 検査結果および転機

地区	患者発生年月	結核患者 接触者数 (人)	インターフェロン $\gamma$ 遊離試験 (IGRA; Interferon-Gamma Release Assay) 検査 <sup>※1</sup> (人)		重点観察 (人)	潜在性結核感 染症治療 (人)	医療機関紹介 (人)
			2回法				
			ベースライン 検査 <sup>※2</sup>	接触後8～12週 以降検査 <sup>※3</sup>			
信濃町	2015年6月 <sup>※4</sup>	1	0	1	0	0	0
	2015年6月 <sup>※4</sup>	1	1	1	0	0	0
	2016年2月	9	5	9	0	0	0
合計		11	6	11	0	0	0

※1 QuantiFERON-TB<sup>®</sup>検査(QFT)。過去に結核治療歴のある者，またはQFT陽性歴のある者は検査対象から除外となる

※2 医療関係者のみ実施。発生時から1年以内にベースライン値を検査している場合はその値をベースラインとするため検査対象外である

※3 ベースライン検査で陽性となった場合は，接触後8～12週以降検査は行わない

※4 他医療機関での業務中に結核患者と接触した医師

## 2. 結核スクリーニング

### (1) 対象および地区別受検者数

	対 象
本部	医学部1年生
	薬学部薬学科1年生
信濃町分室	医学研究科（博士課程）1年生
	新規採用者（2016年4月～2017年3月の雇入時健診受診者）
	ハイリスク部署所属者 <sup>※</sup>
湘南藤沢分室	看護医療学部1年生，2年次編入の2年生
	健康マネジメント研究科（看護学専修）修士課程1年生，博士課程1年生
芝共立分室	薬学部薬学科1年次未了者，転科生

	本部	信濃町分室	湘南藤沢分室	芝共立分室	合計 (件)
学生	283	85	122	6	496
教職員	—	716	—	—	716

※ 慶應義塾大学病院感染制御センターが対象者を決定する

### (2) IGRA（インターフェロン $\gamma$ 遊離試験；Interferon-Gamma Release Assay） 検査結果

	実施者 (人)	陰性		判定保留		陽性		判定不可 <sup>※3</sup>	
		人	%	人	%	人	%	人	%
本部 <sup>※1</sup>	283	278	98.2	3	1.1	0	0.0	2	0.7
信濃町分室 <sup>※2</sup>	788	749	95.1	29	3.7	8	1.0	2	0.3
湘南藤沢分室 <sup>※1</sup>	122	121	99.2	0	0.0	1	0.8	1	0.8
芝共立分室 <sup>※1</sup>	6	6	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合 計	1,199	1,154	96.2	32	2.7	9	0.8	5	0.4

※1 T-spot検査

※2 QuantiFERON-TB<sup>®</sup>検査

※3 コントロール抗原に対する反応性が基準に満たない場合

※4 2014年度より，信濃町分室以外はT-spot検査を実施した

### (3) IGRA検査後措置件数<sup>※1</sup>

	再検査	重点経過 観察者 <sup>※2</sup>	潜在性結核 感染治療 <sup>※3</sup>	医療機関紹介
本部	0	0	0	5
信濃町分室 <sup>※4</sup>	24	6	3	1
湘南藤沢分室	0	0	0	1
芝共立分室	0	0	0	0
合 計	24	6	3	7

※1 IGRA検査の結果により再検査，重点観察者，潜在性結核感染治療，医療機関紹介の事後措置を行う

※2 2年間にわたる6ヶ月ごとの胸部X線検査

※3 9ヶ月間のイソニアジド投与

※4 信濃町分室では事後措置が重複している者を含むため延べ件数である

### 3. ウイルス性疾患抗体価検査（麻疹・流行性耳下腺炎・風疹・水痘）

#### (1) 大学

対象および地区別受検者数，結果

対象	
日吉本部	医学部1年生 薬学部薬学科1年生
信濃町分室	医学部6年生
湘南藤沢分室	看護医療学部1年生，2年次編入の2年生 健康マネジメント研究科(看護学専修/修士課程1年生・博士課程1年生， 医療マネジメント専修/該当者，スポーツマネジメント専修/該当者)
芝共立分室	薬学部薬学科1年次未了者，転科生

		検査項目	判定	実施者 (人)	陰性		判定保留		陽性		ワクチン推奨者		ワクチン実施者 <sup>※1</sup>	
					人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
日吉本部	2016年4月 実施	麻疹	IgG/EIA <sup>※2</sup>	283	0	0.0	7	2.5	276	97.5	174	61.5	21	12.1
		流行性耳下腺炎	IgG/EIA	283	21	7.4	76	26.9	186	65.7	97	34.3	89	91.8
		風疹	IgG/EIA	283	4	1.4	15	5.3	264	93.3	81	28.6	33	40.7
		水痘	IgG/EIA	283	5	1.8	17	6.0	261	92.2	84	29.7	78	92.9
信濃町分室	2016年4月 実施	麻疹	IgG/EIA	110	0	0.0	1	0.9	109	99.1	59	53.6	11	18.6
		流行性耳下腺炎	IgG/EIA	110	3	2.7	35	31.8	72	65.5	38	34.5	22	57.9
		風疹	IgG/EIA	110	0	0.0	9	8.2	101	91.8	38	34.5	13	34.2
		水痘	IgG/EIA	110	2	1.8	6	5.5	102	92.7	23	20.9	8	34.8
湘南藤沢分室	2016年4～5月 実施	麻疹	IgG/EIA	174	0	0.0	3	1.7	171	98.3	82	47.1	11	13.4
		流行性耳下腺炎	IgG/EIA	174	0	0.0	58	33.3	116	66.7	58	33.3	23	39.7
		風疹	IgG/EIA	174	0	0.0	7	4.0	167	96.0	32	18.4	15	46.9
		水痘	IgG/EIA	174	0	0.0	14	8.0	160	92.0	40	23.0	13	32.5
芝共立分室	2016年4月 実施	麻疹	IgG/EIA	6	0	0.0	0	0.0	6	100.0	1	16.7	1	100.0
		流行性耳下腺炎	IgG/EIA	6	2	33.3	0	0.0	4	66.7	2	33.3	2	100.0
		風疹	IgG/EIA	6	0	0.0	0	0.0	6	100.0	2	33.3	0	0.0
		水痘	IgG/EIA	6	0	0.0	0	0.0	6	100.0	2	33.3	2	100.0

※1 ワクチン推奨者に対する割合

※2 EIA；酵素免疫抗体法 Enzyme Immunoassay

#### 判定基準および事後処置<sup>※1</sup>

検査実施施設 <sup>※2</sup> 株式会社SRL	検査項目	陰性	判定保留	陽性	ワクチン推奨値 <sup>※4</sup>
	麻疹	IgG/EIA <sup>※3</sup>	2.0未満	2.0～3.9	4.0以上
流行性耳下腺炎	IgG/EIA	2.0未満	2.0～3.9	4.0以上	4.0未満
風疹	IgG/EIA	2.0未満	2.0～3.9	4.0以上	8.0未満
水痘	IgG/EIA	2.0未満	2.0～3.9	4.0以上	8.0未満

※1 陰性，陽性はSRLで使用されているキットの判定基準による(2)一貫教育校の判定基準と異なる  
また，ワクチン推奨値とも異なる

※2 信濃町分室は，慶應義塾大学病院中央臨床検査部を通して株式会社SRLで検査を行っている

※3 EIA；酵素免疫抗体法 Enzyme Immunoassay

※4 慶應義塾大学病院感染制御センターによるワクチン接種推奨値。結果及び診断基準を個人に返却した際，ワクチン推奨値の者には該当ワクチンを外部医療機関で接種するよう保健管理センターより指導し，ワクチン接種した者からワクチン接種証明書を出してもらっている。2016年度検査より，麻疹が8.0未満→16.0未満，風疹が4.0未満→8.0未満へ変更になった。ただし，過去に2回ワクチンを接種している場合には，追加の接種は不要としている

## (2) 一貫教育校

対象および地区別受検者数，結果

対象者	
幼稚舎	1年生
横浜初等部	1年生
普通部	1年生，2年生（1年時未了の希望者）
中等部	1年生，2年生（1年時未了の希望者）
湘南藤沢中等部	1年生，2年生（1年時未了の希望者）
湘南藤沢高等部	1年生，2年生（1年時未了の希望者）

		判定 検査項目	実施者 (人)	陰性		陽性	
				人	%	人	%
幼稚舎	2016年4月	麻疹 IgG/EIA	142	3	2.1	139	97.9
		流行性耳下腺炎 IgG/EIA	142	54	38.0	88	62.0
		風疹 HI <sup>※3</sup>	142	0	0.0	142	100.0
		水痘 IgG/EIA	142	76	53.5	66	46.5
横浜初等部	2016年4月	麻疹 IgG/EIA	107	0	0.0	107	100.0
		流行性耳下腺炎 IgG/EIA	107	43	40.2	64	59.8
		風疹 HI	107	0	0.0	107	100.0
		水痘 IgG/EIA	107	48	44.9	59	55.1
普通部	2016年4月	麻疹 IgG/EIA	233	5	2.1	228	97.9
		流行性耳下腺炎 IgG/EIA	233	111	47.6	122	52.4
		風疹 HI	233	2	0.9	231	99.1
		水痘 IgG/EIA	233	35	15.0	198	85.0
中等部	2016年4月	麻疹 IgG/EIA	250	5	2.0	245	98.0
		流行性耳下腺炎 IgG/EIA	250	93	37.2	157	62.8
		風疹 HI	250	0	0.0	250	100.0
		水痘 IgG/EIA	250	36	14.4	214	85.6
湘南藤沢中等部	2016年4月	麻疹 IgG/EIA	164	10	6.1	154	93.9
		流行性耳下腺炎 IgG/EIA	164	72	43.9	92	56.1
		風疹 HI	164	0	0.0	164	100.0
		水痘 IgG/EIA	164	18	11.0	146	89.0
湘南藤沢高等部	2016年4月	麻疹 IgG/EIA	235	10	4.3	225	95.7
		流行性耳下腺炎 IgG/EIA	235	78	33.2	157	66.8
		風疹 HI	235	1	0.4	234	99.6
		水痘 IgG/EIA	235	22	9.4	213	90.6

### 判定基準および事後措置<sup>※1</sup>

北里生命科学研究所 ウイルス感染制御学 研究室 I	検査項目	陰性 <sup>※2</sup>	陽性
	麻疹 IgG/EIA	4.0未満	4.0以上
流行性耳下腺炎 IgG/EIA	4.0未満	4.0以上	
風疹 HI <sup>※3</sup>	8倍未満	8倍以上	
水痘 IgG/EIA	4.0未満	4.0以上	

※1 北里生命科学研究所で使用されているキットの判定基準による(1)大学の判定基準と異なる

※2 結果および診断基準を個人に返却した際，陰性者には該当ワクチンを外部医療機関で接種するよう衛生室または保健室で指導し，ワクチン接種が済んだ児童・生徒から，罹患調査・予防接種調査で報告を受けている

※3 HI;赤血球凝集反応 Hemagglutination Inhibition

(3) 教職員

対象および地区別受検者数，結果

信濃町分室	対象
	人事異動で他地区から信濃町地区へ異動となった教職員

信濃町分室	2016年4月～ 2017年3月	判定		実施者 (人)	陰性		判定保留		陽性		ワクチン推奨者	
		検査項目			人	%	人	%	人	%	人	%
		麻疹	IgG/EIA <sup>※2</sup>	15	0	0.0	1	6.7	14	93.3	4	26.7
流行性耳下腺炎	IgG/EIA	15	0	0.0	8	53.3	7	46.7	8	53.3		
風疹 <sup>※1</sup>	HI <sup>※3</sup>	15	0	0.0			15	100.0	6	40.0		
水痘	IgG/EIA	15	0	0.0	1	6.7	14	93.3	4	26.7		

※1 2012年9月より教職員は風疹の検査法をIgG/EIAからHIに変更した

※2 EIA；酵素免疫抗体法 Enzyme Immunoassay

※3 HI；赤血球凝集反応 Hemagglutination Inhibition

判定基準および事後処置

慶應義塾大学病院 中央臨床検査部	検査項目		陰性	判定保留	陽性	ワクチン推奨値 <sup>※4</sup>
	麻疹	IgG/EIA	2.0未満	2.0～3.9	4.0以上	16.0未満
流行性耳下腺炎	IgG/EIA	2.0未満	2.0～3.9	4.0以上	4.0未満	
風疹	IgG/EIA	2.0未満	2.0～3.9	4.0以上	8.0未満	
	HI	8倍未満		8倍以上	32倍未満	
水痘	IgG/EIA	2.0未満	2.0～3.9	4.0以上	8.0未満	

※4 慶應義塾大学病院感染制御センターによるワクチン接種推奨値。各個人へ保健管理センターより結果，診断基準およびワクチン推奨値の者に対する該当ワクチン接種の勧告を送付した。2016年度検査より，麻疹が8.0未満→16.0未満，風疹が4.0未満→8.0未満／8倍未満→32倍未満へ変更になった。

## 4. 予防接種

### (1) B型肝炎ワクチン

#### ア 対象者

対 象		使用ワクチン
本部	医学部1年生, 薬学部薬学科1年生	組換え沈降B型肝炎ワクチン ヘプタバックスII: MSD株式会社
信濃町分室	臨床業務に関わる教職員(主に新規採用者) 医学部2~6年生, 修士1年生, 博士1年生	
湘南藤沢分室	看護医療学部1年生, 2年次編入の2年生, 健康マネジメント研究科(看護学専修)修士課程1年生, 博士課程1年生	
芝共立分室	薬学科2年生, 転科した薬学科生および学事上必要な薬科学科生	

事前のHBs抗原抗体検査を行い、両者とも陰性の場合ワクチン接種を行う。

#### イ 地区別B型肝炎ワクチン接種人数, 副作用

	接種対象者数 (申込み数)	接種人数			1, 2, 3回接種者延べ 人数	3回完遂 接種人数	3回 接種率 (%)	副作用 人数 <sup>※1</sup>	
		1回目	2回目	3回目					
本部	基礎接種<3回接種> (5~12月)	250	250	245	245	740	245	98.0	8
	追加接種<1回接種> (通年)	10	10	—	—	—	—	—	0
信濃町分室	基礎接種<3回接種> (6~12月)	36 <sup>※2</sup>	36	36	35	107	35	97.2	2
	追加接種<1回接種> (通年)	97 <sup>※2</sup>	97	4	1	—	—	—	2
湘南藤沢分室	基礎接種<3回接種> (5~12月)	88	88	88	88	264	88	100.0	1
	追加接種<1回接種> (通年)	11	11	—	—	—	—	—	0
芝共立分室	基礎接種<3回接種> <sup>※3</sup> (5~12月)	12	12	12	11	35	11	91.7	0
	追加接種<1回接種> (通年)	6	6	—	—	—	—	—	0

※1 主な副作用症状は疼痛, 発赤, 掻痒感, 腫脹, 熱感で, 重篤な副作用の報告はなかった

※2 定期健診・雇入時健診の結果による。その他, 実習, 業務等で所属長から必要と認められた場合に実施した

※3 薬学部4年生(前年度未了者, 薬科学科より薬学科へ転学科した学生, 実習, 研究等で必要と認められた学生)

#### ウ B型肝炎抗体獲得確認検査

	検査数 (人)	陰性		陽性		
		人	%	人	%	
本部	基礎接種前検査 (4~5月)	283	257	90.8	26	9.2
	基礎接種後抗体獲得確認検査 (1月)	246	30	12.2	216	87.8
	追加接種後抗体獲得確認検査 (通年)	10	2	20.0	8	80.0
信濃町分室	基礎接種前検査 (4~5月)	548	208	38.0	340	62.0
	教職員健診抗体獲得確認検査 (9月)	3,584	1,404	39.2	2,180	60.8
	基礎接種後抗体獲得確認検査 (1月)	28	6	21.4	22	78.6
	追加接種後抗体獲得確認検査 (通年)	67	8	11.9	59	88.1
湘南藤沢分室	基礎接種前検査 (4~5月)	122	100	82.0	22	18.0
	基礎接種後抗体獲得確認検査 (1月)	88	3	3.4	85	96.6
	追加接種後抗体獲得確認検査 (通年)	12	1	8.3	11	91.7
芝共立分室	基礎接種前検査 (4月)	10	10	100.0	0	0.0
	基礎接種後抗体獲得確認検査 (11月)	12	0	0.0	12	100.0
	追加接種後抗体獲得確認検査 (通年)	6	0	0.0	6	100.0

※本部, 湘南藤沢分室, 芝共立分室ではCLEIA法, 信濃町分室ではCLIA法で実施した。

	単位	陰性	陽性
HBs抗体[CLEIA <sup>※1</sup> ]	mIU/ml	10.0未満	10.0以上
HBs抗体[CLIA <sup>※2</sup> ]	mIU/ml	10.0未満	10.0以上

検査種別	検査項目
基礎接種前検査	HBs抗体, HBs抗原
基礎接種後抗体獲得確認検査	HBs抗体

※1 CLEIA:化学発光酵素免疫測定法 Chemiluminescent Enzyme Immunoassay

※2 CLIA:化学発光免疫測定法 Chemiluminescent immunoassay

### (2) インフルエンザワクチン (信濃町地区)

インフルエンザワクチン接種 接種者 3,681人

対象 慶應義塾大学病院職員, 院内に出入りする大学教職員, 病院実習を行っている医学部生・看護医療学部生・薬学部生, その他院内で勤務する者のうち希望者。すべて有料で行った

期間 2016年10月26日~31日, 11月1~2日 (慶應義塾大学病院感染制御センター主催, 保健管理センターも企画, 準備, 実施に関与)  
上記期間に体調不良, 公用などの理由で接種できなかった者に, 11月14日~25日の間, 保健管理センターで診療時間中に随時接種を行った



## 5. 血液曝露対応 年間対応数および事後措置

慶應義塾大学病院に勤務する教職員または実習を行う学生等が血液曝露を被った場合に対応する。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
曝露報告者 (人)		9	10	5	5	10	3	3	5	3	10	3	7	73
曝露時血液検査数	報告者 (人)	7	5	4	5	5	2	2	3	3	7	3	5	51
	曝露血液源者※1 (人)	6	6	4	2	5	2	3	4	2	9	2	6	51
B型肝炎対策	ヘブスブリン投与 (件)	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	B型肝炎ワクチン接種 (件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
HIV対策※2	予防内服 (件)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
梅毒対策※3	予防内服 (件)	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	3
血液検査フォローアップ検査指示数 (件)	実数	5	4	2	4	5	2	2	1	2	3	3	2	35
	B型肝炎	2	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	7
	C型肝炎	5	4	1	3	5	1	2	1	2	3	3	2	32
	梅毒	5	4	0	4	3	2	2	1	2	3	3	2	31
HIV感染症		5	4	0	3	3	1	2	1	2	3	3	2	29
フォローアップ血液検査※4受検者数 (人)		13	15	11	13	15	11	14	10	8	10	7	8	135

※1 1件の報告に対し複数のこともある。また、対象者より同意が得られなかった場合は施行しない

※2 HIV;ヒト免疫不全ウイルス Human Immunodeficiency Virus

ツルバダ(エムトリシタピン200mg/テノホビルジソプロキシルフマル酸塩300mgの合剤) 1錠/日、

アイセントレス (400mg) 2錠/日 の2剤を28日間投与

曝露程度、感染源のウイルス量、妊娠、またはツルバダの副作用出現などの状況で投薬内容を変更する場合もある

※3 サワシリン(250mg) 3錠/日 7日間投与

※4 該当感染源に対する感染が成立したかどうかを確認する血液検査。事故発生後6ヶ月まで毎月、および12ヶ月後に行う感染が確認された場合、医療機関を紹介する（梅毒は2ヶ月のフォローアップで打ち切り）

## 6. 学外施設実習前便培養検査

対象、検査内容、地区別受験者数および事後措置

対象	
本部	医学部EEP※1実習予定者
湘南藤沢分室	看護医療学部実習予定者

※1 EEP;Early Exposure Programs

対象菌種	赤痢菌, 腸管出血性大腸菌O-157, コレラ菌, サルモネラ属等
------	-----------------------------------

(人)

	検査数	便培養検査		
		陰性	陽性	合計
本部	114	114	0	114
湘南藤沢分室	131	131	0	131



## Ⅱ 資料編 第4．環境衛生業務

1. 教室等の調査
2. 食堂の調査



## 1. 教室等の調査（学校保健安全法第6条）

目的：学校における教育活動が安全な環境において実施されること。

### (1) 実施項目

#### ア 換気及び保温等および空気清浄度

- |           |                              |
|-----------|------------------------------|
| (a) 換気    | (g) 二酸化炭素                    |
| (b) 湿度    | (h) 揮発性有機化合物 <sup>※1</sup>   |
| (c) 相対湿度  | ホルムアルデヒド，トルエン，キシレン，          |
| (d) 浮遊粉じん | パラジクロロベンゼン，エチルベンゼン，          |
| (e) 気流    | スチレン                         |
| (f) 一酸化炭素 | (i) ダニ・ダニアレルゲン <sup>※2</sup> |

#### イ 採光

- (j) 照度 (k) まぶしさ

#### ウ 騒音

- (l) 騒音レベル

#### エ 校内巡視

※1 2006年度より管財部から業務移行された。

※2 2010年度より実施

### (2) 実施日程（大学・一貫教育校の各「年間主要業務」の頁を参照）

前期6～8月，後期11～1月に実施（年2回）

### (3) 結果・事後措置概要

#### ア 大学

##### (a) 温熱環境

湿度が基準値を超えている教室があり，換気や空調設備による調整を行うよう指導した。

##### (b) 換気・空気清浄度

二酸化炭素濃度が基準値を超えている教室があり，定期的に換気扇を稼働させるか，窓や出入口ドアを開放するよう指導した。

##### (c) 照度・まぶしさ

節電の為蛍光灯が間引かれていたが，基準値はみたされていた。

##### (d) 騒音

一部キャンパス内工事の影響により，窓開放時に基準値を上回る教室があった。

##### (e) ダニまたはダニアレルゲン

問題はなかった。

##### (f) 揮発性有機化合物

一部基準値を超える教室があったため，窓の開放や換気扇の稼働による換気の励行を指導した。

##### (g) その他

荷物や器材等の積み上げ，ゴミや私物の散乱が認められる教室があった。教室環境の美化および整理整頓，緊急時の避難路確保を行うよう指導を行った。一部臭気がする教室があった。定期的な換気を指導した。

## イ 一貫教育校

- (a) 温熱環境  
季節により湿度が基準値を超える、もしくは基準値を下回る教室があった。空調設備や換気扇、あるいは適切な加湿器の使用を指導した。
- (b) 換気・空気清浄度  
二酸化炭素濃度や粉塵が基準値を超えている教室があり、換気扇を稼働させるよう指導した。換気扇設備のない教室では窓を開けて換気するよう指導した。
- (c) 照度・まぶしさ  
おおむね問題はなかった。
- (d) 騒音  
問題はなかった。
- (e) ダニまたはダニアレルゲン  
基準値を超えたダニ数が検出された教室があり、掃除機を使用した定期的な清掃をお願いした。
- (f) 揮発性有機化合物  
おおむね問題はなかったが、夏季は窓の開放や換気扇の稼働をお願いした。
- (g) その他  
私物の散乱が認められる教室があった。教室環境の美化および整理整頓を図るよう指導した。

## ウ 立科山荘

医務室は清潔に保たれ、教室や宿泊施設も特に問題はなかった。

## 2. 食堂の調査（学校保健安全法第6条，学校給食法第9条）

目的：学校給食の実施に必要な施設及び設備の整備及び管理，調理の過程における衛生管理その他の学校給食の適切な衛生管理を図る

(1) 実施項目

ア 厨房巡視・聞き取り調査

施設の構造，施設の管理，設備器具の管理，食品の取り扱い管理，取り扱い者の衛生管理等

イ 微生物検査

冷蔵庫，まな板，作業者手指，台ふきん，直接喫食食品，飲料水等

（一般細菌，大腸菌，黄色ブドウ球菌，サルモネラ，腸炎ビブリオの培養検査）

空中浮遊菌

(2) 実施日程（大学・一貫教育校の各「年間主要業務」の頁を参照）

6～7月に実施（年1回）

(3) 結果

関係所属長に結果報告と改善依頼を行った。

(4) 食堂管理責任者との面接

ア 実施日程（大学・一貫教育校の各「年間主要業務」の頁を参照）

7～11月に実施

イ 面接担当医師

実施場所	担当医師	実施場所	担当医師
日吉キャンパス	森正明	看護医療学部	広瀬寛
三田キャンパス	河邊博史	高等学校	森正明
信濃町キャンパス	横山裕一	志木高等学校	神田武志
矢上キャンパス	和井内由充子	女子高等学校	武田綾乃
湘南藤沢キャンパス	広瀬寛	幼稚舎	徳村光昭
芝共立キャンパス	横山裕一	横浜初等部	徳村光昭
		普通部	井ノ口美香子





## Ⅱ 資料編 第5. 産業保健活動

1. 労働衛生管理体制
2. 衛生委員会
3. 職場巡視
4. 就業判定
5. 産業医面接
6. 労働安全衛生教育
7. 労働者の心の健康保持



## 1. 労働衛生管理体制 （労働安全衛生法第12条及び第13条）

目的：一定の規模及び業務区分に応じ「衛生管理者」を選任し、その者に安全衛生業務のうち、衛生に係る技術的事項を管理させること。一定の医師のうちから「産業医」を選任し、労働者の健康管理等を行う。

2016年11月1日現在

地区	登録事業場	総括安全衛生管理者	産業医	衛生管理者
日吉（高校、普通部含む）	慶應義塾大学日吉キャンパス	キャンパス事務長	1名	3名
三田（新川崎、横浜初等部、丸の内、NY出向者、鶴岡出向者含む）	学校法人慶應義塾	人事部長	1名	3名
幼稚舎	慶應義塾幼稚舎			
中等部	慶應義塾中等部			
女子高	慶應義塾女子高等学校			
芝共立	学校法人慶應義塾大学薬学部	キャンパス事務長	1名	1名
湘南藤沢（藤沢中高・看護含む）	慶應義塾湘南藤沢事務室	キャンパス事務長	1名	2名
矢上	学校法人慶應義塾大学理工学部	キャンパス事務長	1名	2名
信濃町	慶應義塾大学医学部	大学病院事務局長	2名	6名
志木	慶應義塾志木高等学校	事務長	1名	1名

## 2. 衛生委員会 （労働安全衛生法第18条）

目的：常時50人以上の労働者を使用する事業場ごとに衛生委員会を設置し、労働者の健康障害防止の基本対策等を調査・審議する。主催は人事、総務であり、保健管理センターはメンバーとして参加し、議題の提案等を行う。

各地区衛生委員会

地区	事業場	議題
日吉	慶應義塾大学日吉キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場巡視、環境調査の結果報告および問題点への対策について</li> <li>・各種健康診断の報告について</li> <li>・感染症予防と対策について</li> <li>・安全管理と災害時対応について</li> <li>・産業医面接実施状況（過重労働者等）について</li> <li>・特定保健指導実施状況について</li> </ul>
三田	学校法人慶應義塾	
芝共立	学校法人慶應義塾大学薬学部	
湘南藤沢	慶應義塾湘南藤沢事務室	
矢上	学校法人慶應義塾大学理工学部	
信濃町	慶應義塾大学医学部	
志木	慶應義塾志木高等学校	

## 3. 職場巡視 （労働安全衛生規則第15条）

目的：少なくとも毎月1回作業場を巡視し、作業方法または衛生状態に有害のおそれがあるときは、直ちに、労働者の健康障害を防止するための必要な措置を講じなければならない。

主催は人事、総務であり、保健管理センターも巡視に参加している。

地区	事業場	巡視内容
日吉	慶應義塾大学日吉キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全確保状況</li> <li>・換気状況</li> <li>・薬品等危険物の管理状況</li> <li>・労働環境、作業状況</li> <li>・その他</li> </ul>
三田	学校法人慶應義塾	
芝共立	学校法人慶應義塾大学薬学部	
湘南藤沢	慶應義塾湘南藤沢事務室	
矢上	学校法人慶應義塾大学理工学部 <sup>*1</sup>	
信濃町	慶應義塾大学医学部	
志木	慶應義塾志木高等学校	

※1 夜間巡視を含む

## 4. 就業判定

### (1) 一般健康診断判定件数 (労働安全衛生法第66条第1項)

目的：労働安全衛生法第66条第1項に定められた健康診断で、労働者の一般的な健康状態を調べる健康診断。

地区	事業場	(件)			
		雇入れ時の健康診断 <sup>※1</sup>	定期健康診断 <sup>※2</sup>	特定業務従事者の健康診断 <sup>※3</sup>	結核健康診断 <sup>※4</sup>
日吉	慶應義塾大学日吉キャンパス	122	1081		
三田	学校法人慶應義塾	125	1172		
芝共立	学校法人慶應義塾大学薬学部				
湘南藤沢	慶應義塾湘南藤沢事務室		379		
矢上	学校法人慶應義塾大学理工学部				
信濃町	慶應義塾大学医学部	499	3308	2149	
志木	慶應義塾志木高等学校		52		

※1 常時使用する労働者を雇入れる際に実施（安衛則第43条）

※2 常時使用する労働者に1年以内ごとに実施（安衛則第44条）（外部医療機関受診者および教職員定期生活習慣健康診断期間外も含む）芝共立は三田地区、矢上は日吉地区で実施

※3 常時深夜業に従事する者等、安衛則第13条第1項第2号の業務に従事する労働者について配置換えの際及びその後6ヶ月ごとに実施（安衛則第45条）

※4 雇入れ時の健康診断、定期健康診断、特定業務従事者の健康診断の際、結核の発病のおそれがあると診断された労働者に対し、おおむね6ヶ月後に実施（安衛則第46条）結核の発病のおそれがあると診断された労働者に対しては外部医療機関を受診してもらうため、その後のフォローは保健所での対応となり当センターでは実施していない

### (2) 特殊健康診断判定件数 (労働安全衛生法第66条第2項及び第3項)

目的：労働安全衛生法第66条第2、3項に定められた健康診断で、じん肺法第3条に定められている健康診断を含めていう。労働衛生対策上、特に有害であるといわれている業務に従事する労働者を対象として実施する健康診断で、有害業務に起因する健康障害の状況を調べる健康診断。

地区	事業場	(件)				
		電離放射線取扱い者	特定化学物質取扱い者	有機溶剤取扱い者	鉛取扱い者	遺伝子組換え実験教務従事者
日吉	慶應義塾大学日吉キャンパス	—	—	—	—	—
三田 <sup>※1</sup>	学校法人慶應義塾	—	45	34	—	—
芝共立	学校法人慶應義塾大学薬学部	48	40	54	—	34
湘南藤沢 <sup>※1</sup>	慶應義塾湘南藤沢事務室	—	0	0	—	—
矢上	学校法人慶應義塾大学理工学部	64	56	93	2	—
信濃町	慶應義塾大学医学部	1188	90	97	—	434
志木	慶應義塾志木高等学校	—	—	—	—	—

※1 鶴岡先端研究教育連携スクエア所属者、健診は提携医療機関で実施

## 5. 産業医面接 (労働安全衛生規則第14条)

目的：産業医は健康診断及び面接指導等の実施並びにこれらの結果に基づく労働者の健康を保持するための措置に関することを行う。

面接延べ件数

地区	事業場	(件)				
		復職時面接 <sup>※1</sup>	過重労働者面接	メンタルヘルス面接	生理休暇面接	その他の面接 <sup>※2</sup>
日吉	慶應義塾大学日吉キャンパス	9	0	3	2	7
三田	学校法人慶應義塾	3	4	4	3	0
芝共立	学校法人慶應義塾大学薬学部	0	0	0	0	2
湘南藤沢	慶應義塾湘南藤沢事務室	3	1	1	37	2
矢上	学校法人慶應義塾大学理工学部	0	0	0	1	0
信濃町	慶應義塾大学医学部	24	1	0	9	10
志木	慶應義塾志木高等学校	0	0	2	0	0

※1 内科、精神科それぞれ1面接とする。

※2 就業制限がある労働者や定期的に治療状況の確認が必要な労働者を対象として産業医が面接を行う場合（主治医への問い合わせ含む）

## 6. 労働安全衛生教育（労働安全衛生規則第59条）

目的：1. 事業者は、労働者を雇入れたときは、当該労働者に対し、厚生労働省令で定めるところにより、その従事する業務に関する安全又は衛生のための教育を行わなければならない。  
2. 前項の規定は、労働者の作業内容を変更したときについて準用する。  
3. 事業者は、危険又は有害な業務で、厚生労働省令で定めるものに労働者をつかせるときは、厚生労働省令で定めるところにより、当該業務に関する安全又は衛生のための特別の教育を行わなければならない。

(1)

ア 対象

慶應義塾大学工学部特殊健康診断実施者

イ 内容

有機溶剤使用の注意点、電離放射線使用の注意点についてリーフレットを配布

(2)

ア 対象

慶應義塾大学医学部特殊健康診断実施者

イ 内容

長時間労働について、電離放射線使用の注意点、有機溶剤使用の注意点についてリーフレットを配布

(3)

ア 対象

慶應義塾大学薬学部特殊健康診断実施者

イ 内容

有機溶剤使用の注意点、電離放射線使用の注意点についてリーフレットを配布

## 7. 労働者の心の健康保持（労働安全衛生法第66条）

2016年度より、職業性ストレス簡易調査票（57項目）によるストレスチェックを開始した。  
配布数6,086、回収数4,404、有効回答数は4,127であった。



## Ⅱ 資料編 第6．教育

1. 大学講義
2. 予防医療センター
3. 集団保健衛生教育





# 1. 大学講義

## (1) 学部(保健管理センター設置講座 講義場所:三田キャンパス)

### ア 現代社会と医学Ⅰ「心身の健康維持のために」

春学期(三田)・秋学期(三田) 月曜4時限

コーディネーター 保健管理センター教授 河邊博史

徳村光昭, 森 正明, 広瀬 寛, 西村由貴, 牧野伸司

【目的・内容】本講義では、保健管理センターの各専門医がオムニバス形式で健康診断の健診項目の目的、疑問について答える。また、大学生活では、最近麻疹・風疹や百日咳などの小児感染症の集団感染や薬物乱用の問題、喫煙・飲酒の問題、メンタル面の問題などが話題となっている。本講義ではこれらアップデートな内容についても解説を加えていく。

#### 河邊博史

- ・オーバービュー / 大学生の体づくり
- ・健診関連 - 慢性腎臓病
- ・健診関連 - 高血圧

#### 徳村光昭

- ・小児感染症(麻疹, 風疹など)
- ・薬物乱用(1)

#### 森 正明

- ・健診関連 - 胸部X線, 結核
- ・風邪・インフルエンザなど

#### 広瀬 寛

- ・健診関連 - 肥満とメタボリックシンドローム
- ・健診関連 - 糖尿病とその予防

#### 西村由貴

- ・健診関連 - 精神(アンケート関連)
- ・パーソナリティ障害
- ・薬物乱用(2)

#### 牧野伸司

- ・健診関連 - 心電図検査・AED など
- ・飲酒・喫煙

### イ 現代社会と医学Ⅱ「現代社会と Common Disease」

春学期(三田)・秋学期(三田) 水曜4時限

コーディネーター 保健管理センター准教授 和井内由充子

神田武志, 濱田庸子, 西村知泰, 内田敬子, 康井洋介

【目的・内容】高血圧症, 高脂血症, 糖尿病, 肥満, 動脈硬化, 脳卒中, 心臓病, がんなどの病気は, 運動不足, 食べ過ぎ, 喫煙, 飲酒などの生活習慣との関連が強いことから生活習慣病と呼ばれています。不健康な生活習慣は老化を促進し, 死亡率が高くなるといわれています。また, ストレスの多い現代社会では関連する精神疾患の増加も問題となっており, 職場でのストレスチェックも義務化した。さらに, 結核, インフルエンザ, 性感染症などの古くからある感染症に加え, エイズや, SARS, 鳥インフルエンザなど新しい感染症が出現し, 国境を越えて日本に入ってきている。若いときから, これらのよくある病気(Common Disease)について知り, それらを予防するための健康的な生活習慣を理解し, 実践するための保健教育の意義はますます大きくなっていると考えられる。また女性では, 無理なダイエットから体を壊すことがあり, 正しい栄養の知識が重要である。アレルギー疾患や予防接種の知識も将来の育児の際に役立つことだろう。なお, 将来の進路に医療, 製薬, 介護, 食品など healthcare

関連企業を選択する人には、そのための introduction となるだろう。下記の講義内容に関し保健管理センターの各専門医がオムニバス形式で講義を行う。春学期と秋学期は一部を除きほぼ同内容。

和井内由充子

- ・イントロダクション/心肺蘇生
- ・虚血性心疾患
- ・薬物乱用

神田武志

- ・高血圧・やせ・骨粗しょう症・慢性腎臓病
- ・糖尿病・脂質異常症・痛風

濱田庸子

- ・精神保健

西村知泰

- ・感染症Ⅰ
- ・感染症Ⅱ
- ・呼吸器疾患

内田敬子

- ・先天異常の現代医学
- ・ライフステージ別栄養学

康井洋介

- ・アレルギー疾患
- ・予防接種

(2) 学部（体育研究所設置講座 講義場所：日吉キャンパス）

「健康と運動の科学」

秋学期（日吉） 木曜 2 時限

近藤明彦，山内 賢，横山裕一，井ノ口美香子，武田彩乃

【目的・内容】様々な疾病と健康と運動に関する知識についてオムニバス形式の授業により理解を深める。

近藤明彦

- ・運動のエネルギー供給のメカニズム
- ・筋の構造とトレーニングの効果

山内 賢

- ・トレーニング方法とその評価
- ・スポーツ・運動実施上の安全管理

横山裕一

- ・依存症概論と麻薬中毒
- ・飲酒の功罪
- ・肥満と肝臓病

井ノ口美香子

- ・小児の肥満・生活習慣病
- ・内分泌代謝疾患

武田彩乃

- ・高血圧
- ・脳血管疾患
- ・性病，不妊症

(3) 学部（看護医療学部講座 講義場所：信濃町キャンパス）

「慢性期病態学 呼吸器疾患」

春学期（信濃町） 水曜 2 時限他

森 正明，西尾和三，中村守男

【目的・内容】内科領域の呼吸器疾患を理解するために，呼吸器の解剖，生理，診断，疾患各論について学ぶ。

森 正明

- ・呼吸器の解剖と生理
- ・呼吸器疾患の検査と診断

西尾和三

- ・呼吸器疾患各論 I

中村守男

- ・呼吸器疾患各論 II

(4) 学部（総合政策学部・環境情報学部基礎科目・環境情報学部 GIAG(Global Information and Governance Academic)プログラム 講義場所：湘南藤沢キャンパス）

「心身ウェルネス」

春学期（湘南藤沢）・秋学期（湘南藤沢） 月曜 2 時限

濱田 庸子・横山 裕一・森 さち子・山内 慶太・貞安 元・松本智子

【目的・内容】心身ともに健康な生活を送るための基礎知識を身につけ，有意義な大学生活を送ることができるように，そしてさらに卒業後も社会のリーダーとして健康面での自己管理ができるようになることを目標に，それぞれの分野の専門家による，ストレスと健康，生活習慣病，最近話題の感染症，アルコール・たばこ・依存性薬物，思春期／青年期の心の発達とこころの健康，および危機管理の講義を，オムニバス形式で行う。講義は，自分の健康上の問題を発見できるように，自己記入式のテスト等を行い，学生が，自分の健康状態についてより深く考え，それぞれが自分自身の 4 年間のウェルネス・プランを立てることを最終目標とする。なお，春学期と秋学期は同内容。

濱田庸子

- ・ライフスタイルと生活習慣病
- ・A E D（自動体外式除細動器）の使用法，救命救急法について

森さち子

- ・青年期のメンタルヘルス

横山裕一

- ・依存症概論
- ・インターネット依存
- ・急性アルコール中毒
- ・Development of the civilization and the change of the aspects of alcohol abuse

松本智子

- ・最近話題の感染症

貞安 元

- ・危機管理

(5) 学部（総合政策学部・環境情報学部基礎科目（必修）講義場所：湘南藤沢キャンパス）

「体育 1（ソフトコース B）」

春学期（湘南藤沢）・秋学期（湘南藤沢） 木曜 3 時限

加藤貴昭

【目的・内容】講義の中で、AED（自動体外式除細動器）の使用方法、救命救急法について、湘南藤沢分室看護職が実技指導を行っている。

(6) 大学院（健康マネジメント研究科講座 講義場所：信濃町キャンパス）

「臨床入門」

春学期（信濃町） 木曜 3・4 時限

勝川史憲，鎌倉光宏，小熊祐子，橋本健史，神田武志，真鍋知宏，東宏一郎，鈴木雄介  
石井 誠，稲垣 中，関 勝，園原麻里

【目的・内容】非医療系学部出身者を主たる対象として開講する。臨床現場での診断から治療・ケアに至るプロセスにおいて、その各段階で医師・看護師・メディカルスタッフが、それぞれどのようにアプローチし、どのように統合しているかについて理解することを目的とする。したがって、各分野について詳細な知識を習得することが目的ではなく、医療の全体像がわかりやすい代表的な疾患を取り上げて論ずる。また、非医療系学部出身者が今後健康マネジメント研究科で勉強していくに当たり必要となる論文の読み方・検索の仕方などについての導入も合わせて行う。

授業は、主担当のほか、各専門分野の先生が1-2時間ずつ分担して行う形にする。

(7) 通信教育課程（夏期スクーリング）

ア 「生活習慣病について（高血圧・糖尿病を中心に）」 河邊博史

【目的】最近のライフスタイルの変化が高血圧や糖尿病を増加させている。これら生活習慣病の正しい理解とその予防・治療について学ぶ。

イ 「子どもの肥満とやせ」 徳村光昭

【目的】現代の子どもたちでは、肥満が多い一方で、やせも増加している。肥満につながる生活習慣、神経性やせ症について学ぶ。

ウ 「虚血性心疾患」 和井内由充子

【目的】虚血性心疾患は生活習慣病の最終的 direct 死因のひとつであり、突然死の原因としても重要である。その病態、予防、緊急時の処置について学ぶ。

エ 「感染症」 森 正明

【目的】インフルエンザ，結核，食中毒など，日頃，健康な人でも注意が必要な感染症の予防や治療について学ぶ。

オ 「飲酒の功罪」 横山裕一

【目的】アルコール（エタノール）の薬理作用を科学し，現在提唱されている飲酒の功罪を紹介する。

なお講義のほか，通年レポート添削を上記教員および広瀬 寛・井ノ口美香子・神田武志・西村知泰・内田敬子が行っている。

## 2. 予防医療センター

2012年8月1日から慶應義塾大学病院 予防医療センターが開設されたが，保健管理センター専任医師は人間ドック受診者の当日結果説明および簡単な生活指導を原則毎日交代で担当している。

### 3. 集団保健衛生教育

#### (1) 衛生講習会

ア 対象

大学生，高校生，中学生（湘南藤沢中等部のみ）

イ 指導内容

（ア）細菌性食中毒の予防（大学生：食中毒予防のすすめのパンフレット配布）

(a) 食中毒の定義，概要，細菌の特性，病原性大腸菌 O-157 について

(b) 食材の取扱い方

(c) 手洗いの仕方

(d) ウェルパス，又はアルコール含有ウェットティッシュの使用方法

（イ）飲酒についての注意（大学生のみ実施）

ウ 実施場所・日程

実施場所	実施日	参加団体数	担当医師
三田キャンパス (三田祭 11月20～23日)	11月15日	108団体	河邊博史
信濃町キャンパス (四谷祭 11月5～6日)	11月1日	5団体	横山裕一
矢上キャンパス (矢上祭 10月8～9日)	9月26日	17団体	和井内由充子
湘南藤沢キャンパス (七夕祭 7月2日) (秋祭 10月8～9日)	6月23日 9月29日	50団体 43団体	広瀬寛 広瀬寛
高等学校 (日吉祭 10月29～30日)	10月27日	33団体	西村知泰
志木高等学校 (収穫祭 10月29～30日)	10月19日	13団体	神田武志
女子高等学校 (十月祭 10月9～11日) (日吉祭 10月29～30日)	9月26日	4団体	武田綾乃
湘南藤沢中等部・高等部 (七夕祭 7月2日) (文化祭 11月12～13日)	6月27日 10月24日	1団体 1団体	井ノ口美香子 井ノ口美香子
芝共立キャンパス (芝共楽祭 10月22～23日)	9月15日	11団体	横山裕一

#### (2) BLS講習会（AED講習会）

ア 対象

慶應義塾に所属している学生・教職員および外部委託職員

イ 指導内容

救急蘇生法と AED の使い方の説明と実技

ウ 実施場所・日程

実施場所	実施日	受講者数
日吉キャンパス	6月29日，7月4・6・11・14日，9月28・29日， 10月6日，3月16日 計9回	154
三田キャンパス	11月15日 計1回	154
矢上キャンパス	5月12日，5月26日，9月26日 計3回	177
湘南藤沢キャンパス※1	前期 7月1・4・5・6・7日 後期 2月3・6・7・8日 七夕祭実行委員 6月1・2・3・6・8・9・16日 秋祭実行委員 9月12・13・14・26・27日 計29回	227

※1 その他，体育 SA 説明会，体育会総会，七夕祭衛生講習会，秋祭衛生講習会などで集団指導（約 890 人）

（参考）慶應義塾では，一貫教育校の生徒は授業や BLS 委員会からの指導，大学では別途，消防訓練時の BLS 講習を実施している。また，信濃町キャンパス教職員，学生は医学教育統括センター，鶴岡タウンキャンパスは鶴岡市消防局，新川崎タウンキャンパスはセコムの指導を受けている。

### (3) 健康セミナー（高等学校）

#### ア 対象

高等学校定期健康診断の結果より次の基準に該当する者

(ア) 血中 LDL コレステロール 140mg/dl 以上, 中性脂肪 150mg/dl 以上, HDL コレステロール 40mg/dl 未満

(イ) 血中尿酸 7.5mg/dl 以上

(ウ) 最大血圧 140mmHg 以上, または最小血圧 85mmHg 以上

#### イ 指導内容

疾患と予防のための食事, 運動等の指導

#### ウ 実施場所・日程

実施場所	実施日	内容	対象者数	受講者数	担当医師
高等学校	6月9日	尿酸について	59	59	森正明
	6月28日	脂質について	26	25	神田武志
	—	血圧について	2	個人面談で実施	

### (4) 生活習慣病予防セミナー（志木高等学校）

#### ア 対象

定期健康診断の結果より BMI25 以上の生徒

#### イ 指導内容

(ア) 生活習慣病について

(イ) 生活習慣病予防のための食事や運動習慣などのライフスタイル指導

#### ウ 実施場所・日程

実施場所	実施日	対象者数	受講者数	担当医師
志木高等学校	6月8日	43	19	神田武志

### (5) 保護者会 校医の話

実施場所	実施日	内容	対象	対象者数	受講者数	担当医師
幼稚舎	4月11日	慶應義塾における健康管理について	新入生保護者	144	144	徳村光昭
	5月21日	子どもの心と知能を育む遺伝子の力・環境の力	全学年保護者	855	762	高橋孝雄 (小児科医師)
横浜初等部	4月12日	慶應義塾における健康管理について	新入生保護者	108	108	徳村光昭
	5月7日	わが子の教育に生かす発達障害とその対応	全学年保護者	432	161	野村健介 (小児科医師)
	6月18日	定期健康診断結果と保健室利用状況について	全学年保護者	432	432	徳村光昭
普通部	4月30日	慶應義塾における健康管理について	新入生保護者	約 240	約 240	井ノ口美香子
	10月29日	インフルエンザの予防について	全学年保護者	約 700	約 700	徳村光昭
中等部	4月16日	慶應義塾における健康管理について	新入生保護者	約 250	約 250	井ノ口美香子
	10月29日	インフルエンザの予防について	1年生保護者	約 250	約 250	久根木康子 (保健師)
湘南藤沢中等部	10月15日	インフルエンザ・ノロウイルス感染症について	全学年保護者	498	約 400	井ノ口美香子
	2月17日	慶應義塾における健康管理について	入学予定者保護者	約 160	約 160	井ノ口美香子

湘南藤沢 高等部	4月16日	慶應義塾における健康管理について	4年生保護者	248	約200	広瀬寛
	10月15日	インフルエンザ等冬場の感染症について	高等部生保護者	727	約500	西村知泰
	3月10日	慶應義塾における健康管理について	入学予定者保護者	86	86	西村知泰

(6) 保護者会 カウンセラーの話

実施場所	実施日	内容	対象	対象者数	受講者数	担当カウンセラー
湘南藤沢 中等部	4月11日	カウンセリングの紹介 思春期の発達について	全学年保護者	498	約490	貞安元
志木 高等学校	7月16日	生徒への接し方について～ 志木高の保護者の方は愛情 深く心配性～	全学年保護者	820	約800	山口玲子
湘南藤沢 高等部	10月15日	カウンセリングの紹介 思春期の発達について	全学年保護者	727	約700	貞安元

(7) 保健講演会

実施場所	実施日	内容	対象	対象者数	受講者数	担当医師
中等部	7月8日	熱中症の予防について	全学年生徒, 教員全員, 保護者希望者	約800	約800	徳村光昭
	2月24日	やせ・摂食障害について	3年生女子	96	約90	井ノ口美香子
	2月24日	薬物乱用について	3年生	252	約250	徳村光昭
湘南藤沢 中等部	6月3日	熱中症とその予防	中高等部部活 主将・主務	約80	約80	徳村光昭
	7月7日	思春期の精神保健について	1年生	168	168	渡辺久子 (小児科医師)
	7月16日	成長期のスポーツ障害と予 防について	2年生保護者 保護者希望者	約200	約200	大谷俊郎 (整形外科医師)
	9月30日	ヒトの遺伝について	3年生	168	166	長谷川奉延 (小児科医師)
	10月15日	思春期の精神保健について (思春期の心と体)	1年生保護者 保護者希望者	168	約160	渡辺久子 (小児科医師)
	10月20日	成長期のスポーツ障害と予 防について	4年生	248	247	大谷俊郎 (整形外科医師)
	2月23日	成長期のからだと生活習慣 病-肥満とやせ-	2年生	169	169	井ノ口美香子
高等学校	4月11日	ルールを守らない生徒との 相談事例	新任教員	約5	約5	山本真規子 カウンセラー
	6月8日	長期欠席生徒自身 相談につながりにくい事例	新任教員	約5	約5	山本真規子 カウンセラー
	7月7日	思春期・青年期男子の こころ～その理解と対応	保護者希望者	100	約90	田中究 カウンセラー
	10月3日	生徒が自分で問題解決する ための支援 (1)	新任教員	約5	約5	山本真規子 カウンセラー
	10月21日	思春期・反抗期 –その理 解と対応–	保護者希望者	100	約90	浅井直樹 カウンセラー
	11月7日	生徒が自分で問題解決する ための支援 (2)	新任教員	約5	約5	山本真規子 カウンセラー

志木 高等学校	5月27日	ドラッグ・アルコール・ タバコの害および熱中症に ついて	全校生徒	820	約820	神田武志
女子 高等学校	4月25日	安全に活動するために	部活責任者	約30	約29	武田綾乃

### (8) 保健特別授業

実施場所	実施日	内容	対象	対象者数	受講者数	担当医師
幼稚舎	7月1日	男子の二次性徴について	5年生男子	94	94	徳村光昭
	7月1日	女子の二次性徴について	5年生女子	46	46	井ノ口美香子

### (9) アレルギー対応講習会

- ア 対象  
教職員
- イ 指導内容  
食物アレルギー症状発症時の対応について説明と実技
- ウ 実施場所・日程

実施場所	実施日	受講者数	担当医師
中等部	4月9日	約50	井ノ口美香子
普通部	6月15日	42	井ノ口美香子

### (10) 日吉リサーチポートフォリオ2016

- ア 対象  
慶應義塾に所属している学生・教職員および一般住民など来場者
- イ 内容  
ポスター展示 大学保健管理センターの紹介  
シンポジウム 最近の大学生活における課題と対策  
大学生の薬物(アルコールを含む)乱用の実態と防止対策に関する一考察 西村由貴  
学校における感染症対策 西村知泰  
リアルイベント  
保健管理センターの医師や保健師に健康に関することを相談してみよう!  
～医師・保健師による、簡単な生活習慣病診断や血圧測定、保健指導、予防接種の相談～
- ウ 実施場所・日程  
2016年11月26日(土) 日吉キャンパス 来往舎



## Ⅱ 資料編 第7. 研究

1. 保健管理センター教職員研究業績
2. 保健管理センター研究会
3. 保健管理センター研修会
4. 部門ブロック別研修



## 1. 保健管理センター教職員研究業績

### (1) 受賞

#### 河邊博史

##### 1) 義塾賞

受賞理由：若年高血圧に関する縦断的検討および家庭血圧の測定条件に関する業績

受賞日：2016年11月11日

### (2) 著書・翻訳書・論文・学会発表

#### ア 著書

1) Shibata A, Uchida K, et al. : Pulmonary arterial hypertension in patients with heterotaxy / polysplenia syndrome. Etiology and Morphogenesis of Congenital Heart Disease -From Gene Function and Cellular Interaction to Morphology-. Springer, 81-82, 2016

2) Tsuchihashi T, Uchida K, et al. : Modification of Cardiac Phenotype in Tbx1 Hypomorphic Mice. Etiology and Morphogenesis of Congenital Heart Disease -From Gene Function and Cellular Interaction to Morphology-. Springer, 215-217, 2016

3) Uchida K, et al. : Inositol Trisphosphate Receptors in the Vascular Development. Etiology and Morphogenesis of Congenital Heart Disease -From Gene Function and Cellular Interaction to Morphology-. Springer, 237-239, 2016

4) Yamagishi H, Uchida K, et al. : A history and interaction of outflow progenitor cells implicated in "Takao syndrome". Etiology and Morphogenesis of Congenital Heart Disease -From Gene Function and Cellular Interaction to Morphology-. Springer, 201-209, 2016

5) Yamamoto M, Kawabe H : Health Checkups. Health Management on Campus. Gifu Shimbun, 3-11, 2016

6) 井ノ口美香子：神経性食欲不振症にみられる内分泌異常。小児内分泌学 改訂第2版。診断と治療社，595-598, 2016

7) 内田敬子，他：胎児診断に役立つ心臓の発生。胎児心エコーのすべて スクリーニング・精査・治療・そして家族支援。メジカルビュー社，2-12, 2017

8) 神田武志：学校検尿は何のために行われるのか。内科。南江堂，118(3) 359-363, 2016

9) 南里清一郎，當仲香：免疫手帳。株式会社ライフマネージメント社，2016

10) 南里清一郎，河邊博史，森正明，横山裕一，西村由貴，當仲香，清奈帆美，他：渡航前の準備，他。In：海外生活における健康管理－渡航にあたって 心身の健康を守るために－。株式会社ライフマネージメント社，2016

11) 南里清一郎，當仲香，他：インフルエンザの出席停止基準・期間と学級閉鎖の判断はどのようにすべきですか？。インフルエンザ診療ガイド2016-17。日本医事新報社，209-214, 2016

12) 西村知泰：【いま知っておきたい、感染症診療最新の動向】 日常診療で問題となる感染症 ガイドラインからみた診断と治療のポイントは？ 結核。診断と治療 104 巻6号。診断と治療社，729-733, 2016

13) 村井純，當仲香，他：ステーキホルダーの役割とインセンティブの設計，あなたの健康を支える情報とプラットフォーム，健康情報プラットフォームの未来。価値創造の健康情報プラットフォーム－医療データの活用と未来－。慶應義塾大学出版会，95-112, 113-142, 207-229, 2016

#### イ 論文

1) Funatsu Y, Nishimura T, et al. : Pharmacokinetics of intravenous peramivir in the airway epithelial lining fluid of healthy volunteers. Antivir Ther, 21(7) : 621-625, 2016

2) Futatsugi K, Kanda T, et al. : Obesity-induced kidney injury is attenuated by amelioration of aberrant PHD2 activation in proximal tubules. Sci Rep, 9(6) : 36533, 2016

3) Hasegawa K, Kanda T, et al. : Communication from Tubular Epithelial Cells to Podocytes through Sirt1 and Nicotinic Acid Metabolism. Curr Hypertens Rev, 12(2) : 95-104, 2016

4) Hayashi K, Kanda T, Hirose H, et al. : Investigation of metabolic factors associated with eGFR decline over 1 year in a Japanese population without CKD. J Atheroscler Thromb, 24 : Epub ahead, 2017

5) Ishii T, Mitsui T, et al. : Gonadal macrophage infiltration in congenital lipoid adrenal hyperplasia. Eur J Endocrinol, 175(2) : 127-132, 2016

- 6) Kanda T, Takeda A, Hirose H, Inokuchi M, Tokumura M, Kawabe H, et al. : Temporal trends in renal function and birth weight in Japanese adolescent males (1998-2015). *Nephrology Dialysis Transplantation*, 32 : Advanced Publication 2017
- 7) Matsuba R, Hirose H, et al. : Replication study in a Japanese population of six susceptibility loci for type 2 diabetes originally identified by a transethnic meta-analysis of genome-wide association studies. *PLoS One*, 11(4) : e0154093, 2016
- 8) Miyamoto T, Hirose H, Kanda T, et al. : Vitamin D deficiency with high intact PTH levels is more common in younger than in older women: A study of women aged 39-64 years. *Keio J Med*, 65(2) : 33-38, 2016
- 9) Morimoto K, Nishimura T, et al. : Macrolide-Resistant *Mycobacterium avium* Complex Lung Disease: Analysis of 102 Consecutive Cases. *Ann Am Thorac Soc*, 13(11) : 1904-1911, 2016
- 10) Namkoong H, Nishimura T, et al. : Clinical efficacy and safety of multidrug therapy including thrice weekly intravenous amikacin administration for *Mycobacterium abscessus* pulmonary disease in outpatient settings: a case series. *BMC Infect Dis*, 16 : 396, 2016
- 11) Nishimura T, Mori M, et al. : Middle-aged to elderly women have a higher asymptomatic infection rate with *Mycobacterium avium* complex, regardless of body habitus. *Respirology*, 21 : 553-555, 2016
- 12) Suzuki S, Nishimura T, et al. : Clinical characteristics of pulmonary *Mycobacterium scrofulaceum* disease in 2001-2011: A case series and literature review. *J Infect Chemother*, 22(9) : 611-616, 2016
- 13) Uchida K, et al. : Type 1 and 3 inositol trisphosphate receptors are required for extra-embryonic vascular development. *Dev Biol*, 418(1) : 89-97, 2016
- 14) Uwamino Y, Nishimura T, et al. : Rapid detection and typing of carbapenemase-producing genes from carbapenem-resistant *Enterobacteriaceae* isolates collected in a Japanese hospital using the Xpert™ Carba-R assay. *Jpn J Infect Dis*, 70 (1) : 124-125, 2017
- 15) Yamaji Y, Yasui Y, et al. : Development of Acquired Immunity following Repeated Respiratory Syncytial Virus Infections in Cotton Rats. *PLoS One*, 11(5) : e0155777, 2016
- 16) Yasui Y, et al. : Cell fusion assay by expression of respiratory syncytial virus (RSV) fusion protein to analyze the mutation of Palivizumab-resistant strains. *J virol Methods*, 231 : 1-8, 2016
- 17) 石井智弘, 三井俊賢, 他 : 先天性リポイド副腎過形成症における性腺リモデリングの病態解. *日本小児科学会雑誌*, 120(2) : 211, 2016
- 18) 井ノ口美香子, 徳村光昭 : 学校の健康診断における「成長曲線の活用による発育の評価」: 推奨化の意義と問題点. *慶應保健研究*, 34(1) : 87-92, 2016
- 19) 井ノ口美香子 : 学校健康診断で指摘されることの多い体格や栄養状態の問題. *小児科診療*, 79(11) : 1515-1521, 2016
- 20) 内田敬子 : 学童期・思春期の子どもの食と問題点. *慶應保健研究*, 34(1) : 101-106, 2016
- 21) 内田敬子 : 慢性疾患をもつ児童・生徒の学校生活管理 心疾患をもつ児童・生徒の学校生活管理. *小児科診療*, 79(11) : 1583-1589, 2016
- 22) 小代翠, 當仲香, 室屋恵子, 澁谷麻由美, 武藤志保, 広瀬寛, 森正明, 河邊博史 : メタボリックシンドロームのリスク別にみた3年後の変化. *慶應保健研究*, 34(1) : 51-55, 2016
- 23) 小代翠, 當仲香, 澁谷麻由美, 室屋恵子, 武藤志保, 清水憲吾, 広瀬寛, 森正明, 河邊博史 : 特定健康診査受診者における3年間のメタボリックシンドロームリスクの評価. *CAMPUS HEALTH*, 54(1) : 99-101, 2017
- 24) 河邊博史 : 慢性腎臓病. *慶應保健研究*, 34(1) : 63-68, 2016
- 25) 澁谷麻由美, 西村由貴, 當仲香, 清奈帆美, 松本可愛, 齋藤圭美, 高橋綾, 河邊博史 : 大学教職員のメンタルヘルス調査 2014 — ストレスチェック導入に向けて—. *慶應保健研究*, 34(1) : 45-49, 2016
- 26) 武田彩乃 : 増加する性感染症と感染拡大防止における問題点. *慶應保健研究*, 34(1) : 93-99, 2016
- 27) 弦巻美保, 清奈帆美, 當仲香, 齋藤圭美, 森正明, 西村知泰, 河邊博史 : 当大学教職員における最近5年間の喫煙率の推移と今後の禁煙対策の検討. *慶應保健研究*, 34(1) : 57-62, 2016
- 28) 弦巻美保, 清奈帆美, 當仲香, 齋藤圭美, 森正明, 西村知泰, 河邊博史 : A 大学における教職員の10年間の喫煙率推移と禁煙対策. *CAMPUS HEALTH*, 54(1) : 286-287, 2017
- 29) 當仲香, 松本可愛, 齋藤圭美, 清水憲吾, 河邊博史, 他 : 健康診断におけるネットワークトラブル対処機能の開発. *慶應保健研究*, 34(1) : 107-110, 2016

- 30) 當仲香, 清水憲吾, 澁谷麻由美, 室屋恵子, 小代翠, 武藤志保, 森正明, 河邊博史: 大規模大学での学生定期健康診断における所要時間コントロール. CAMPUS HEALTH, 54(1): 155, 2017
- 31) 徳村光昭: 運動器検診. 小児科診療, 79(11): 1455-1460, 2016
- 32) 徳村光昭: 慢性疾患と学校生活管理指導表. チャイルドヘルス, 20(2): 122-127, 2017
- 33) 徳村光昭, 井ノ口美香子, 内田敬子, 康井洋介, 三井俊賢, 久根木康子, 佐藤幸美子, 村上桃子, 木村奈々, 外山千鈴, 他: 小中学生の学校心臓検診成績の変遷. 慶應保健研究, 34(1): 7-13, 2016
- 34) 西村由貴, 河邊博史, 他: A 大学における学生の薬物乱用に関する調査結果—2015 年度予備報告—. 慶應保健研究, 34(1): 23-28, 2016
- 35) 広瀬 寛, 武田彩乃, 神田武志, 河邊博史, 他: 人間ドック健診受診者における血圧状態と内臓脂肪・皮下脂肪面積やインスリン抵抗性指数などとの関連. 慶應保健研究, 34(1): 15-22, 2016
- 36) 広瀬寛, 森正明, 河邊博史: 血清アディポネクチンの長寿ホルモンとしての意義の検討. CAMPUS HEALTH, 54(1): 145-148, 2017
- 37) 松本可愛, 横山裕一, 森正明, 河邊博史: キャンパスにおけるエボラウイルス病対応の経験 — エボラウイルス病を扱った米国病院からの帰国学生事例—. 慶應保健研究, 34(1): 39-43, 2016
- 38) 三井俊賢: 小児期発症原発性副甲状腺機能低下症の分子基盤の解明. 成長科学協会研究年報, 39: 171-172, 2016
- 39) 三井俊賢, 徳村光昭, 井ノ口美香子, 康井洋介, 内田敬子, 川合志緒子, 久根木康子, 木村奈々, 外山千鈴, 佐藤幸美子, 他: 一貫教育校小中学校における 2014/2015 シーズンのインフルエンザ流行状況: ワクチン接種率および有効率. 慶應保健研究, 34(1): 33-37, 2016
- 40) 室屋恵子, 當仲香, 澁谷麻由美, 小代翠, 武藤志保, 松本可愛, 清奈帆美, 高橋綾, 清水憲吾, 広瀬寛, 横山裕一, 森正明, 河邊博史: 小・中・高・大学の教職員における麻疹・流行性耳下腺炎, 風疹, 水痘の免疫調査. CAMPUS HEALTH, 54(1): 292-294, 2017
- 41) 森正明, 西村知泰, 他: 学校感染症登校・就業許可証明書のマニュアル — 信濃町地区を除く学生・教職員用—. 慶應保健研究, 34(1): 69-73, 2016
- 42) 康井洋介, 徳村光昭, 井ノ口美香子, 内田敬子, 三井俊賢, 久根木康子, 他: 食物アレルギーの経口免疫療法実施に当たり必要な指導

内容の検討—登校前に自宅で経口免疫療法を実施し登校後にアナフィラキシーを発症した中学生症例から—. 慶應保健研究, 34(1): 29-32, 2016

43) 横山裕一: 英語圏における労働災害理論の変遷に基づく因子炎とレポートの評価とグローバル化時代のインシデントレポートの提言. 機能的インシデントレポート作成のすすめ. 慶應保健研究, 34(1): 75-86, 2016

## ウ 学会発表

1) 朝倉崇徳, 西村知泰, 他: 肺 Mycobacterium avium complex 症で肺野浸潤影・粒状影の体積は最も肺機能と相関する CT 画像解析ソフトを用いた検討 第 91 回日本結核病学会総会 2016

2) 朝倉崇徳, 西村知泰, 他: 節外性鼻型 NK/T 細胞リンパ腫と鑑別を要した播種性 Mycobacterium marinum 症の 1 例 第 91 回日本結核病学会総会 2016

3) 朝倉崇徳, 西村知泰, 他: 肺 MAC 症患者の健康関連 QOL は C 反応性蛋白・年齢と負に相関する 第 113 回日本内科学会総会・学術講演会 2016

4) Ishii T, Inokuchi M, et al: The efficacy of intramuscular testosterone enanthate therapy for micropenis or microphalus is different among hypogonadotropic hypogonadism, hypergonadotropic hypogonadism, and other etiologies. The 9th Biennial Scientific Meeting of the Asia Pacific Endocrine Society/The 50th Annual Meeting of the Japanese Society for Pediatric Endocrinology 2016

5) Ichihashii Y, Inokuchi M, et al: The incidence and risk factors of adrenal crisis in Japanese patients with pediatric-onset adrenal insufficiency in a single institution. The 9th Biennial Scientific Meeting of the Asia Pacific Endocrine Society/ The 50th Annual Meeting of the Japanese Society for Pediatric Endocrinology 2016

6) 井上 詠, 広瀬 寛, 他: 大腸腫瘍発生における加齢、メタボリック因子の関与の検討 第 45 回日本総合健診医学会 2017

- 7) Inokuchi M, et al : WHO 2006 Child Growth Standards overestimate short stature and underestimate overweight in Japanese children age 0-60 months. The 9th Biennial Scientific Meeting of the Asia Pacific Endocrine Society/The 50th Annual Meeting of the Japanese Society for Pediatric Endocrinology 2016
- 8) 井ノ口美香子, 他 : 乳幼児の過体重評価指標 - weight for length/height と BMI の比較 - 第 37 回日本肥満学会 2016
- 9) 井ノ口美香子 : 成長曲線上の '異常' をどう診るか? - 診断すべき疾患を見逃さないために - 太田こどもの成長勉強会 2016 2016
- 10) 井ノ口美香子 : やせに対するアプローチ 第 8 回日本小児栄養消化器肝臓学会卒後教育セミナー 2016
- 11) 井ノ口美香子 : 子どもの肥満・肥満症・メタボリックシンドローム 第 26 回臨床内分泌代謝 Update 2016
- 12) Uchida K, et al. : Roles of Tbx4 for Pulmonary Vascular Development Related to Pathogenesis of Pulmonary Arterial Hypertension 第 81 回日本循環器学会学術集会 2017
- 13) 浦井秀徳, 神田武志, 他 : 血管内皮グレリン受容体は白色脂肪組織での脂質の取り込みを制御する 第 20 回日本心血管内分泌代謝学会学術総会 2016
- 14) 大北正昭, 広瀬寛, 他 : 個人データと大量健診データ解析への人間ドック総合保健指導支援ツール「Dr 人間ドック」の作成と評価 第 57 回日本人間ドック学会 2016
- 15) 小代翠, 當仲香, 澁谷麻由美, 室屋恵子, 武藤志保, 清水憲吾, 広瀬寛, 森正明, 河邊博史 : 特定健康診査受診者における 3 年間のメタボリックシンドロームリスクの評価 第 54 回全国大学保健管理研究集会 2016
- 16) 柏木和弘, 広瀬寛, 他 : 当院ドックでの 18F-FDG PET/CT による大腸 Advanced 病変検出に関する成績と検討 第 57 回日本人間ドック学会 2016
- 17) 鎌田浩史, 西村知泰, 他 : 肺 Mycobacterium avium complex 症患者的気道に定着した緑膿菌が St. George's Respiratory Questionnaire (SGRQ) スコアに及ぼす影響 第 91 回日本結核病学会総会 2016
- 18) 河邊博史, 武田彩乃, 神田武志, 広瀬寛 : 若年高血圧の疫学的検討 第 39 回日本高血圧学会総会 2016
- 19) 神田武志, 武田彩乃, 広瀬寛, 河邊博史, 他 : 若年者における出生時体重と腎機能、血圧の経時的な検討 第 39 回日本高血圧学会総会 2016
- 20) 神田武志, 武田彩乃, 河邊博史 : 過去 20 年において若年者 eGFR は低下し, eGFR は出生時体重と相関する 第 59 回日本腎臓学会学術総会 2016
- 21) Kanda T, Takeda A, Hirose H, Kawabe H, et al : eGFR in Japanese male adolescent has decreased between 1998 and 2015, and low birth weight is correlated with renal function 15th Asian Pacific Congress of Nephrology 2016
- 22) 久根木康子, 徳村光昭, 三井俊賢, 井ノ口美香子, 内田敬子, 康井洋介, 佐藤幸美子, 木村奈々, 外山千鈴 : 全例観察による小中学校における 2014/2015 シーズンのインフルエンザ流行状況 : ワクチン接種率および有効率 第 63 回日本学校保健学会 2016
- 23) 栗原勲, 武田彩乃, 他 : 原発性アルドステロン症の病態と内臓脂肪量の関連性の検討 第 34 回日本肥満症治療学会学術集会 2016
- 24) 鈴木翔二, 西村知泰, 他 : アスペルギルス沈降抗体陽性である肺 Mycobacterium avium complex 症患者的臨床的特徴 第 91 回日本結核病学会総会 2016
- 25) 清奈帆美, 當仲香, 高橋綾, 河邊博史, 他 : メタボリックシンドローム対策を目的とした生活習慣の改善効果予測アプリの有用性〜ベイジアンネットワークを用いた確率分布の活用〜 第 17 回日本医療情報学会学術大会, 第 36 回医療情報学連合大会 2016
- 26) 高山美智代, 広瀬寛, 他 : 人間ドック高齢受診者におけるサルコペニア肥満とメタボリックシンドロームの関係 第 45 回日本総合健診医学会 2017
- 27) 田水映子, 西村知泰, 他 : 肺 MAC 症における新規バイオマーカーの探索 第 91 回日本結核病学会総会 2016
- 28) 弦巻美保, 清奈帆美, 當仲香, 齋藤圭美, 森正明, 西村知泰, 河邊博史 : A 大学における教職員の 10 年間の喫煙率推移と禁煙対策 第 54 回全国大学保健管理研究集会 2016
- 29) 當仲香, 清水憲吾, 澁谷麻由美, 室屋恵子, 小代翠, 武藤志保, 森正明, 河邊博史 : 大規模大学での学生定期健康診断における所要時間コントロール 第 54 回全国大学保健管理研究集会 2016
- 30) 徳村光昭, 井ノ口美香子, 内田敬子, 康井洋介, 三井俊賢, 有馬ふじ代 : 小中学校健康診断における運動器検診 : 2016 年度実施成績と実施上の要点 第 63 回日本学校保健学会 2016

- 31) 徳村光昭: なぜ運動器検診が必要なのか: 来年度から実施される新たな検診について 多摩市立東落合小学校家庭教育学級学習会 2016
- 32) 徳村光昭: 学校健康診断における運動器検診: 整形外科を専門としない学校医による実施方法 第 249 回学校保健セミナー 2016
- 33) 徳村光昭: 整形外科を専門としない学校医による運動器検診のポイント等 平成 28 年度浅草・下谷医師会合同学校医研修会 2017
- 34) Nakamura T, Takeda A, et al.: Essential role of intestinal epithelial mineralocorticoid receptor in the regulation of sodium absorption and blood pressure. The 26th Scientific Meetings of the International Society of Hypertension 2016
- 35) Nakamura T, Takeda A, et al.: Intestinal epithelial Mineralocorticoid receptor regulates blood pressure through colonic ENaC-mediated sodium absorption The 41st International Aldosterone Conference 2016
- 36) 中村俊文, 武田彩乃, 他: 腸管上皮ミネラルコルチコイド受容体は腸管 ENaC を介した Na 吸収により血圧を調節する 第 53 回日本臨床分子医学会学術集会 2016
- 37) 南宮湖, 西村知泰, 他: 医薬品副作用データベース (JADER) を用いた肺 Mycobacterium avium complex 症の化学療法有害事象解析 第 91 回日本結核病学会総会 2016
- 38) 南宮湖, 西村知泰, 他: 抗 IFN $\gamma$  中和自己抗体が検出された播種性 NTM 症の 3 例 第 44 回日本臨床免疫学会総会 2016
- 39) 盛崎瑞葉, 武田彩乃, 他: 塩分調節下高脂肪食マウスにおけるアルドステロン分泌と MR 標的遺伝子の検討 第 34 回日本肥満症治療学会学術集会 2016
- 40) Nanri S, Tounaka K, Kawai S: Outbreak of influenza (H1N1)pdm2009 at Keio university and its affiliated schools in 2009/2010 and 2010/2011 season, Japan The 13th Japan-Bolivia International Symposium on Gastroenterology, XIII Simposio Internacional Boliviano-Japones de Gastroenterologia 2016
- 41) 西村知泰: 肺 Mycobacterium avium complex 症の病態における microRNA の役割 第 65 回日本感染症学会東日本地方会学術集会・第 63 回日本化学療法学会東日本支部総会・合同学会 2016
- 42) 西村知泰, 森正明, 横山裕一, 武田彩乃, 神田武志, 広瀬寛, 和井内由充子, 河邊博史, 他: 結核患者収容モデル事業実施病院における医療従事者の結核感染 第 113 回日本内科学会総会・学術講演会 2016
- 43) 西村由貴: 虐待行動とサイコパシー~脳の構造学的・機能的以上の見地から 第 1 回養育者支援 A/D (RISTEX) 分科会 2016
- 44) 西村由貴: これからの睡眠治療の考え方とアプローチ: オレキシン受容体拮抗薬の登場 clinical effects 研究会 2016
- 45) 西村由貴: これからの睡眠治療の考え方とアプローチ: オレキシン受容体拮抗薬の登場 真壁医師会下妻支部学術講演会 2016
- 46) 西村由貴: これからの睡眠治療の考え方とアプローチ: オレキシン受容体拮抗薬の登場 牛久薬剤師研修会 2016
- 47) 西村由貴: これからの睡眠治療の考え方とアプローチ: オレキシン受容体拮抗薬の登場 第 17 回みかぼカンファレンス 2016
- 48) 西村由貴: これからの睡眠治療の考え方とアプローチ: オレキシン受容体拮抗薬の登場 第 1 回土浦不眠症セミナー 2016
- 49) 西村由貴: 抗認知症薬使用による介護負担の軽減: 認知症へのこれからのアプローチ 県西 認知症カンファレンス 2016
- 50) 西村由貴: 抗認知症薬使用による介護負担の軽減: 認知症へのこれからのアプローチ 第 10 回精神医学講座講演会 2016
- 51) 西村由貴: サイコパシー概念の基礎から現在 第 24 回 PCL-R ワークショップ 2016
- 52) 西村由貴: 抗認知症薬の使用法: 臨床家の立場から 認知症研究会 2016
- 53) 西村由貴: BPSD に対する介護負担の軽減—認知症へのこれからのアプローチ 銚田地区 認知症研究会 2016
- 54) 西村由貴: BPSD に対する介護負担の軽減—認知症へのこれからのアプローチ 平成 28 年度 認知症地域医療・介護ネットワーク研修会 2016
- 55) 西村由貴: 認知症症状 (BPSD) に対するリバスチグミンの有用性 関東甲信越認知症 Expert Seminar 2016
- 56) 西村由貴: サイコパシーと中枢神経機能 第 25 回 PCL-R ワークショップ 2017
- 57) 西村由貴: BPSD に対する介護負担の軽減—認知症へのこれからのアプローチ 認知症と周辺症状を考える会 2017
- 58) 野ヶ山泰介, 井ノ口美香子, 他: 日本人小児 arm span, arm span 身長比, arm span 身長差の基準値作成 第 27 回日本成長学会 2016
- 59) 広瀬寛, 河邊博史, 他: 専門ドック受診者における血清高分子量アディポネクチン濃度の意義 第 89 回日本内分泌学会学術総会 2016

60) 広瀬寛, 河邊博史, 他: 人間ドックのオプション受診者における血清高分子量アディポネクチン濃度の意義 第 59 回日本糖尿病学会 2016

61) Hirose H, Kawabe H, et al.: Serum high-molecular weight adiponectin levels correlate with various metabolic parameters in special health checkup programs 第 76 回米国糖尿病学会 2016

62) 広瀬寛, 河邊博史, 他: 加齢と内臓脂肪面積・皮下脂肪面積やインスリン抵抗性指数・ $\beta$ 細胞機能などとの関係 第 34 回日本肥満症治療学会 2016

63) 広瀬寛, 河邊博史, 他: 抗加齢ホルモンとしての高分子量型アディポネクチンの意義—HDL-コレステロールとの強い関連 第 48 回日本動脈硬化学会総会 2016

64) 広瀬寛, 河邊博史, 他: オプション健診受診者における血清高分子量アディポネクチン濃度測定の意義 第 57 回日本人間ドック学会 2016

65) Hirose H, Kawabe H, et al.: Relationships of visceral fat area and insulin resistance index with blood pressure status The 26th Scientific Meeting of the International Society of Hypertension ISH 2016

66) 広瀬寛, 森正明, 河邊博史: 血清アディポネクチンの長寿ホルモンとしての意義の検討 第 54 回全国大学保健管理研究集会 2016

67) 広瀬寛: 糖尿病合併症を防ぐための血圧の管理法 第 52 回糖尿病週間講演会 2016

68) 広瀬寛, 河邊博史, 他: 加齢と内臓脂肪面積・皮下脂肪面積やインスリン抵抗性指数・ $\beta$ 細胞機能などとの関係 第 45 回日本総合健診医学会 2017

69) 室屋恵子, 當仲香, 澁谷麻由美, 小代翠, 武藤志保, 松本可愛, 清奈帆美, 高橋綾, 清水憲吾, 広瀬寛, 横山裕一, 森正明, 河邊博史: 小・中・高・大学の教職員における麻疹・流行性耳下腺炎, 風疹, 水痘の免疫調査 第 54 回全国大学保健管理研究集会 2016

70) 盛崎瑞葉, 武田彩乃, 他: 塩分調節下高脂肪食負荷マウスにおけるアルドステロン分泌と MR 標的遺伝子の検討 第 89 回日本内分泌学会学術集会 2016

71) 八木一馬, 西村知泰, 他: インフルエンザウイルス感染後肺炎球菌 2 次感染マウスにおける HDAC 阻害薬: TSA の保護的效果 第 56 回日本呼吸器学会学術講演会 2016

72) 八木一馬, 西村知泰, 他: 肺 Mycobacterium avium complex 症における 6 分間歩行試験の臨床的意義に関する検討 第 91 回日本結核病学

会総会 2016

73) 康井洋介, 徳村光昭, 井ノ口美香子, 内田敬子, 有馬ふじ代, 三井俊賢, 久根本康子, 佐藤幸美子, 高山昌子: 中学生における食物アレルギーの実態 第 63 回日本学校保健学会 2016

74) 康井洋介, 徳村光昭, 井ノ口美香子, 内田敬子, 有馬ふじ代, 三井俊賢, 他: 小学校入学後の水痘ワクチン追加接種による水痘顕性発症予防効果について 第 20 回日本ワクチン学会 2016

75) 康井洋介, 徳村光昭: 学童における水痘顕性発症予防に要する水痘 EIA-IgG 抗体価について 第 32 回日本環境感染学会 2017

76) 横山裕一: 健診におけるメタボリックシンドローム (MetS) とアルコール関連疾患 (alcohol related disease; ARD) のオーバーラップに関する考察 第 45 回日本総合健診学会 2017

77) 横山裕一: 訪日留学生への感染対策・ワクチン接種など 第 31 回トラベラーズワクチンフォーラム 2017

### (3) その他

南里清一郎

1) 瑞宝小綬章 (平成 28 年度秋の叙勲)

受賞理由: これまでの教育研究活動ならびに海外在留邦人への福祉活動

受賞日: 2016 年 11 月 8 日



## 2. 保健管理センター研究会

司会 和井内由充子

- (1) 第1回 2016年6月20日（月）  
ア 就業上の安全配慮と危機管理  
森 正明
- (2) 第2回 2016年7月25日（月）  
ア 小・中・高・大学の教職員における麻疹・流行性耳下腺炎・風疹・水痘の免疫調査  
室屋恵子  
  
イ メタボリックシンドロームのリスク別にみた3年後の変化  
小代 翠  
  
ウ 当大学における教職員の10年間の喫煙率推移と禁煙対策  
弦巻美保
- (3) 第3回 2016年9月12日（月）  
ア 血清アディポネクチンの長寿ホルモンとしての意義の検討  
広瀬 寛  
  
イ 大規模大学での学生定期健康診断における所要時間コントロール  
當仲 香
- (4) 第4回 2016年10月17日（月）  
ア 中学校における食物アレルギーの実態  
康井洋介
- (5) 第5回 2016年11月14日（月）  
ア 小中学校健康診断における運動器検診  
： 2016年度実施成績と実施上の要点  
徳村光昭  
  
イ 全例観察による小中学校における2014/2015シーズンのインフルエンザ流行状況、  
ワクチン接種率および有効率  
久根木康子
- (6) 第6回 2017年1月16日（月）  
ア 大学生の物質乱用状況 2015  
西村由貴
- (7) 第7回 2017年2月27日（月）  
ア 心臓血管腔の形成と疾患  
牧野伸司
- (8) 第8回 2017年3月27日（月）  
ア 若年女子の腎機能と出生時体重の推移  
武田彩乃

### 3. 保健管理センター研修会

司会 久根木康子

2017年3月24日（金）

学校健康診断における運動器検診：整形外科を専門としない学校医による実施方法  
徳村光昭

### 4. 部門ブロック別研修

司会 當仲 香

2016年9月2日（金）

外国人への接遇マナーと英会話のコツ 「心を伝える英会話接遇講座」

有田りな（法学部政治学科卒，元日本航空株式会社国際線客室乗務員，JAMOI 認定講師）

## 編集後記

2016年慶應義塾大学保健管理センター年報をここにお届けいたします。慶應義塾大学保健管理センターは一貫校児童・生徒、学生、教職員の健康管理に身体、精神、環境、教育面と多方面にわたり携わっております。最近では留学生の増加が著しく、言葉での十分なコミュニケーションがとれない場合も多く、どうやって必要な情報を伝えるかなど、新たな課題も生じております。また、本年度より診療所に医事システムを導入し、業務の効率化と正確性の向上を図っております。このような変化に合わせ、日々の業務をより一層ブラッシュアップさせていく必要を感じております。

そのような中で当センターが行っている業務内容を少しでもわかりやすく報告させていただくことができればと考え、今回より中表紙の色を変更させていただきました。また、医事システムの導入により一部統計の項目が変更になりました（資料編第10・慶應義塾診療所）。今後もより一層、わかりやすい年報の作成に努めていきたいと考えております。お気づきのことがございましたら、忌憚無くご意見をお寄せください。

最後になりますが年報の作成および資料の提供に携わっていただきました方々のご協力に深く感謝いたします。

（保健管理センター 清奈帆美）

## 年報編集委員会

編集委員長	徳村光昭	
編集委員	清奈帆美 清水憲吾	當仲香
編集委員担当	河邊博史 和井内由充子 神田武志 武田綾乃 今野恵子 木村奈々 山岸あや 武藤志保	横山裕一 井ノ口美香子 西村知泰 齋藤圭美 久根木康子 松本可愛 澁谷麻由美

(順不同)

---

### 慶應義塾大学保健管理センター年報 2016

---

2017年8月31日発行

[非売品]

発行人 河邊博史  
慶應義塾大学保健管理センター  
〔〒223-8521〕  
横浜市港北区日吉4丁目1-1  
電話045-566-1055

印刷・製本 (有)梅沢印刷所

---